

平成 27 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業)

介護予防サービスの提供プロセス等に関する調査事業

報 告 書

平成28年3月

株式会社日本総合研究所

介護予防サービスの提供プロセス等に関する調査事業 報告書

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の背景と目的	1
2. 調査の方法	1
第2章 アンケート調査結果	2
第1節 サービス利用者の基本属性	2
1. 基本属性	2
2. 生活環境	3
第2節 心身の状態	6
1. 要介護度	6
2. 認知症の程度	6
3. 日常生活自立度	7
4. 障害者手帳の所持・障害者総合支援法サービスの併用	7
5. 疾患・服薬	8
6. ケアプラン作成時点の状態	9
第3節 日常生活自立度とサービス利用による改善可能性	11
1. 身体機能・起居動作	11
2. 生活機能	14
3. 社会生活の適応	16
第4節 利用者のサービス利用状況	19
1. 介護保険利用点数	19
2. 介護予防給付サービス	19
3. 医療保険サービス	22
4. その他サービス利用実績	24
第3章 サービス別の利用者像	25
第1節 介護予防訪問看護	25
1. 要介護度	25
2. 生活環境	25
3. 日常生活自立度	26
4. 障害者手帳の所持・障害者総合支援法サービスの併用	26
5. 疾患・服薬	27
6. ケアプラン作成時点の状態	28
7. 医療保険サービス利用実績	29
8. ケアプラン作成時点に認められた心身の状態別サービス利用回数	30

9. 主たる原因疾患等別サービス利用内容	30
10. ケアプラン作成時点に認められた心身の状態別サービス利用内容	32
11. 障害者手帳の有無別利用サービス利用内容	34
第2節 介護予防訪問リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション	35
1. 要介護度	35
2. 生活環境	36
3. 日常生活自立度	37
4. 障害者手帳の所持・障害者総合支援法サービスの併用	38
5. 疾患・服薬	39
6. ケアプラン作成時点の状態	41
7. 医療保険サービス利用実績	43
8. サービス利用回数	44
9. サービス利用内容	45
第3節 介護予防短期入所生活介護	46
1. 要介護度	46
2. 生活環境	46
3. 日常生活自立度	47
4. 障害者手帳の所持・障害者総合支援法サービスの併用	48
5. 疾患・服薬	48
6. ケアプラン作成時点の状態	49
7. 同居者の有無別サービス利用目的	51
8. 同居者(介護者)の生活・健康上の課題の有無別サービス利用目的	52
第4節 介護予防福祉用具貸与	53
1. 要介護度	53
2. 生活環境	53
3. 日常生活自立度	54
4. 障害者手帳の所持・障害者総合支援法サービスの併用	54
5. 疾患・服薬	55
6. ケアプラン作成時点の状態	56
7. 住まいの生活環境	57
第4章 総括	59
1. 介護予防サービスの利用実態のまとめ	59
2. 介護予防サービスの実態把握に向けた調査方法に関する今後の課題	63
参考資料: サービス利用による改善可能性に関する集計表	65
参考資料: 調査票	89

第1章 調査の概要

1. 調査の背景と目的

本事業は、地域包括支援センター(指定介護予防支援事業所)におけるケアマネジメントに関し、要支援者に対する適切なサービスを確保する観点から、その実態を明らかにする調査手法・分析手法の検討を目的とする。

上記目的の達成に向け、具体的には、現行の介護予防サービスの種類ごとに個々の利用者に着目し、利用しているサービス内容、その個人の状態(心身の状態、家族状況等)、ケアプランにおける目標設定等について典型的な事例をサンプル収集し、全体的な調査のための手法及びその分析方法の検討を実施する。

2. 調査の方法

(1) アンケート調査概要

調査名称	「介護予防サービス実態概況調査」
調査期間	平成28年3月4日(月)～3月11日(月)
調査方法	質問紙調査(全国の地域包括支援センターから無作為に抽出した4,557事業所に郵送送付、郵送回答)
対象	介護予防支援(介護予防ケアマネジメント)において、2016年2月時点で担当する利用者が1名以上いる担当者
配布数	介護予防ケアプラン調査票:9,114件
回収数	介護予防ケアプラン調査票:3,019票(回収率 約33.1%)

(2) データクリーニングの方法

「単一回答」である設問において複数の回答があった場合は、順位尺度の場合はより上位の尺度を採用することとし、それ以外は無効回答とした。

枝問について、回答の必要がないにも関わらず記入されていた場合は無効回答とした。

数値回答設問において平均値から極めて大きく外れた値については「外れ値」として除外した。

第2章 アンケート調査結果

第1節 サービス利用者の基本属性

1. 基本属性

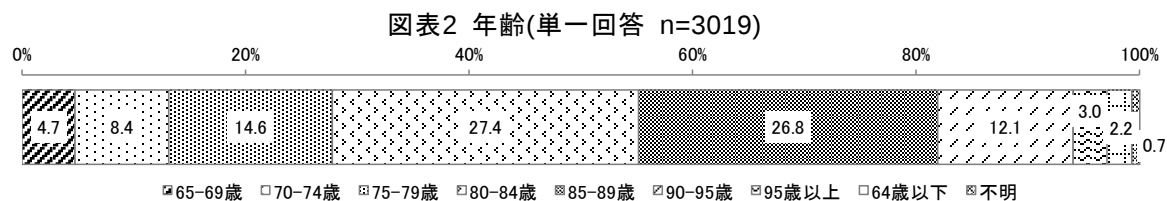
(1) 現在のケアプラン開始時期

現在のケアプラン開始時期は、「3ヶ月以内」が44.4%と最も多く、次いで「4ヶ月～半年」が30.4%である。半年以内に開始されたプランの合計が約75%を占めている。



(2) 年齢

利用者の年齢は、「80-84歳」が27.4%と最も多く、次いで「85-89歳」が26.8%である。80代の利用者合計が全体の半数以上を占めている。



(3) 性別

利用者の性別は、「女性」が73.4%であり、多数を占めている。

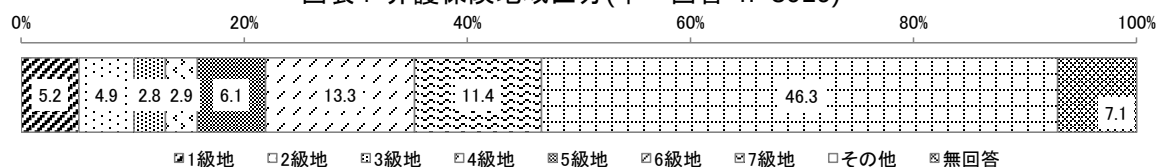


2. 生活環境

(1) 介護保険地域区分

その他が 46.3%と最も多く、次いで「6 級地」が 13.3%、「7 級地」が 11.4%を占めている。

図表4 介護保険地域区分(単一回答 n=3019)



(2) 同居・独居

「同居者あり」が 53.1%、「同居者なし」が 46.3%である。

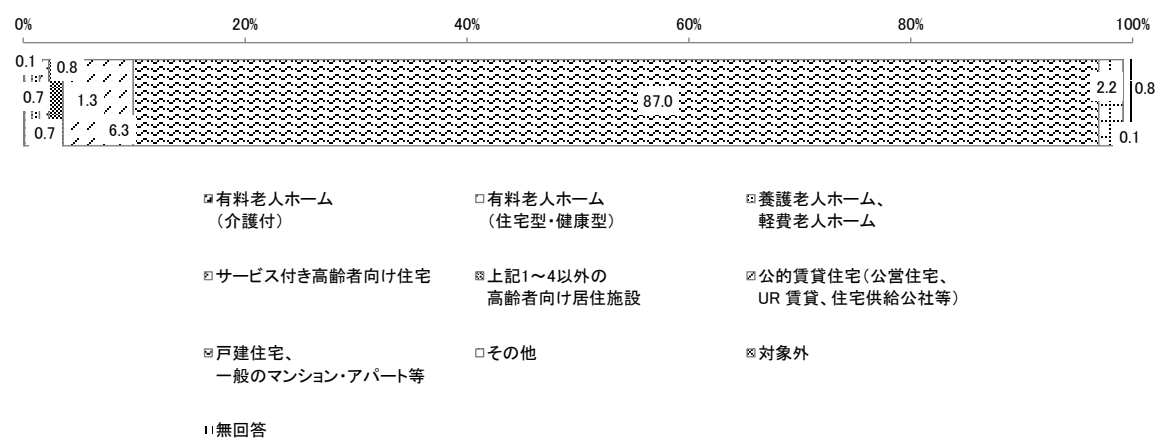
図表5 同居・独居(単一回答 n=3019)



(3) 現在の主な居所

「戸建て住宅、一般のマンション・アパート等」が最も多く、87.0%を占めている。

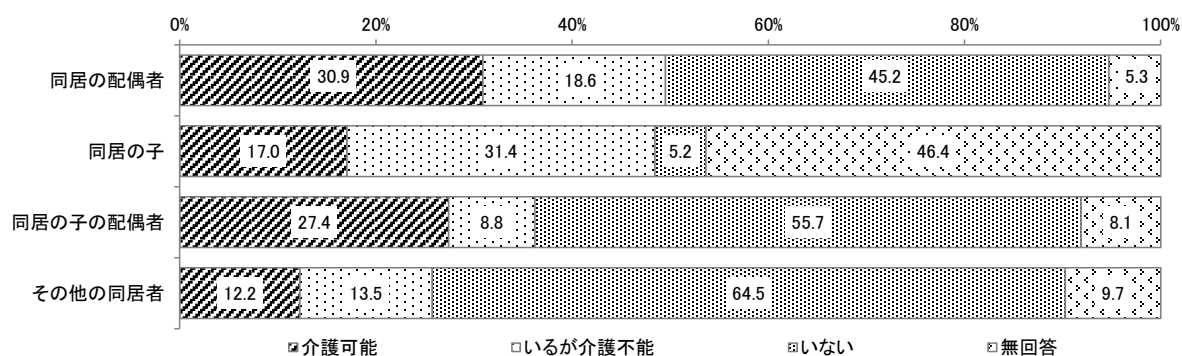
図表6 現在の主な居所(単一回答 n=3019)



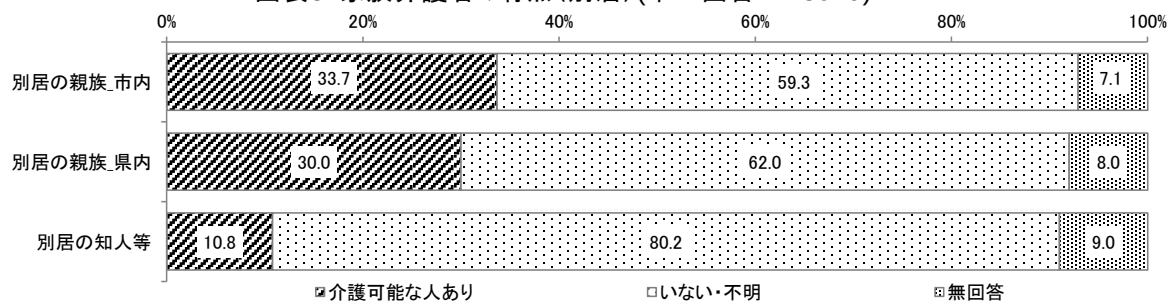
(4) 家族介護者の有無と状況

同居の介護可能な家族は「同居の配偶者」が 30.9%と最も多く、次いで「同居の子の配偶者」が 27.4%である。別居の介護可能な家族は、「別居の親族(同一市内)」が 33.7%、「別居の親族(同一県内)」が 30.0%である。同居者(介護者)の生活・健康上の課題の有無に関しては、「問題なし」が 50.0%と最も多く、次いで「認定はないが生活・健康上の課題がある」が 24.2%である。

図表7 家族介護者の有無(同居)(単一回答 n=3019)



図表8 家族介護者の有無(別居)(単一回答 n=3019)

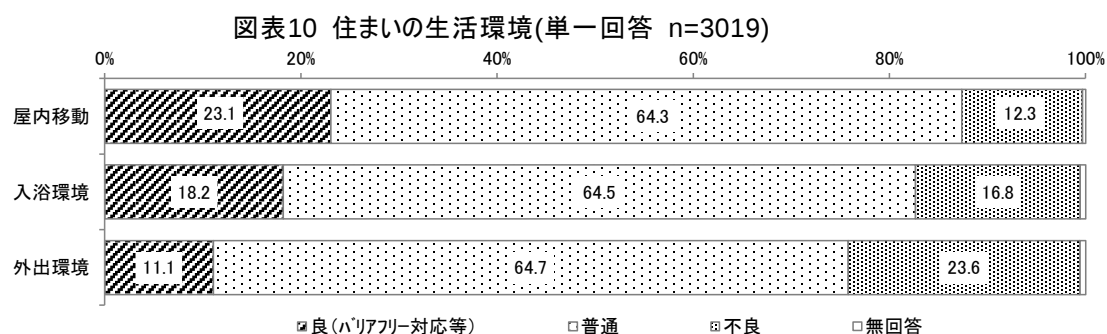


図表9 同居者(介護者)の生活・健康上の課題の有無(単一回答 n=3019)



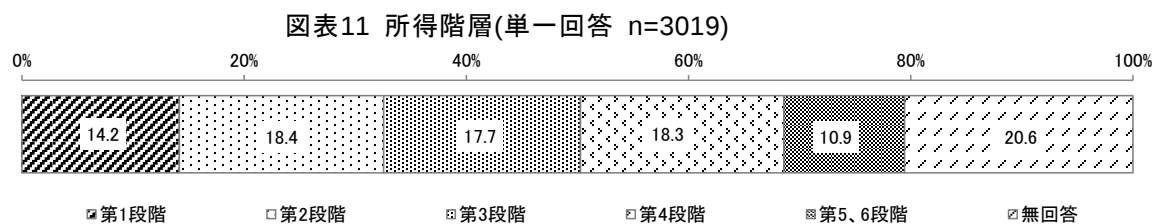
(5) 住まいの生活環境

利用者の生活環境は、「良」が約 10～20%、「普通」が約 65%を占めている。外出環境については「不良」が 23.6%に上る。



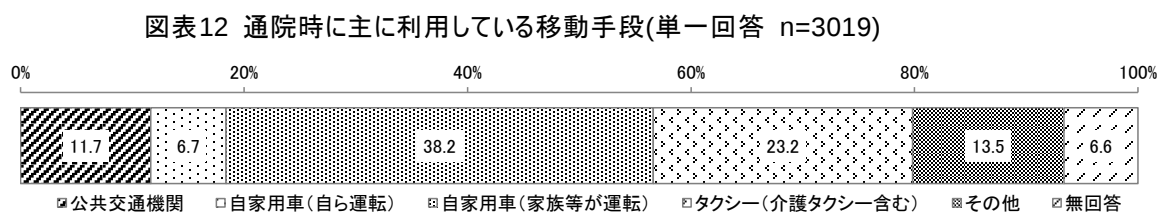
(6) 所得階層

利用者の所得階層は、「第2段階」、「第4段階」、「第3段階」がそれぞれ約 18%である。



(7) 通院時に主に利用している移動手段

通院時に主に利用している移動手段は、「自家用車(家族等が運転)」が 38.2%と最も多く、次いで「タクシー(介護タクシーを含む)」が 23.2%、「その他」が 13.5%である。

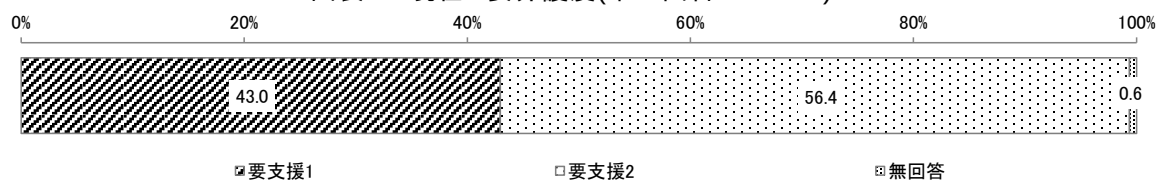


第2節 心身の状態

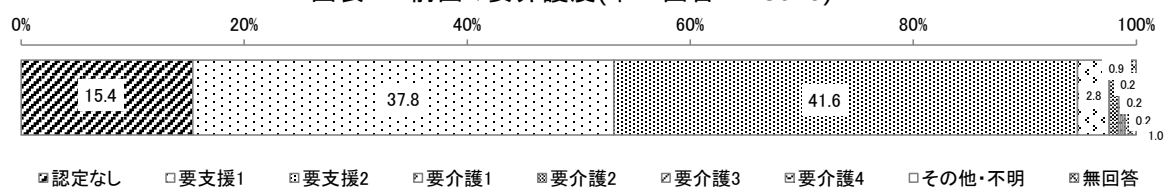
1. 要介護度

現在の要介護度は、「要支援2」が56.4%、「要支援1」が43.0%である。前回の要介護度は、「要支援2」が41.6%と最も多く、次いで「要支援1」が37.8%、「認定なし」が15.4%である。

図表13 現在の要介護度(単一回答 n=3019)



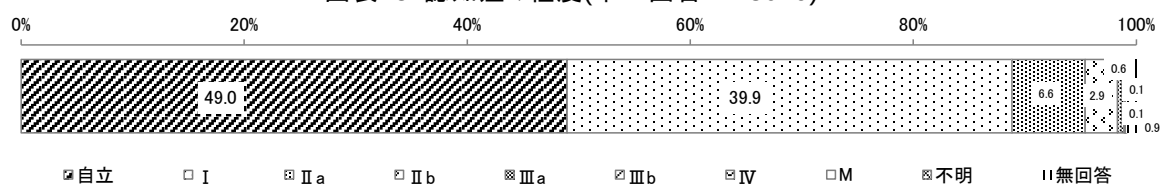
図表14 前回の要介護度(単一回答 n=3019)



2. 認知症の程度

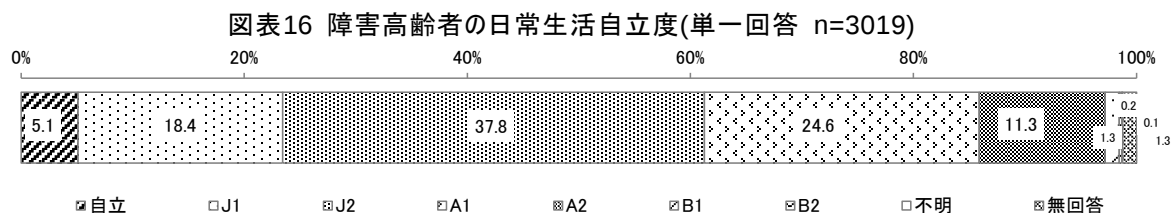
認知症の程度は、「自立」が49.0%と最も多く、次いで「I」が39.9%である。

図表15 認知症の程度(単一回答 n=3019)



3. 日常生活自立度

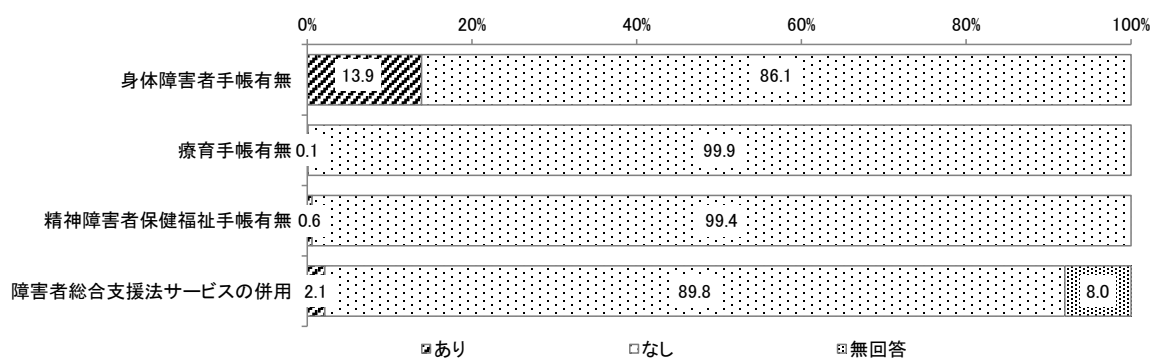
日常生活自立度は、「J2」が 37.8%と最も多く、次いで「A1」が 24.6%、「J1」が 18.4%である。



4. 障害者手帳の所持・障害者総合支援法サービスの併用

身体障害者手帳を持つ割合は、13.9%である。療養手帳、精神障害者保健福祉手帳を持つ割合は 1%未満である。障害者総合支援法サービスとの併用の割合は 2.1%である。

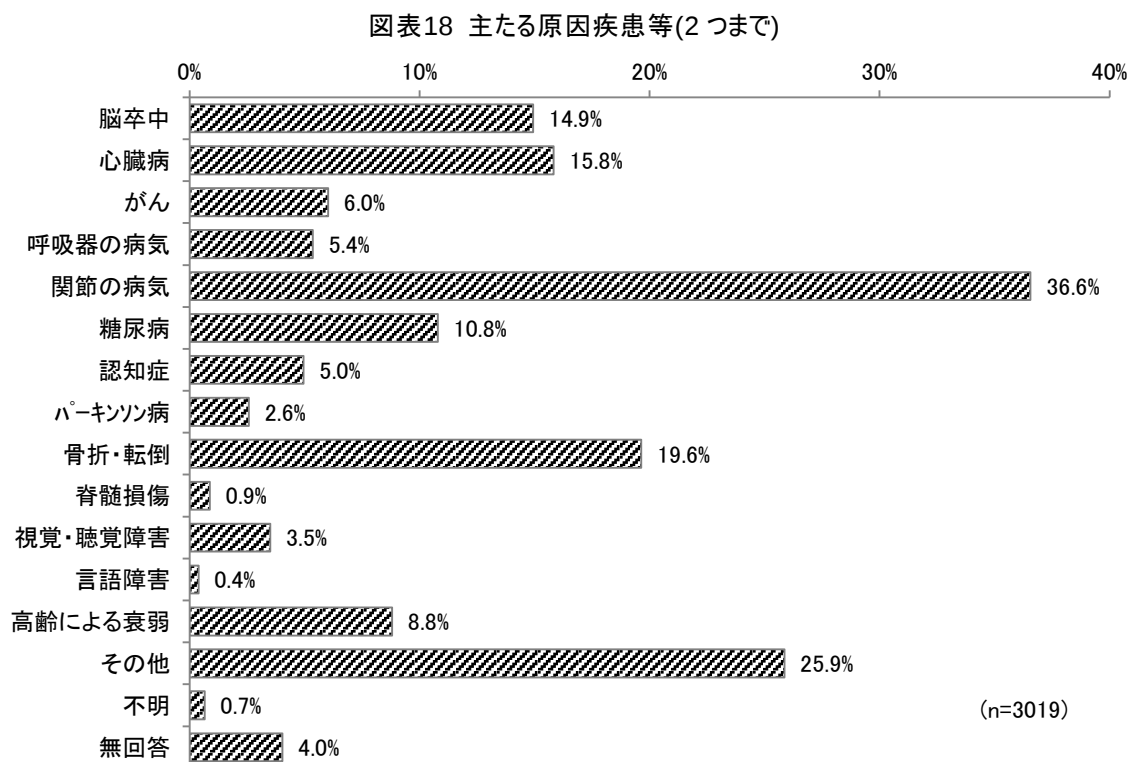
図表17 障害者手帳の所持・障害者総合支援法サービスの併用(単一回答 n=3019)



5. 疾患・服薬

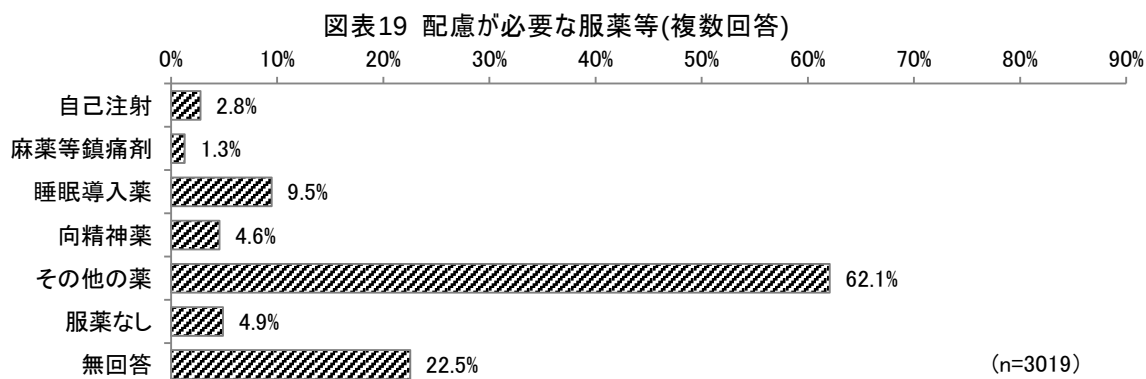
(1) 主たる原因疾患等

主たる原因疾患等は、「関節の病気」が 36.6%と最も多く、次いで「その他」が 25.9%、「骨折・転倒」が 19.6%である。



(2) 配慮が必要な服薬等

配慮が必要な服薬等は、「その他の薬」が62.1%と最も多く、次いで「睡眠導入薬」が9.5%である。

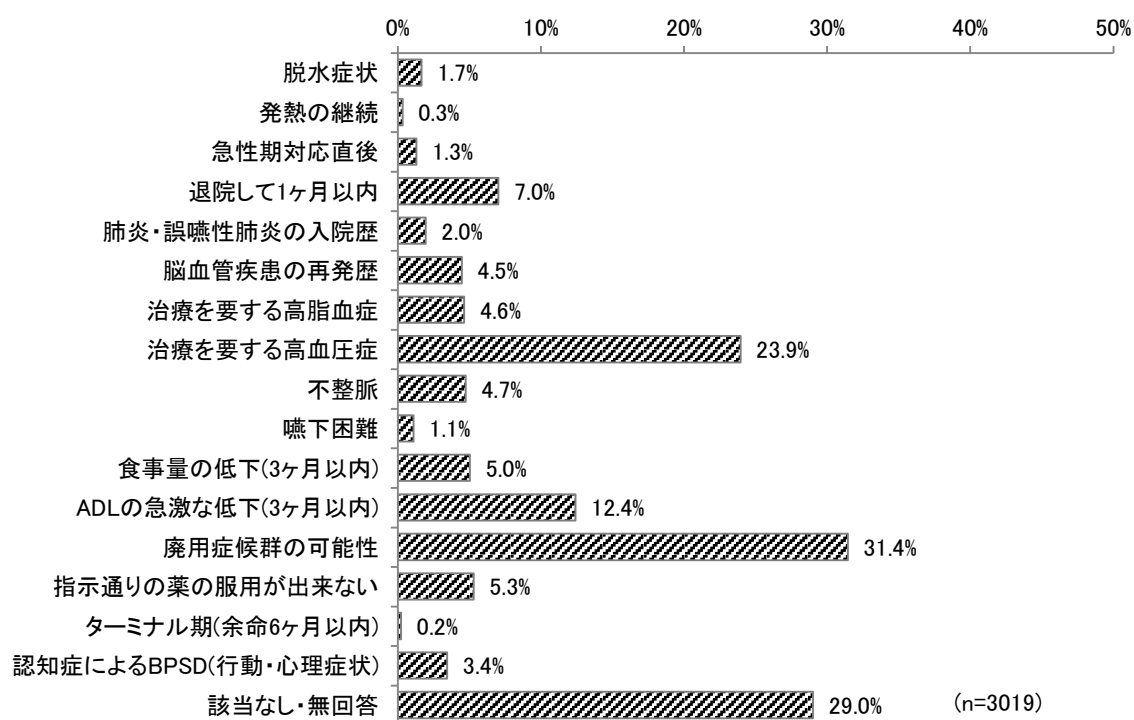


6. ケアプラン作成時点の状態

(1) ケアプラン作成時点に認められた心身の状態

利用者のケアプラン作成時点に認められた心身の状態は、「廃用症候群の可能性」が31.4%と最も多く、次いで「治療を要する高血圧症」が23.9%、「ADLの急激な低下(3ヶ月以内)」が12.4%である。

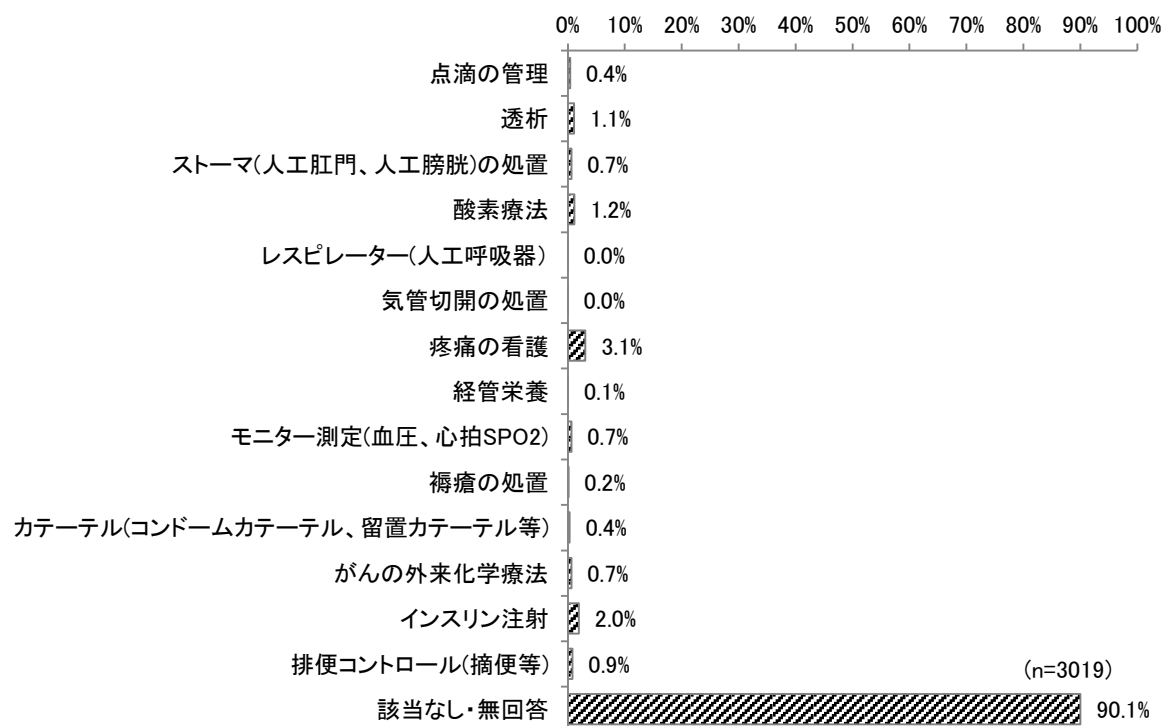
図表20 ケアプラン作成時点に認められた心身の状態(複数回答)



(2) ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケア

利用者のケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケアは、「疼痛の看護」が 3.1%と最も多く、次いで「インスリン注射」が 2.0%、「酸素療法」が 1.2%である。

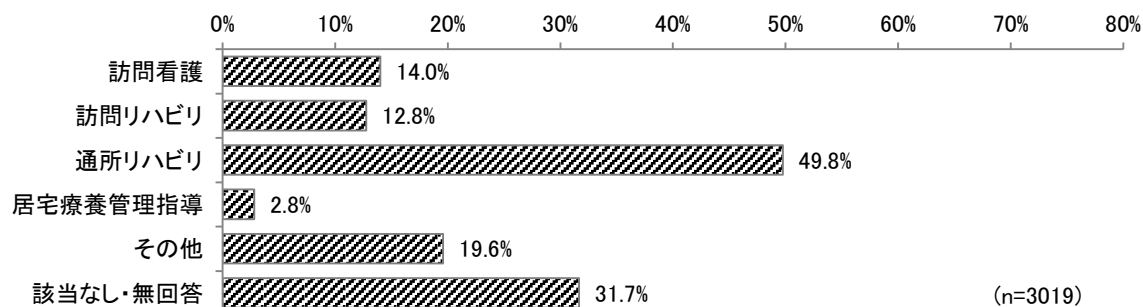
図表21 ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケア(複数回答)



(3) 介護認定審査会として付する主治医意見書等で指定されているサービス

「通所リハビリ」が 49.8%と最も多く、次いで「訪問看護」が 14.0%、「訪問リハビリ」が 12.8%である。

図表22 介護認定審査会として付する主治医意見書等で指定されているサービス(複数回答)



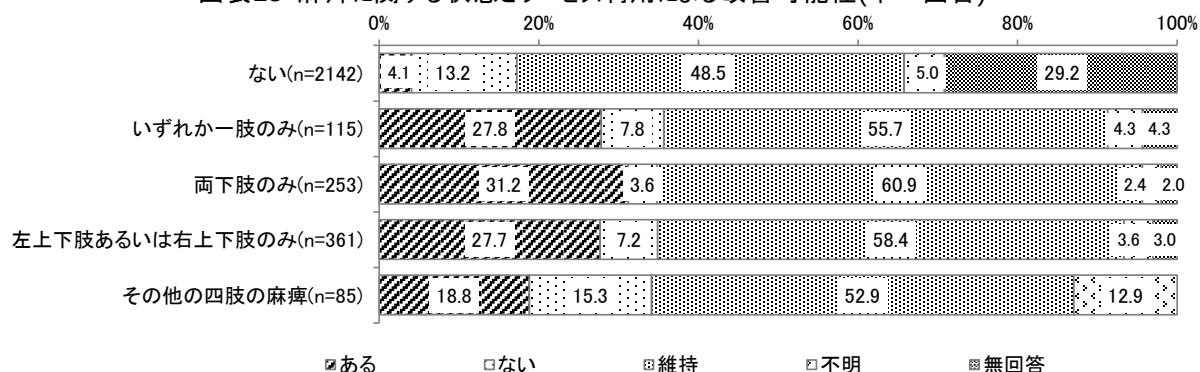
第3節 日常生活自立度とサービス利用による改善可能性

1. 身体機能・起居動作

(1) 麻痺

麻痺に関して、サービス利用による改善可能性は「維持」が半数以上を占めている。サービス利用による改善可能性があるという回答があったものは「両下肢のみ」が最も多く31.2%、次いで「いずれか一肢のみ」が27.8%、「左上下肢あるいは右上下肢のみ」が27.7%である。

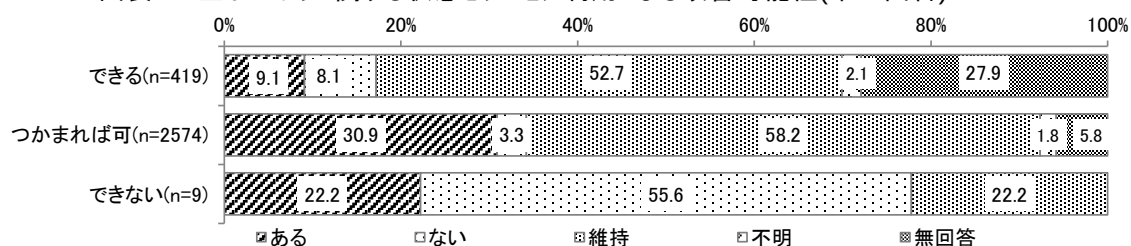
図表23 麻痺に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(2) 立ち上がり

立ち上がりに関して、「つかまれば可」のうち、サービス利用による改善可能性は「維持」が58.2%、「ある」が30.9%である。

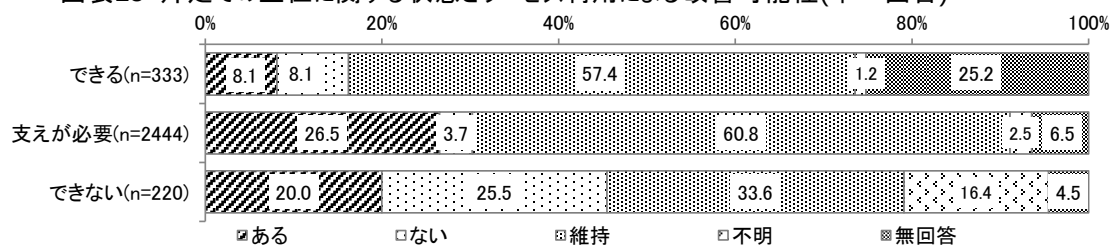
図表24 立ち上がりに関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(3) 片足での立位

片足での立位に関して、「支えが必要」のうち、サービス利用による改善可能性は「維持」が60.8%、「ある」が26.5%である。「できない」のうち、サービス利用による改善可能性は「維持」が33.6%、「ある」が20.0%である。

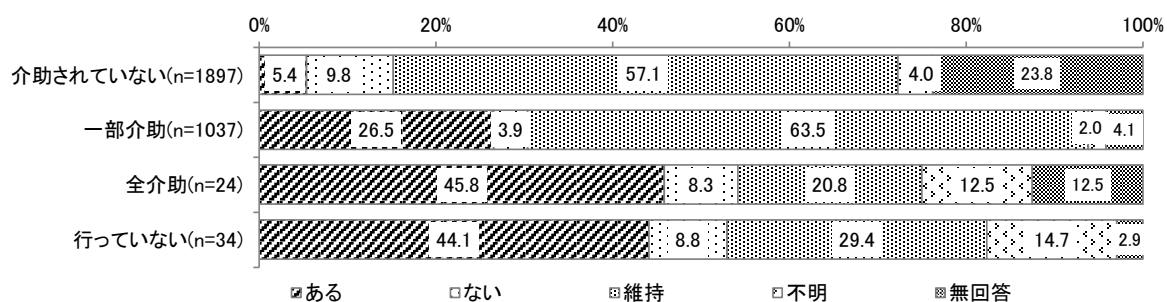
図表25 片足での立位に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(4) 洗身

洗身に関して、「一部介助」のうち、サービス利用による改善可能性は「維持」が 63.5%、「ある」が 26.5%である。

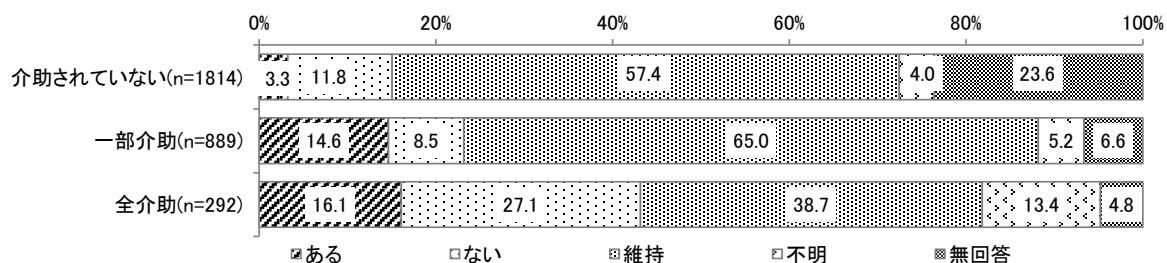
図表26 洗身に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(5) つめ切り

つめ切りに関して、「一部介助」のうち、サービス利用による改善可能性は「維持」が 65.0%、「ある」が 14.6%である。「全介助」のうち、サービス利用による改善可能性は「維持」が 38.7%、「ない」が 27.1 である。

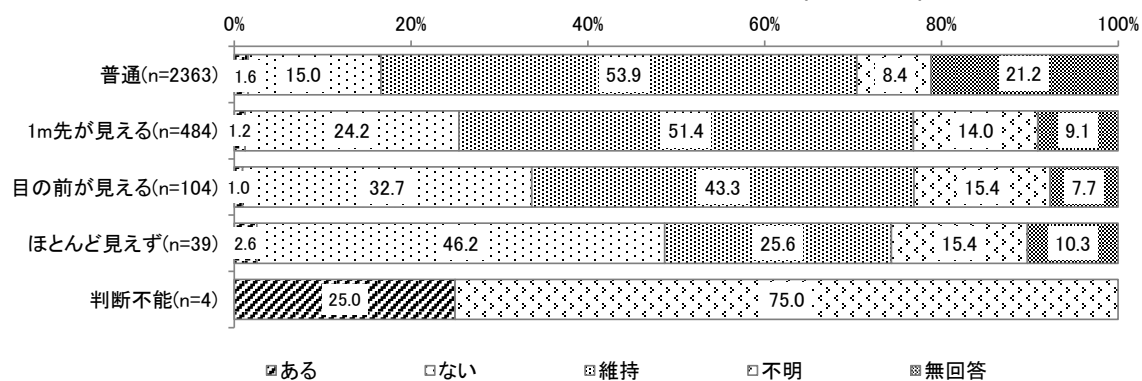
図表27 つめ切りに関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(6) 視力

視力に関して、サービス利用による改善可能性が「ある」は 3%に満たない。また、重度になるに従い、サービス利用による改善可能性は「ない」が高くなり、「維持」が低くなる。

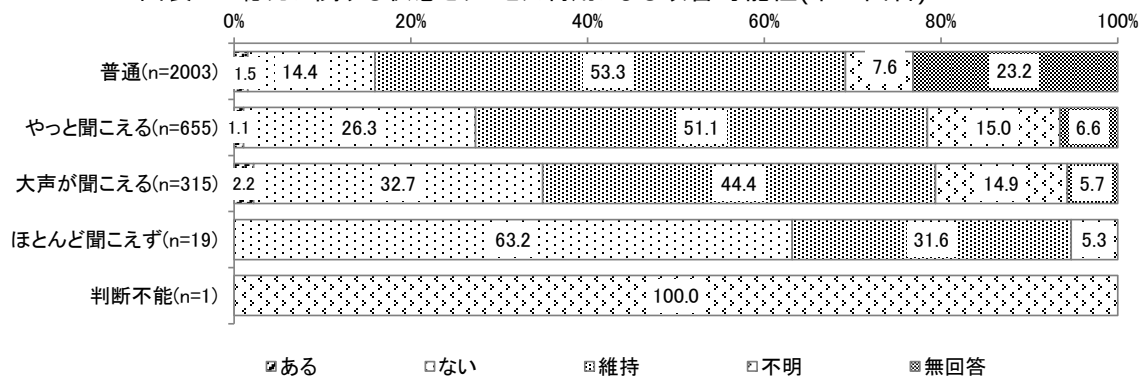
図表28 視力に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(7) 聴力

聴力に関して、サービス利用による改善可能性が「ある」は 3%に満たない。また、重度になるに従い、サービス利用による改善可能性は「ない」が高くなり、「維持」が低くなる。

図表29 聴力に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)

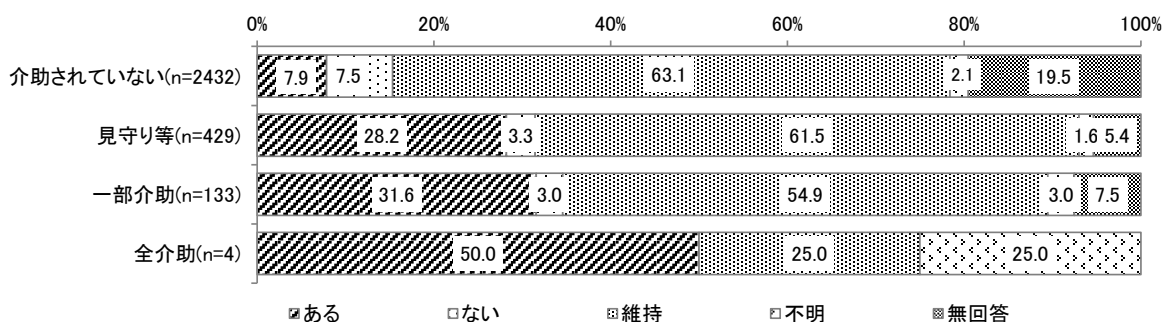


2. 生活機能

(1) 移乗

移乗に関して、「見守り等」のサービス利用による改善可能性は「維持」が 61.5%、「ある」が 28.2%である。「一部介助」のサービス利用による改善可能性は「維持」が 54.9%、「ある」が 31.6%である。

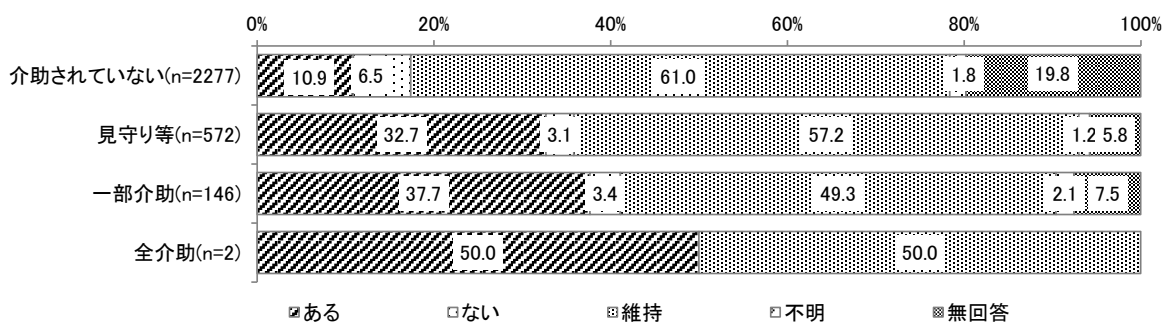
図表30 移乗に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(2) 移動

移動に関して、「見守り等」のサービス利用による改善可能性は「維持」が 57.2%、「ある」が 32.7%である。「一部介助」のサービス利用による改善可能性は「維持」が 49.3%、「ある」が 37.7%である。

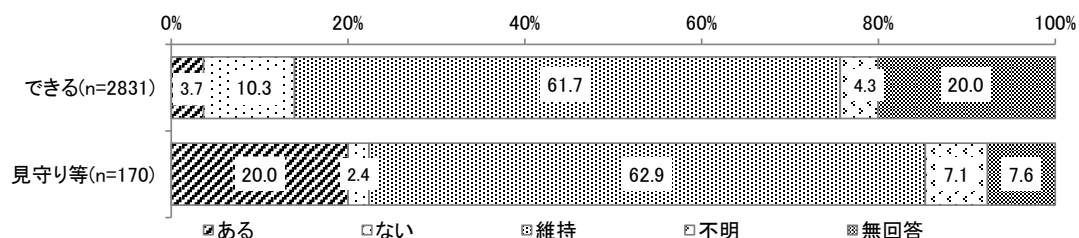
図表31 移動に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(3) えん下

えん下に関して、「見守り等」のサービス利用による改善可能性は「維持」が 62.9%、「ある」が 20.0%である。

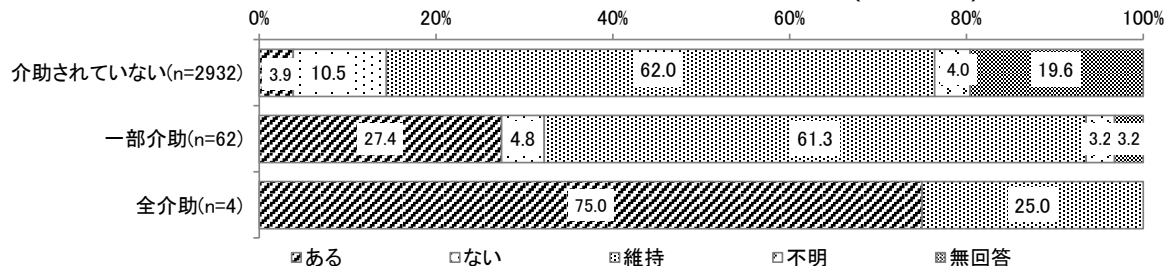
図表32 えん下に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(4) 口腔清潔

口腔清潔に関して、「一部介助」のサービス利用による改善可能性は「維持」が 61.3%、「ある」が 27.4%である。

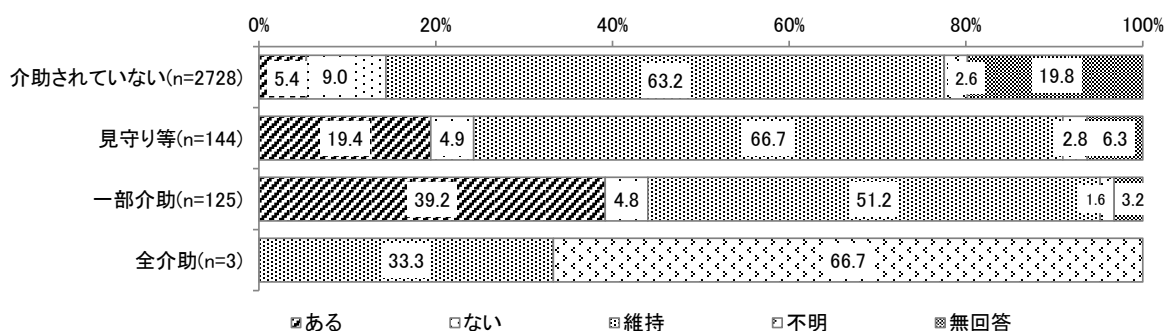
図表33 口腔清潔に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(5) ズボン等の着脱

ズボン等の着脱に関して、「見守り等」のサービス利用による改善可能性は「維持」が 66.7%、「ある」が 19.4%である。「一部介助」のサービス利用による改善可能性は「維持」が 51.2%、「ある」が 39.2%である。

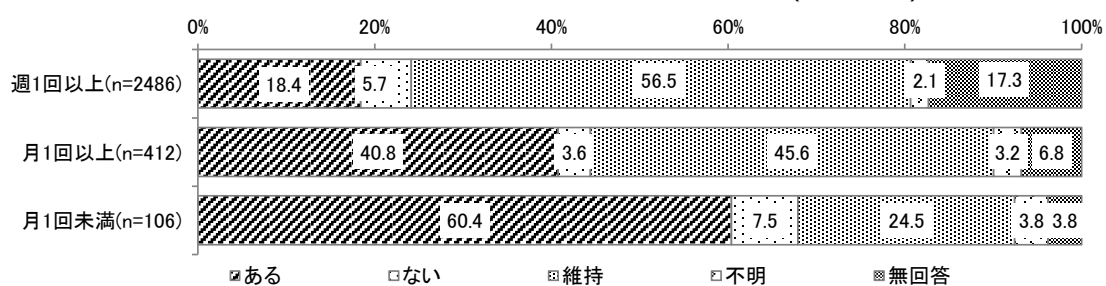
図表34 ズボン等の着脱に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(6) 外出頻度

外出頻度に関して、外出頻度が少ないほどサービス利用による改善可能性が「ある」の回答が多くなり、「月1回未満」が60.4%と最も多く、次いで「月1回以上」が40.8%、「週1回以上」が18.4%である。

図表35 外出頻度に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)

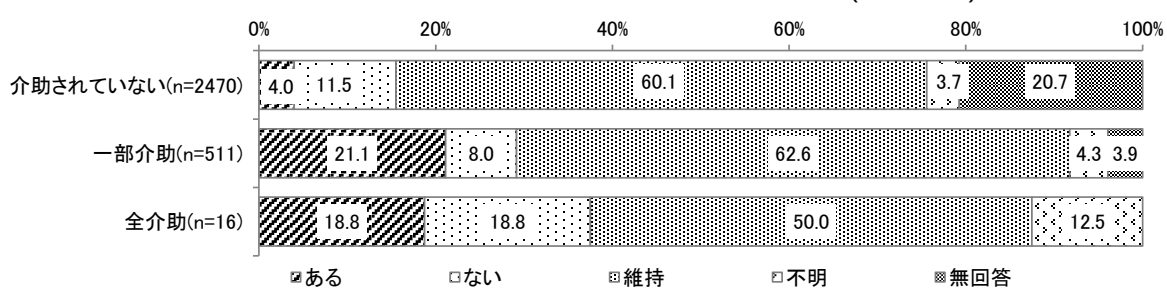


3. 社会生活の適応

(1) 薬の内服

薬の内服に関して、「一部介助」のサービス利用による改善可能性は「維持」が62.6%、「ある」が21.1%である。

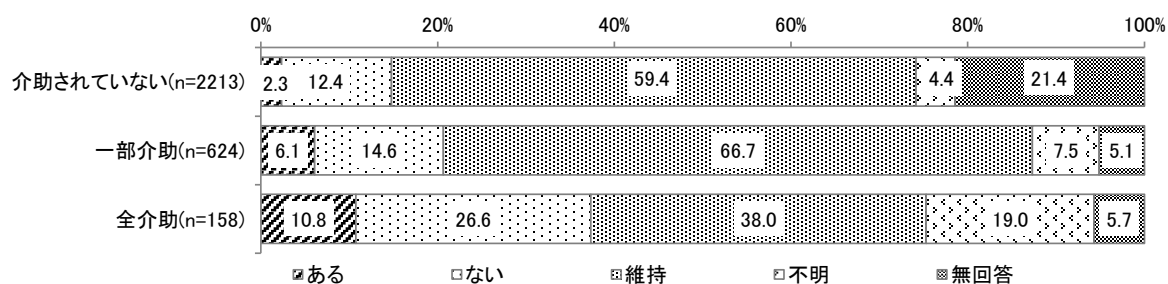
図表36 薬の内服に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(2) 金銭の管理

金銭の管理に関して、サービス利用による改善可能性は「一部介助」で「維持」が 66.7%、「ない」が 14.6%である。「全介助」では「維持」が 38.0%、「ない」が 26.6%である。

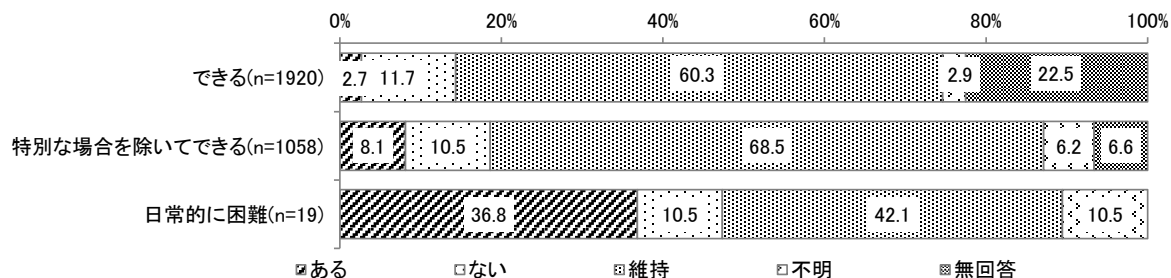
図表37 金銭の管理に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(3) 日常の意思決定

日常の意思決定に関して、「特別な場合を除いてできる」のうち、サービス利用による改善可能性は「維持」が 68.5%、「ない」が 10.5%である。

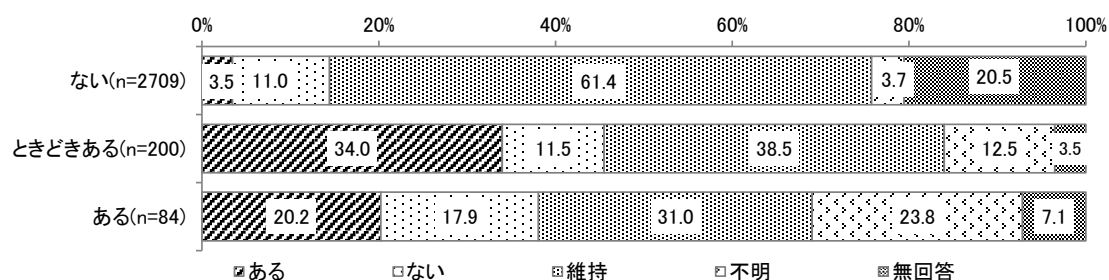
図表38 日常の意思決定に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(4) 集団への不適応

集団への不適応に関して、「ときどきある」のうち、サービス利用による改善可能性は「維持」が 38.5%、「ある」が 34.0%である。

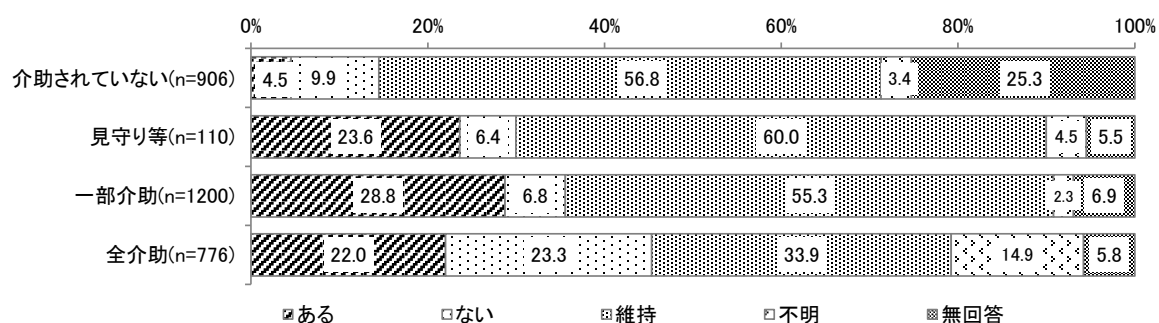
図表39 集団への不適応に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(5) 買い物

買い物に関して、サービス利用による改善可能性が「維持」との回答は「見守り等」が 60.0%で最も多く、次いで「一部介助」で 55.3%、「全介助」で 33.9%である。サービス利用による改善可能性が「ある」との回答は「一部介助」が 28.8%と最も多く、次いで「見守り等」が 23.6%、「全介助」が 22.0%である。

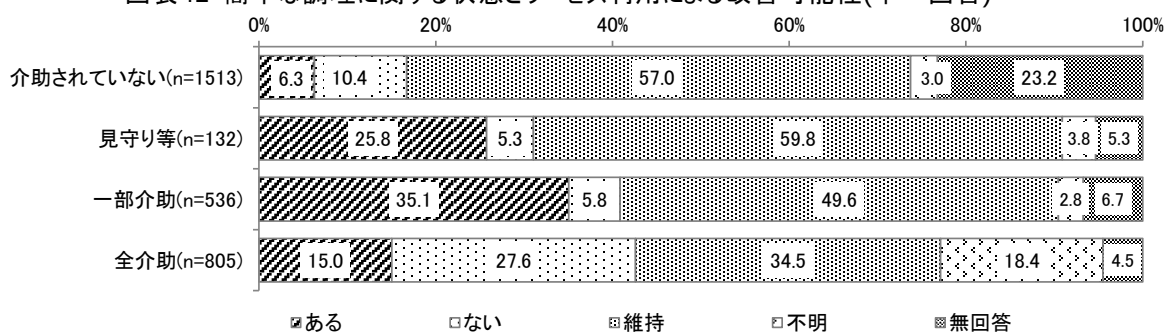
図表40 買い物に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



(6) 簡単な調理

簡単な調理に関して、サービス利用による改善可能性が「維持」との回答は「見守り等」が 59.8%と最も多く、次いで「一部介助」で 49.6%、「全介助」で 34.5%である。サービス利用による改善可能性が「ある」との回答は「一部介助」が 35.1%と最も多く、「見守り等」が 25.8%、「全介助」が 15.0%である。

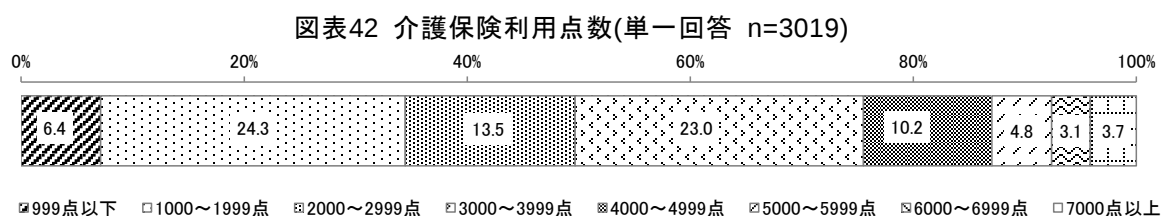
図表41 簡単な調理に関する状態とサービス利用による改善可能性(単一回答)



第4節 利用者のサービス利用状況

1. 介護保険利用点数

平成28年2月の介護保険利用点数は、「1000～1999点」が24.3%と最も多く、「3000～3999点」が23.0%、「2000～2999点」が13.5%である。



2. 介護予防給付サービス

(1) 利用者数

平成28年2月における、介護予防給付サービスの利用者数は以下の通り。

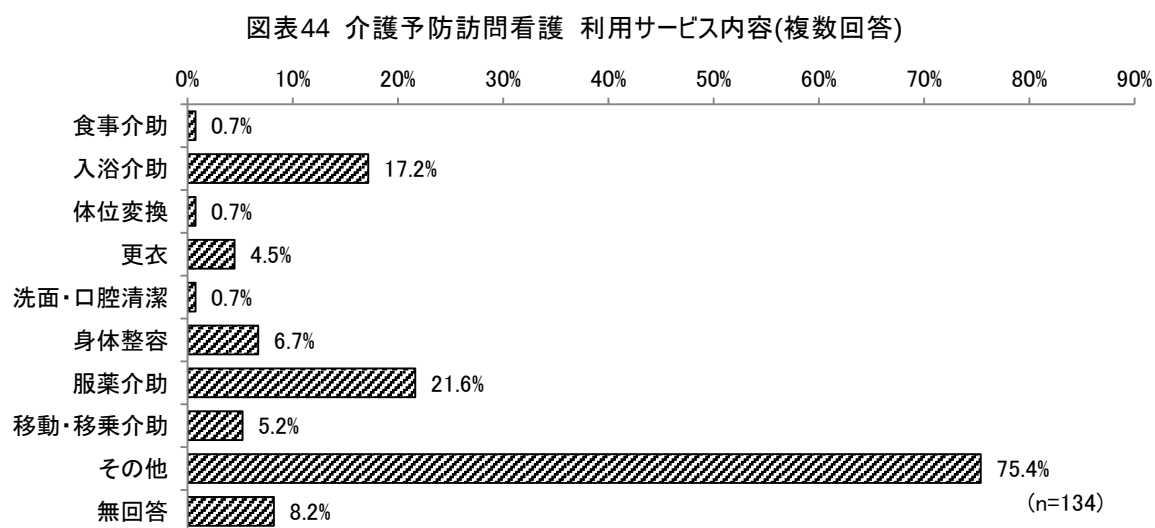
図表43 平成28年2月時点サービス利用状況(n=3019 複数回答)

利用サービス	利用者数 (人)	割合 (%)
介護予防訪問入浴介護	13	0.4%
介護予防訪問看護	134	4.4%
介護予防訪問リハビリテーション	89	2.9%
介護予防訪問居宅療養管理指導	29	1.0%
介護予防通所リハビリテーション	444	14.7%
介護予防短期入所生活介護	58	1.9%
介護予防短期入所療養介護	5	0.2%
介護予防特定施設入居者生活介護	4	0.1%
介護予防福祉用具貸与	998	33.1%
特定介護予防福祉用具販売	344	11.4%
介護予防住宅改修	598	19.8%
介護予防訪問介護	1108	36.7%
介護予防通所介護	1532	50.7%
介護予防認知症対応型通所介護	5	0.2%
介護予防小規模多機能	0	0.0%
介護予防認知症対応型共同生活介護	0	0.0%

(2) 利用サービス内容・目的

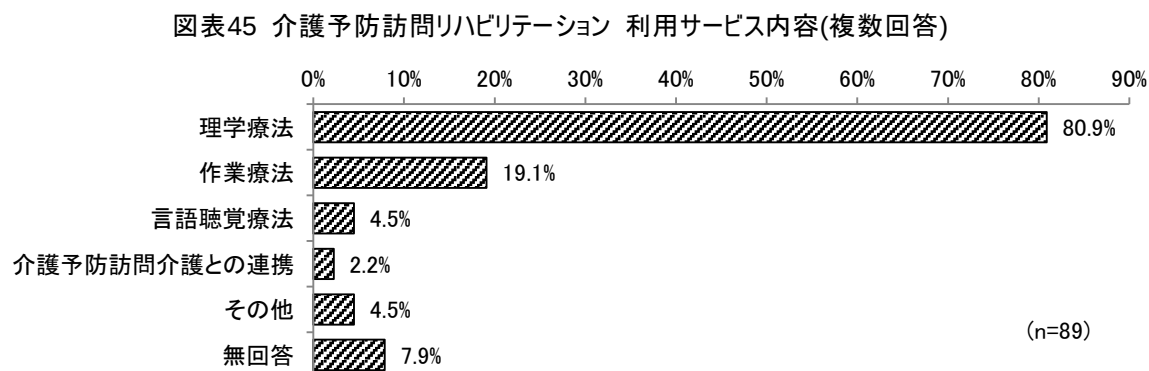
① 介護予防訪問看護

利用内容は、「その他」が 75.4%と最も多く、次いで「服薬介助」が 21.6%、「入浴介助」が 17.2%である。

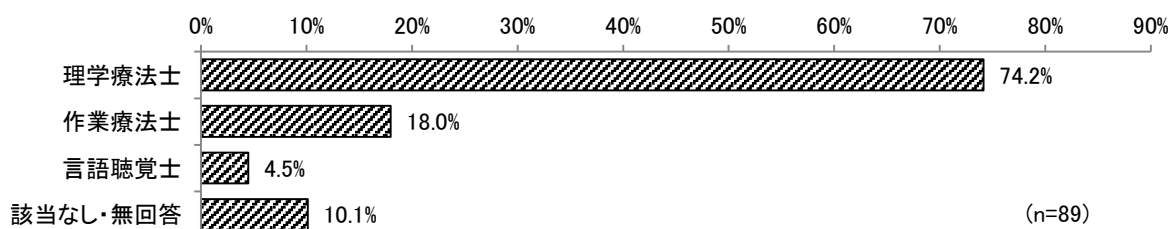


② 介護予防訪問リハビリテーション

利用内容は、「理学療法」が 80.9%と最も多く、次いで「作業療法」が 19.1%である。リハビリテーションを提供している職種に関しては、「理学療法士」が 74.2%と最も多く、次いで「作業療法士」が 18.0%である。



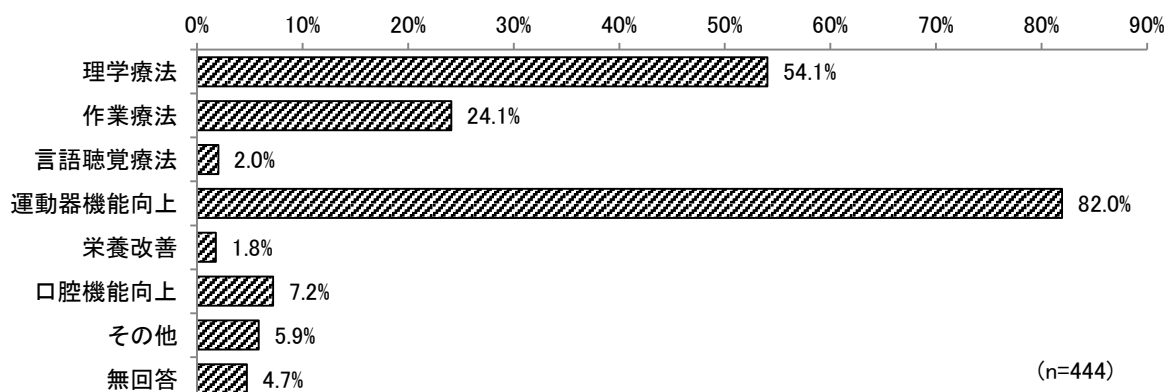
図表46 介護予防訪問リハビリテーション リハビリテーションを提供している職種(複数回答)



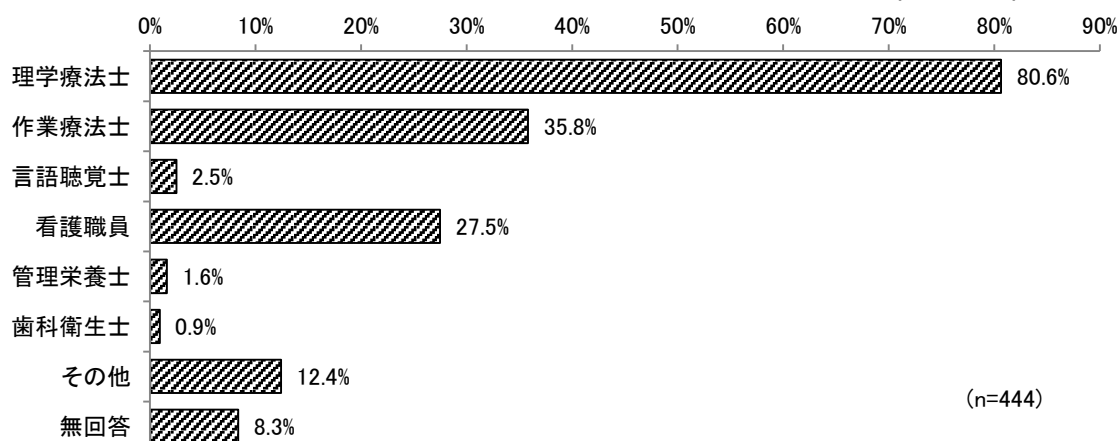
③ 介護予防通所リハビリテーション

利用内容は、「運動器機能向上」が 82.0%と最も多く、次いで「理学療法」が 54.1%、「作業療法」が 24.1%である。リハビリテーションを提供している職種に関しては、「理学療法士」が 80.6%と最も多く、次いで「作業療法士」が 35.8%、「看護職員」が 27.5%である。

図表47 介護予防通所リハビリテーション 利用サービス内容(複数回答)



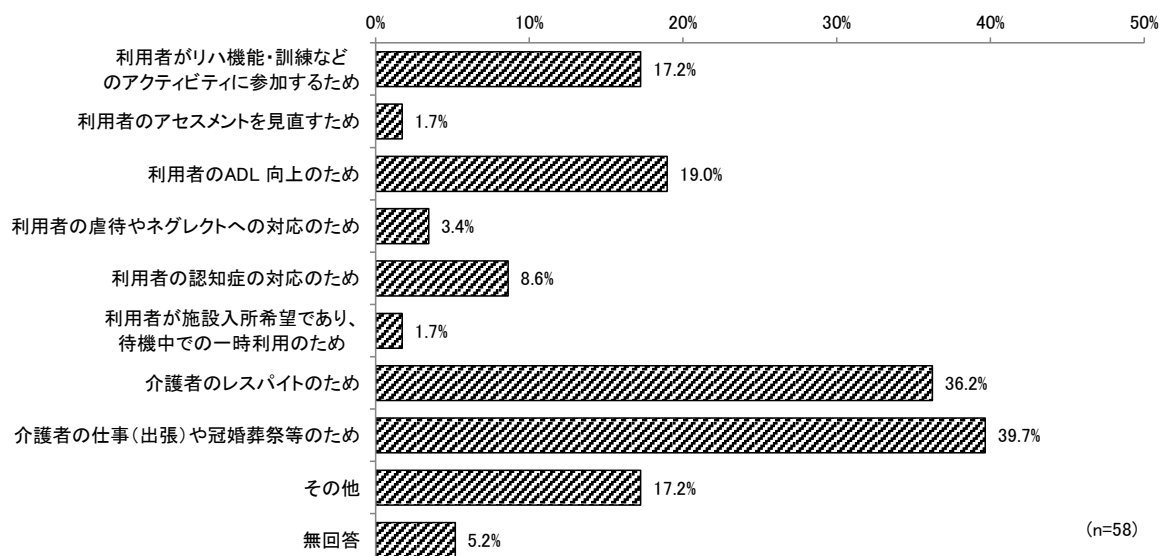
図表48 介護予防通所リハビリテーション リハビリテーションを提供している職種(複数回答)



④ 介護予防短期入所生活介護

利用目的は、「介護者の仕事(出張)や冠婚葬祭等のため」が 39.7%と最も多く、次いで「介護者のレスパイトのため」が 36.2%、「利用者の ADL 向上のため」が 19.0%、「利用者がリハ機能・訓練などのアクティビティに参加するため」が 17.2%である。

図表49 介護予防短期入所生活介護 利用目的(複数回答)



3. 医療保険サービス

平成 28 年 2 月における、医療保険サービスの利用実績は以下の通り。

① 通院

「週 1 回程度」が 45.5%と最も多く、次いで「なし」が 23.7%、「週 2 回以上」が 7.9%である。

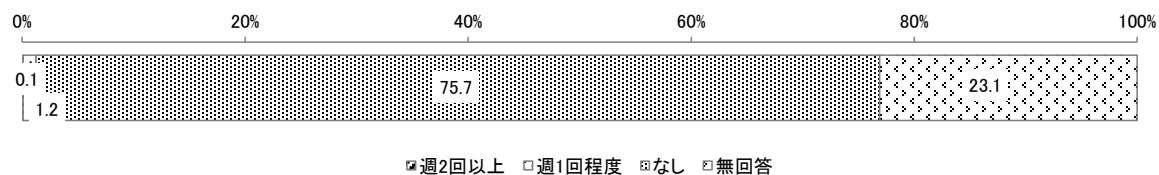
図表50 通院の実績(単一回答 n=3019)



② 訪問診療

「なし」が 75.7%を占めている。

図表51 訪問診療の実績(単一回答 n=3019)



③ (医療)訪問看護

「なし」が 75.5%を占めている。

図表52 (医療)訪問看護の実績(単一回答 n=3019)



④ 外来リハ

「なし」が 72.8%を占めている。

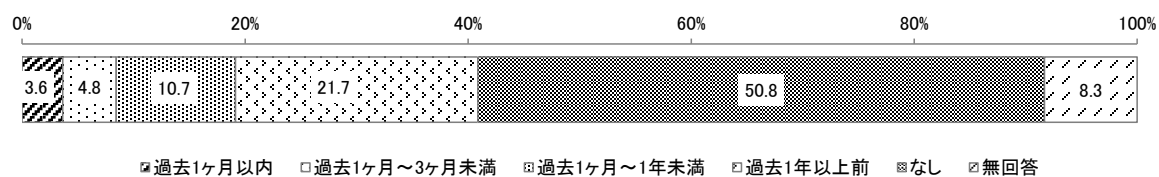
図表53 外来リハの実績(単一回答 n=3019)



⑤ 入院

「なし」が 50.8%と最も多く、次いで「過去 1 年以上前」が 21.7%、「過去 1 ヶ月～1 年未満」が 10.7%である。

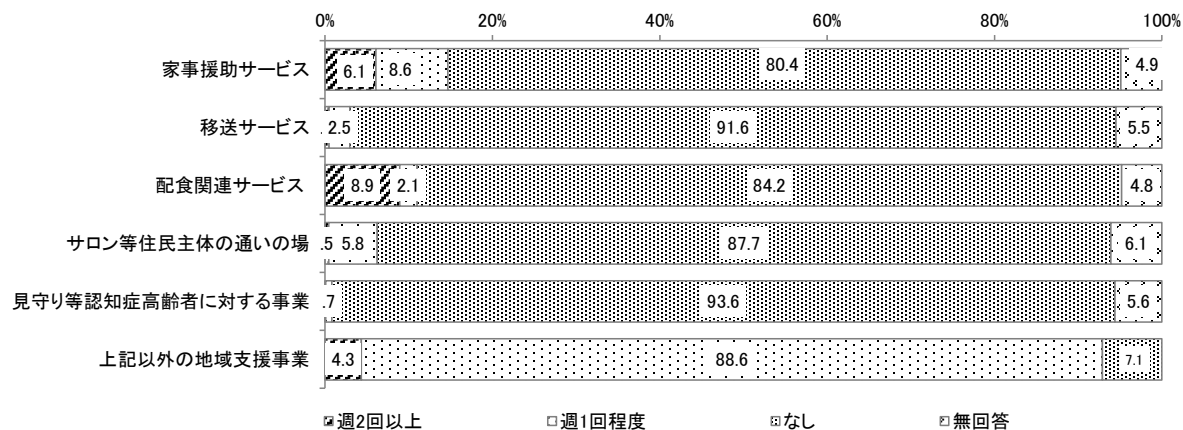
図表54 入院の実績(単一回答 n=3019)



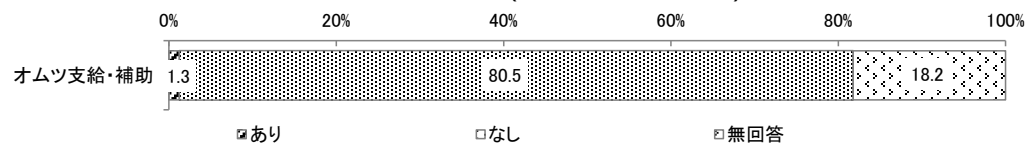
4. その他サービス利用実績

その他サービスの利用実績は、「上記以外の地域支援事業」に「週1回程度」利用している割合が最も多く、88.6%を占めている。

図表55 その他のサービス利用実績①(単一回答 n=3019)



図表56 その他のサービス利用実績②(単一回答 n=3019)



第3章 サービス別の利用者像

第1節 介護予防訪問看護

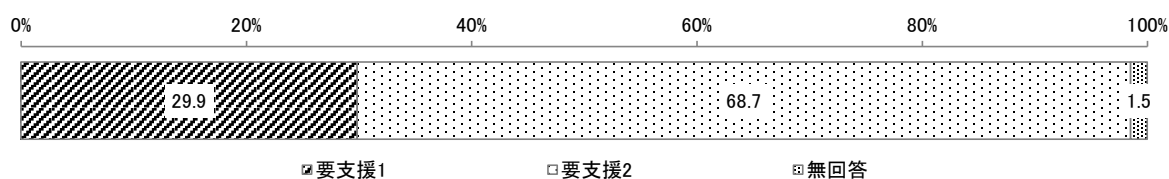
1. 要介護度

現在のケアプラン開始時期は、「3ヶ月以内」が46.3%と最も多く、次いで「4ヶ月～半年」が31.3%である。現在の要介護度は、「要支援2」が68.7%を占めている。前回の要介護度は、「要支援2」が50.0%と半数を占め、「要支援1」が21.6%、「認定なし」が20.1%である。

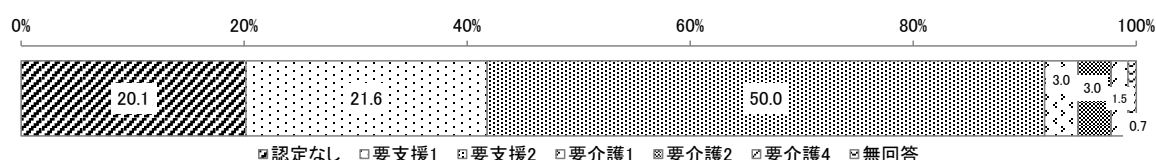
図表57 現在のケアプラン開始時期(介護予防訪問看護)(単一回答 n=134)



図表58 現在の要介護度(介護予防訪問看護)(単一回答 n=134)



図表59 前回の要介護度(介護予防訪問看護)(単一回答 n=134)



2. 生活環境

現在の主な居所は、「一般住宅」(戸建住宅、一般のマンション・アパート等、公的賃貸住宅)が91.8%を占めている。同居の有無に関しては、「同居者なし」が56.0%である。同居者の内訳は、「介護可能な同居者がいる」が30.6%、「同居者はいるが介護不能」が13.4%である。

図表60 現在の主な居所(介護予防訪問看護)(単一回答 n=134)



図表61 同居・独居(介護予防訪問看護)(単一回答 n=134)



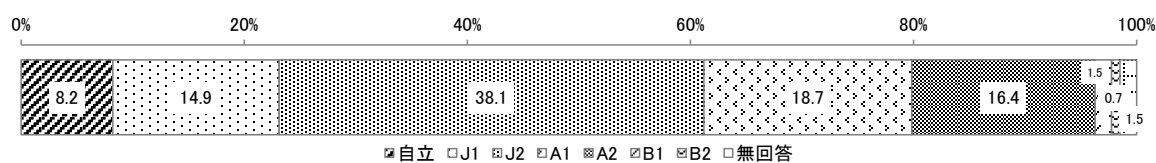
図表62 同居介護者(介護予防訪問看護)(単一回答 n=134)



3. 日常生活自立度

日常生活自立度は、「J2」が 38.1%と最も多く、次いで「A1」が 18.7%、「A2」が 16.4%である。

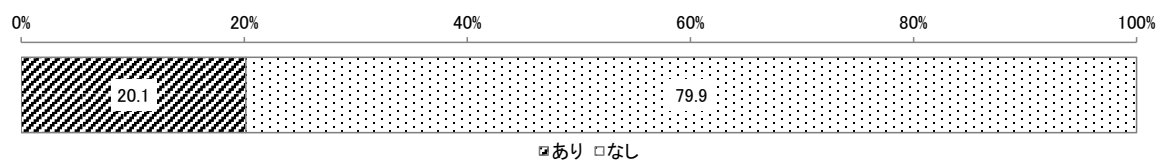
図表63 障害高齢者の日常生活自立度(介護予防訪問看護)(単一回答 n=134)



4. 障害者手帳の所持・障害者総合支援法サービスの併用

障害者手帳を持つ割合は 20.1%である。障害者総合支援法サービスの併用の割合は 1.5%である。

図表64 障害者手帳の所持(介護予防訪問看護)(単一回答 n=134)



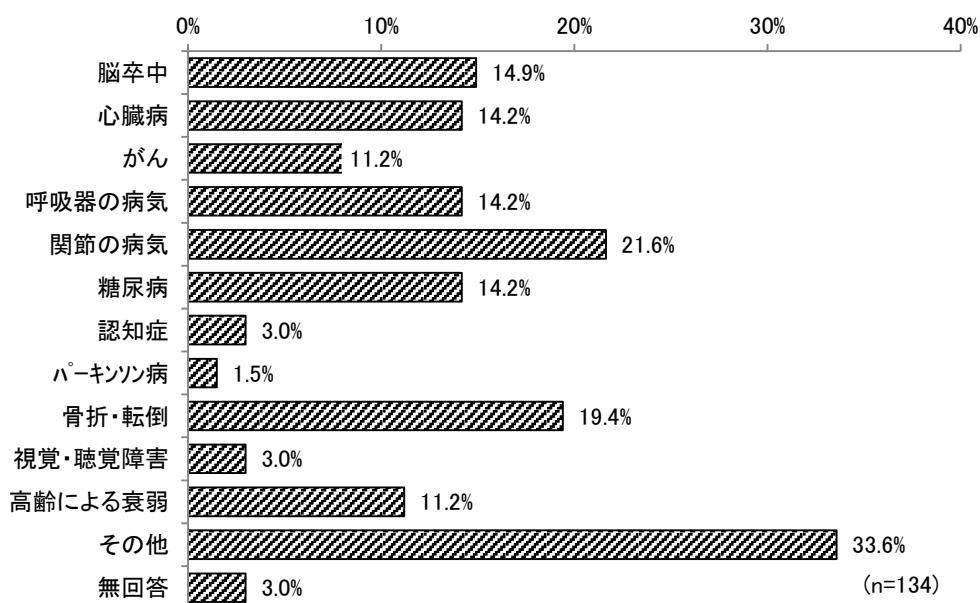
図表65 障害者総合支援法サービスの併用(介護予防訪問看護)(単一回答 n=134)



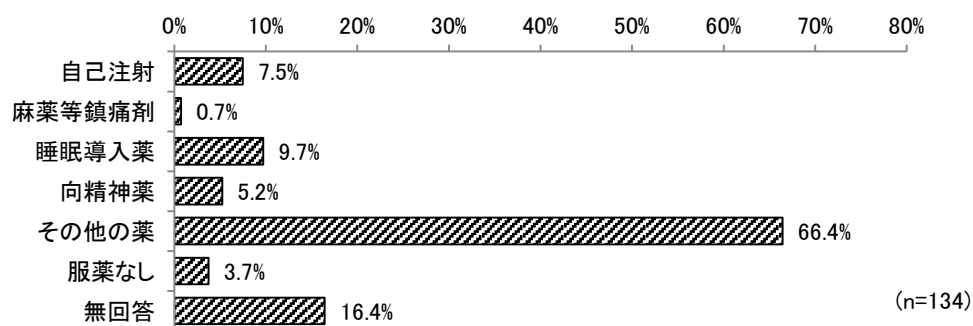
5. 疾患・服薬

主たる原因疾患等は、「その他」が 33.6%と最も多く、次いで「関節の病気」が 21.6%、「骨折・転倒」が 19.4%である。配慮が必要な服薬等に関しては、「その他の薬」が 66.4%である。

図表66 主たる原因疾患等(介護予防訪問看護)(複数回答)



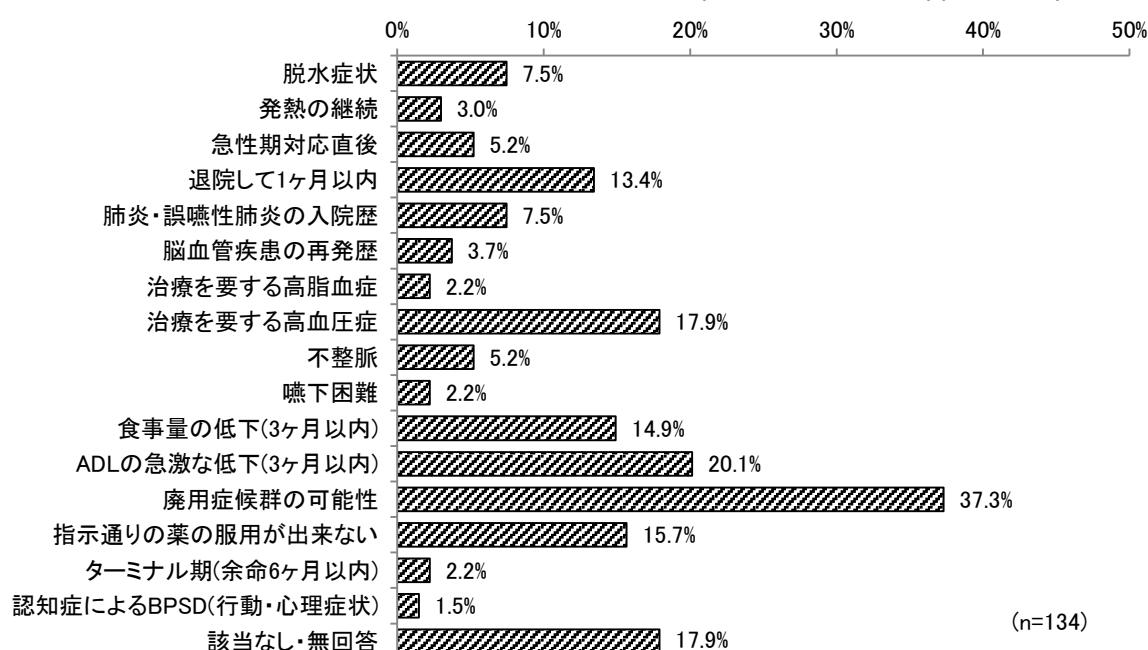
図表67 配慮が必要な服薬等(介護予防訪問看護)(複数回答)



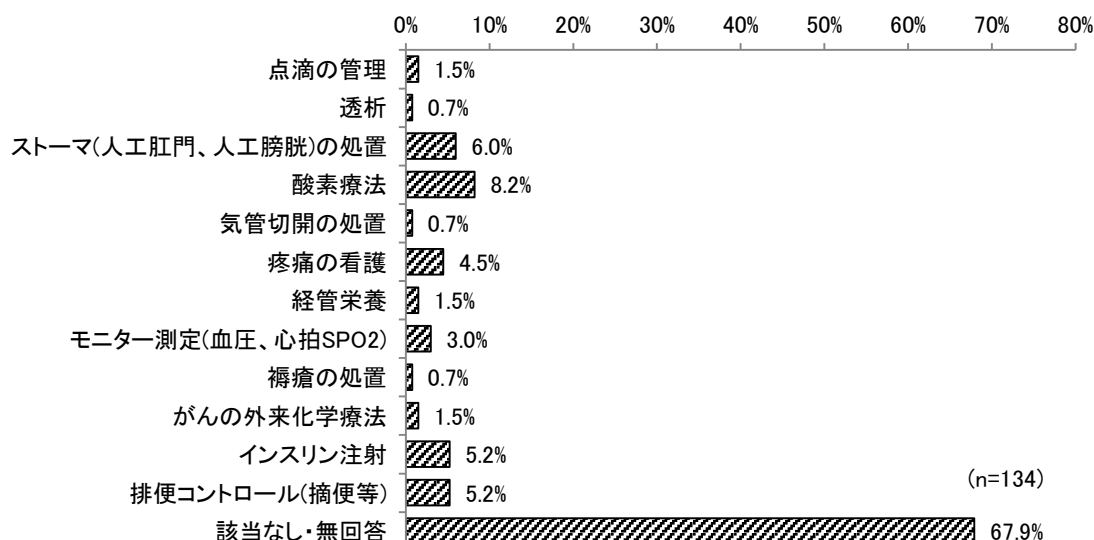
6. ケアプラン作成時点の状態

ケアプラン作成時点に認められた心身の状態は、「廃用症候群の可能性」が 37.3%と最も多く、次いで「ADL の急激な低下(3 ヶ月以内)」が 20.1%、「治療を要する高血圧症」が 17.9%である。ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケアに関しては、「酸素療法」が 8.2%と最も多く、次いで「ストーマ(人工肛門、人工膀胱)の処置」が 6.0%である。介護認定審査会として付する主治医意見書等で指定されているサービスは、「訪問看護」が 50.0%と最も多く、次いで「通所リハビリ」が 31.3%である。

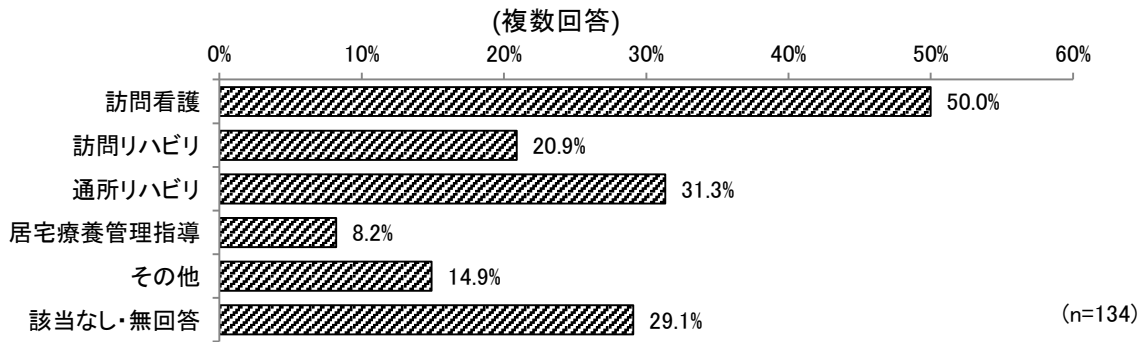
図表68 ケアプラン作成時点に認められた心身の状態(介護予防訪問看護)(複数回答)



図表69 ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケア(介護予防訪問看護)(複数回答)



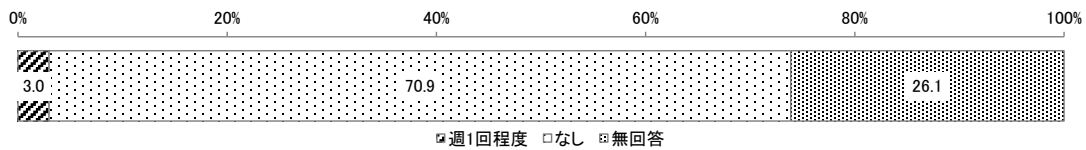
図表70 介護認定審査会として付する主治医意見書等で指定されているサービス(介護予防訪問看護)



7. 医療保険サービス利用実績

平成 28 年 2 月の医療保険サービスの利用実績は、訪問診療は「なし」が 70.9%を占めている。(医療)訪問看護は「なし」が 64.2%と最も多く、次いで「週 3 回まで」が 11.2%である。

図表71 訪問診療の実績(介護予防訪問看護)(単一回答 n=134)



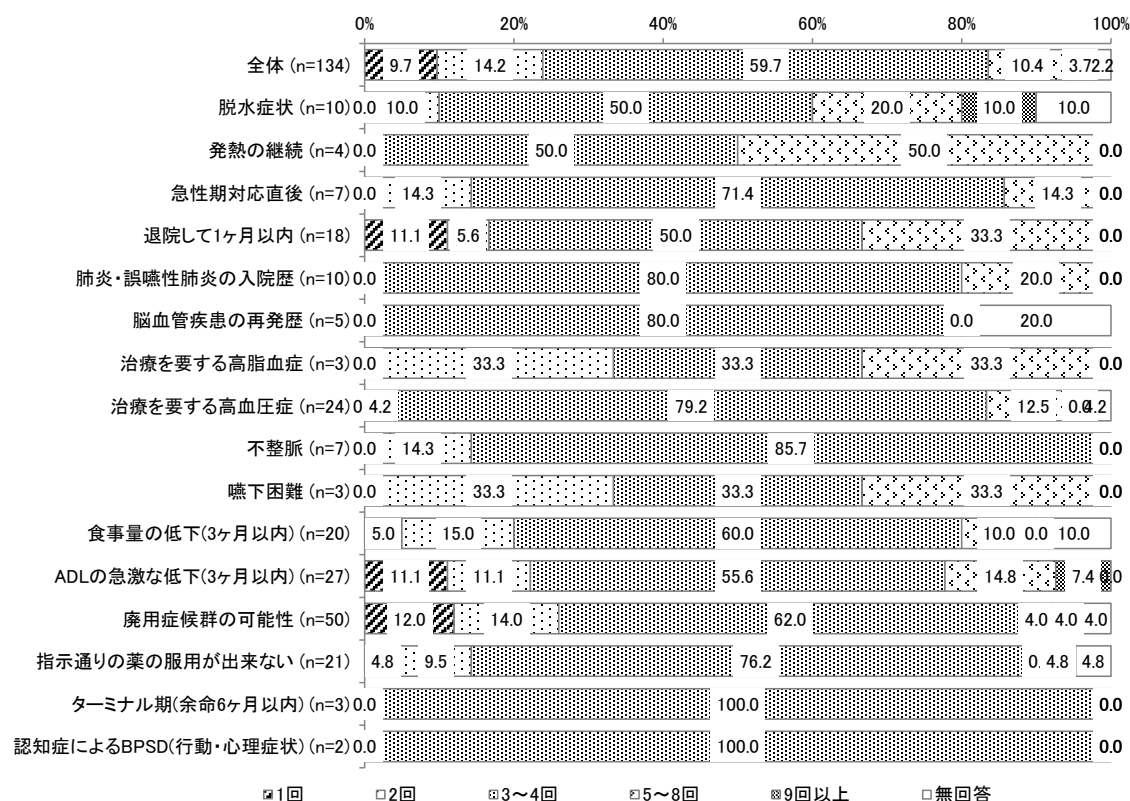
図表72 (医療)訪問看護の実績 (介護予防訪問看護)(単一回答 n=134)



8. ケアプラン作成時点に認められた心身の状態別サービス利用回数

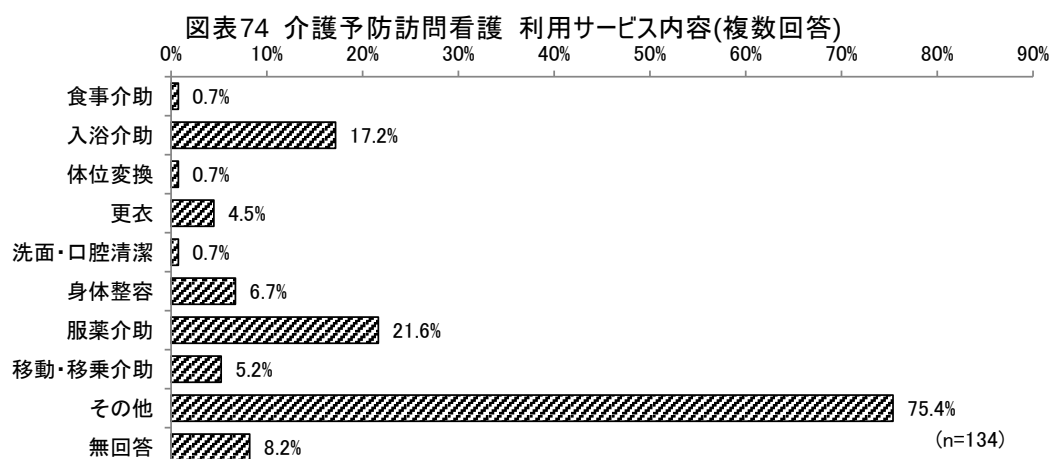
平成 28 年 2 月のサービス利用回数は、「3～4 回」が最も多く、「廃用症候群の可能性」の場合で 62.0%、「ADL の急激な低下(3 ヶ月以内)」の場合で 55.6%、「治療を要する高血圧症」の場合で 79.2%である。

図表 73 ケアプラン作成時点に認められた心身の状態別サービス利用回数(介護予防訪問看護)(複数回答)



9. 主たる原因疾患等別サービス利用内容

平成 28 年 2 月の利用サービス内容について見ると、「その他」が最も多く 75.4%、次いで「服薬介助」が 21.6%となっている。「その他」については詳細調査が櫃ようだが、健康管理や状態管理と考えられる。



次に、平成 28 年 2 月のサービス利用内容に関して、主たる原因疾患等別に見ると、「脳卒中」は 15.8%が「更衣」を利用しており、他の原因疾患等より10 ポイント以上多い。

図表 75 主たる原因疾患等別サービス利用内容(介護予防訪問看護)(複数回答)



10. ケアプラン作成時点に認められた心身の状態別サービス利用内容

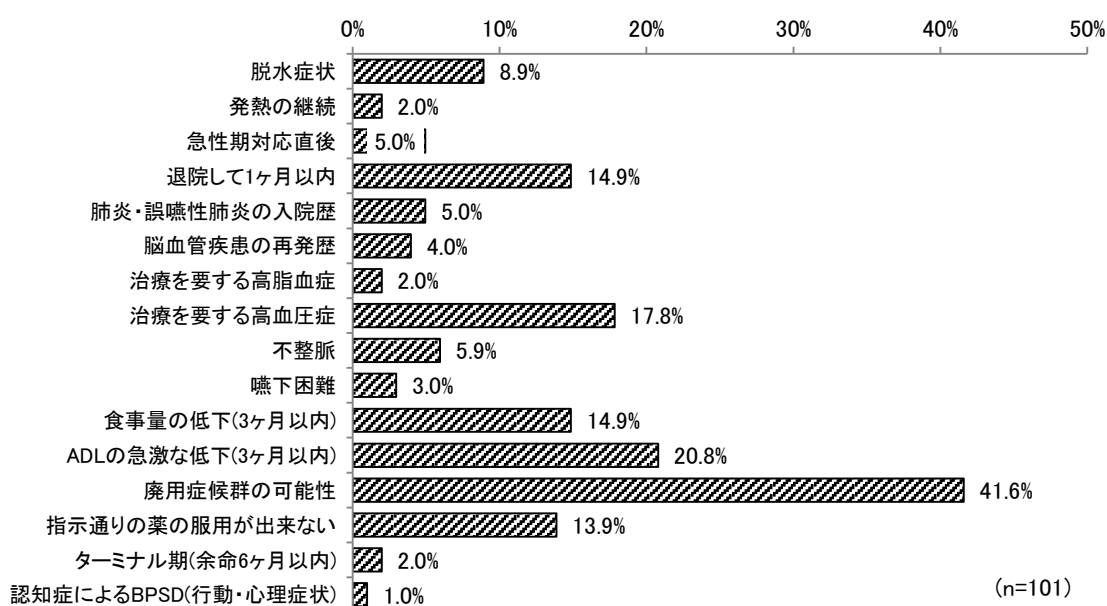
平成 28 年 2 月のサービス利用内容に関して、ケアプラン作成時点に認められた心身の状態別に見ると、「その他」サービスは「廃用症候群の可能性」利用者が 84.0%であるに対し、「指示通りの薬の服薬が出来ない」利用者が 66.7%にとどまる。

図表 76 ケアプラン作成時点に認められた心身の状態別サービス利用内容(介護予防訪問看護)(複数回答)

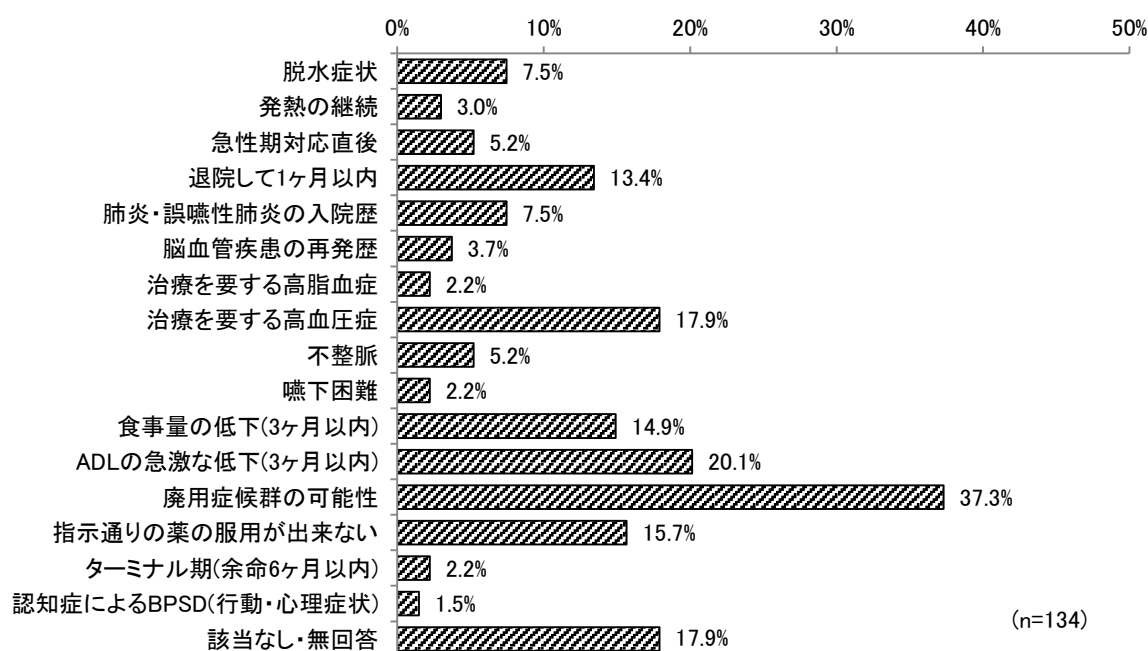


最も回答が多かったサービス内容「その他」の利用者に関して、ケアプラン作成時点に認められた心身の状態を見ると、その他以外のサービス利用者と大きな違いはない。「その他」の具体的内容は詳細調査が必要だが、健康管理や状態観察を実施しているとすれば、特定の心身の状態に応じてサービスが利用されているわけではないと考えられる。

図表77 サービス内容「その他」利用者のケアプラン作成時点に認められた心身の状態
(介護予防訪問看護)(複数回答)



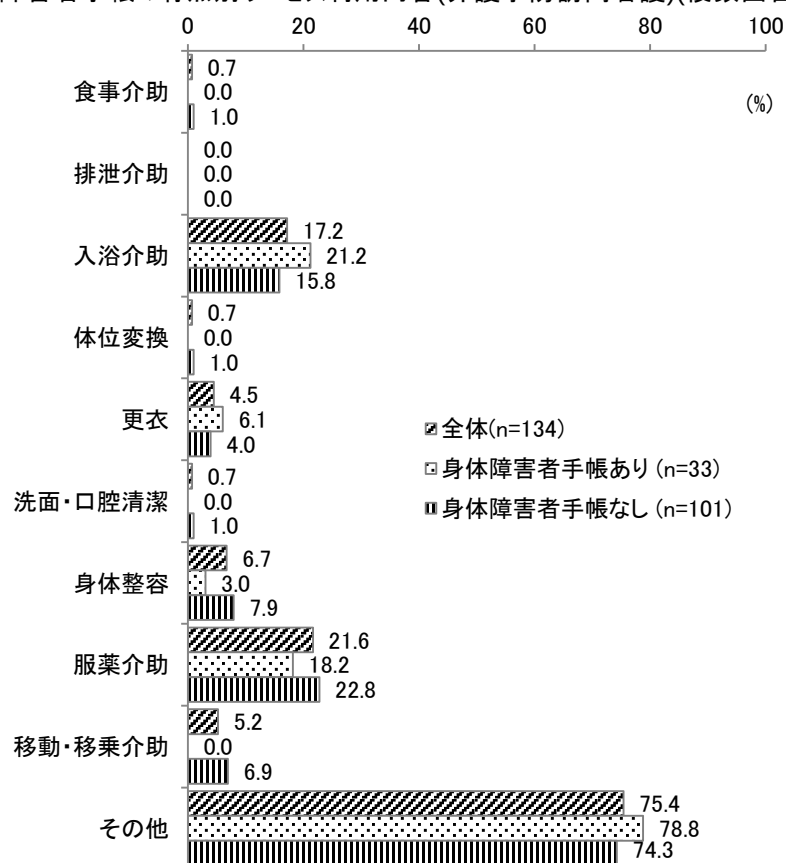
図表78 (再掲)ケアプラン作成時点に認められた心身の状態(介護予防訪問看護)(複数回答)



11. 障害者手帳の有無別利用サービス利用内容

障害者手帳を持つ利用者の「その他」の利用実績は78.8%で、持たない利用者より4.5ポイント高い。「入浴介助」に関しては、障害者手帳を持つ利用者は21.2%で、持たない利用者より約5ポイント高い。「服薬介助」に関しては、障害者手帳を持つ利用者は18.2%で、持たない利用者より4.6ポイント低い。

図表79 障害者手帳の有無別サービス利用内容(介護予防訪問看護)(複数回答)

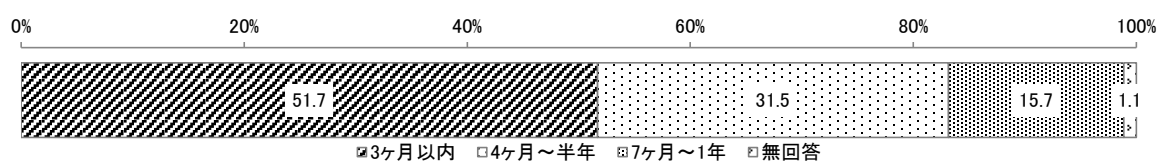


第2節 介護予防訪問リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

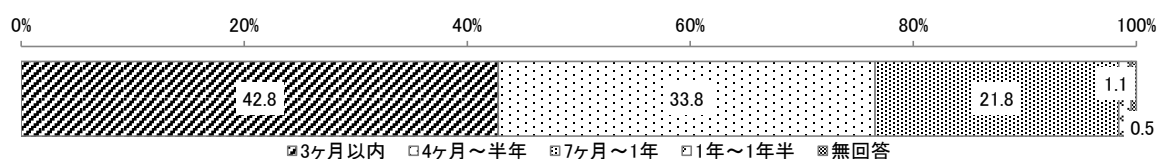
1. 要介護度

現在のケアプラン開始時期は、「3ヶ月以内」が最も多く、介護予防訪問リハビリテーションで51.7%、介護予防通所リハビリテーションで42.8%である。現在の要介護度は、「要支援2」の割合が高く、介護予防訪問リハビリテーションで73.0%、介護予防通所リハビリテーションで62.2%である。前回の要介護度は、「要支援2」が最も多く、介護予防訪問リハビリテーションで52.8%、介護予防通所リハビリテーションで44.4%である。

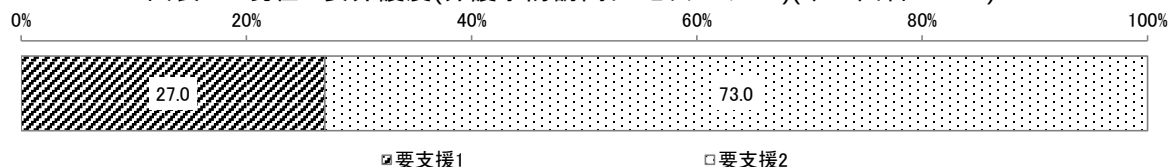
図表80 現在のケアプラン開始時期(介護予防訪問リハビリテーション)(単一回答 n=89)



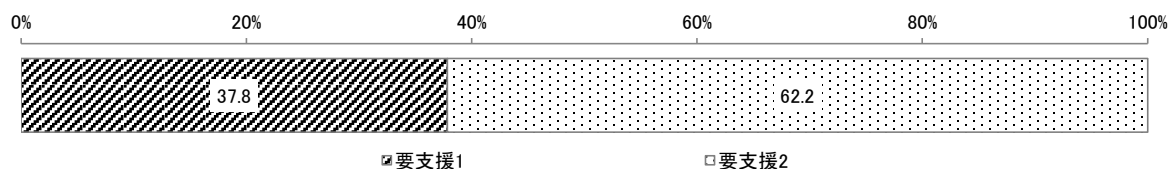
図表81 現在のケアプラン開始時期(介護予防通所リハビリテーション)(単一回答 n=444)



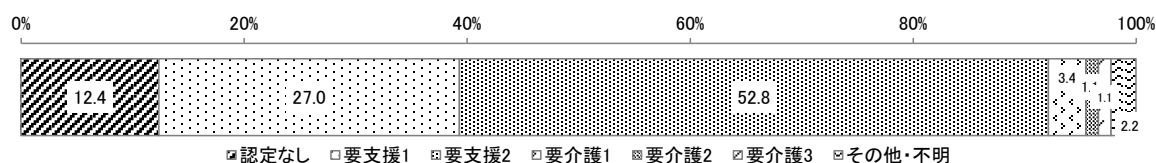
図表82 現在の要介護度(介護予防訪問リハビリテーション)(単一回答 n=89)



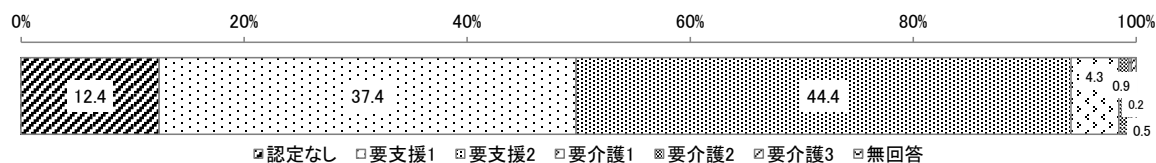
図表83 現在の要介護度(介護予防通所リハビリテーション)(単一回答 n=444)



図表84 前回の要介護度(介護予防訪問リハビリテーション)(単一回答 n=89)



図表85 前回の要介護度(介護予防通所リハビリテーション)(単一回答 n=444)



2. 生活環境

現在の主な居所は、「一般住宅」(戸建住宅、一般のマンション・アパート等、公的賃貸住宅)が90%以上を占めている。同居者の有無に関しては、「同居者あり」が多く、介護予防訪問リハビリテーションで 59.6%、介護予防通所リハビリテーションで 66.7%である。

図表86 現在の主な居所(介護予防訪問リハビリテーション)(単一回答 n=89)



図表87 現在の主な居所(介護予防通所リハビリテーション)(単一回答 n=444)



図表88 同居・独居(介護予防訪問リハビリテーション)(単一回答 n=89)



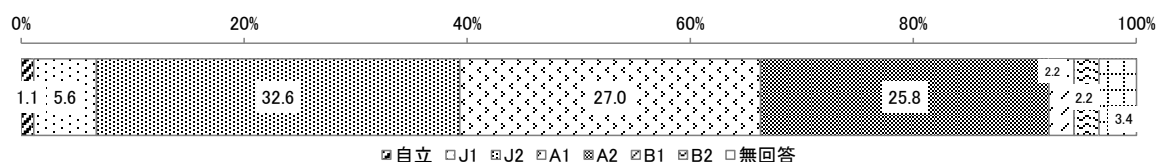
図表89 同居・独居(介護予防通所リハビリテーション)(単一回答 n=444)



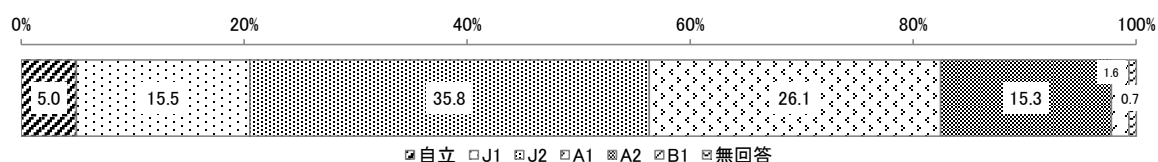
3. 日常生活自立度

日常生活自立度は「J2」が最も多く、介護予防訪問リハビリテーションで 32.6%、介護予防通所リハビリテーションで 35.8%である。「J1」は、介護予防通所リハビリテーションで 15.5%であり、介護予防訪問リハビリテーションの 5.6%より10ポイント近く上回る。一方で「A2」に関しては、介護予防訪問リハビリテーションで 25.8%であり、介護予防通所リハビリテーションの 15.3%より10ポイント近く上回る。

図表90 障害高齢者の日常生活自立度(介護予防訪問リハビリテーション)(単一回答 n=89)



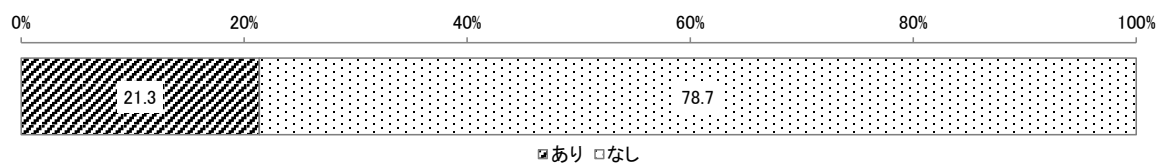
図表91 障害高齢者の日常生活自立度(介護予防通所リハビリテーション)(単一回答 n=444)



4. 障害者手帳の所持・障害者総合支援法サービスの併用

障害者手帳を持つ割合は介護予防訪問リハビリテーションが 21.3%であり、介護予防通所リハビリテーションの 13.5%より 7.8 ポイント上回る。障害者総合支援法サービスの併用の割合は 2%程度である。

図表92 障害者手帳の所持(介護予防訪問リハビリテーション)(単一回答 n=89)



図表93 障害者手帳の所持(介護予防通所リハビリテーション)(単一回答 n=444)



図表94 障害者総合支援法サービスの併用(介護予防訪問リハビリテーション)(単一回答 n=89)



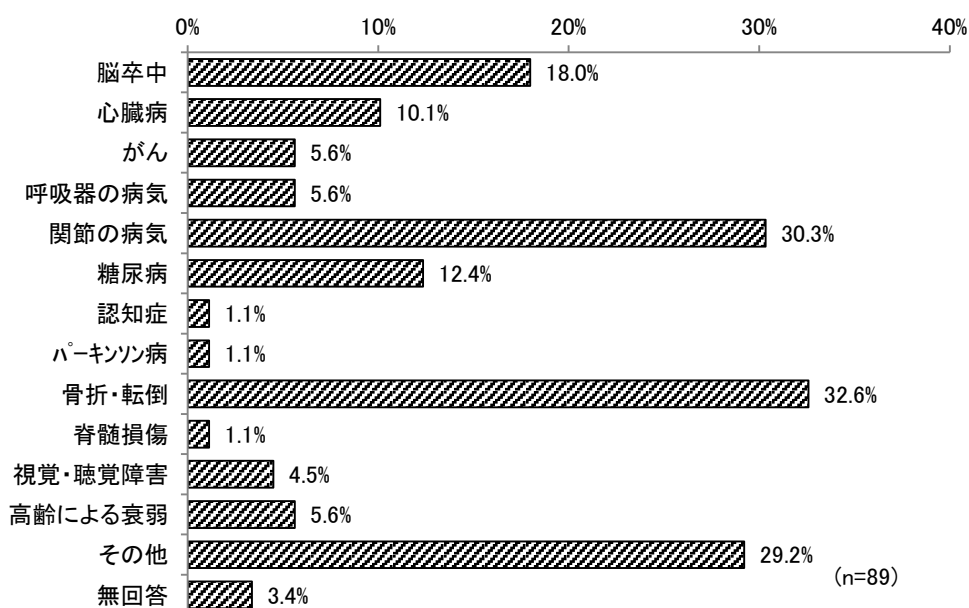
図表95 障害者総合支援法サービスの併用(介護予防通所リハビリテーション)(単一回答 n=444)



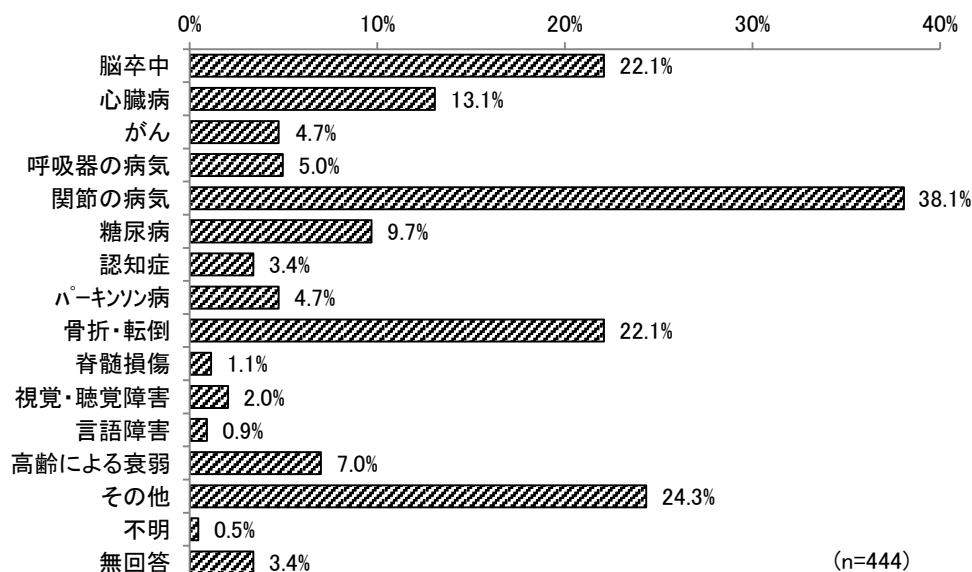
5. 疾患・服薬

「骨折・転倒」に関して、介護予防訪問リハビリテーションは 32.6%であり、介護通所リハビリテーションの 22.1%より 10.5 ポイント上回る。「関節の病気」は介護予防リハビリテーションが 30.3%であり、介護予防通所リハビリテーションの 38.1%より 7.8 ポイント下回る。配慮が必要な服薬等に関しては、「その他」が最も多く、介護予防訪問リハビリテーションで 68.5%、介護予防通所リハビリテーションで 63.1%である。

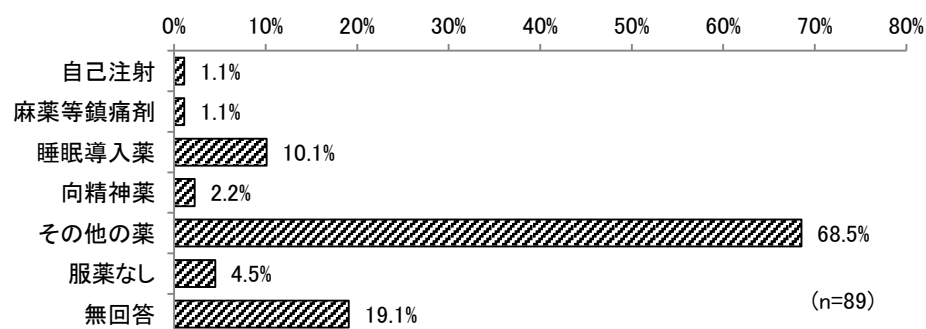
図表96 主たる原因疾患等(介護予防訪問リハビリテーション)(複数回答)



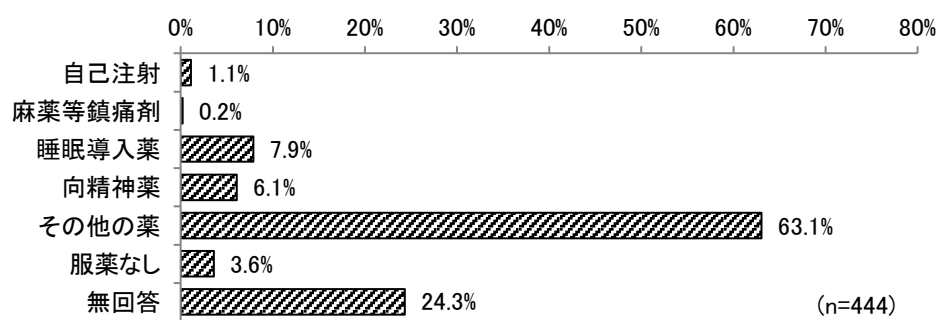
図表97 主たる原因疾患等(介護予防通所リハビリテーション)(複数回答)



図表98 配慮が必要な服薬等(介護予防訪問リハビリテーション)(複数回答)



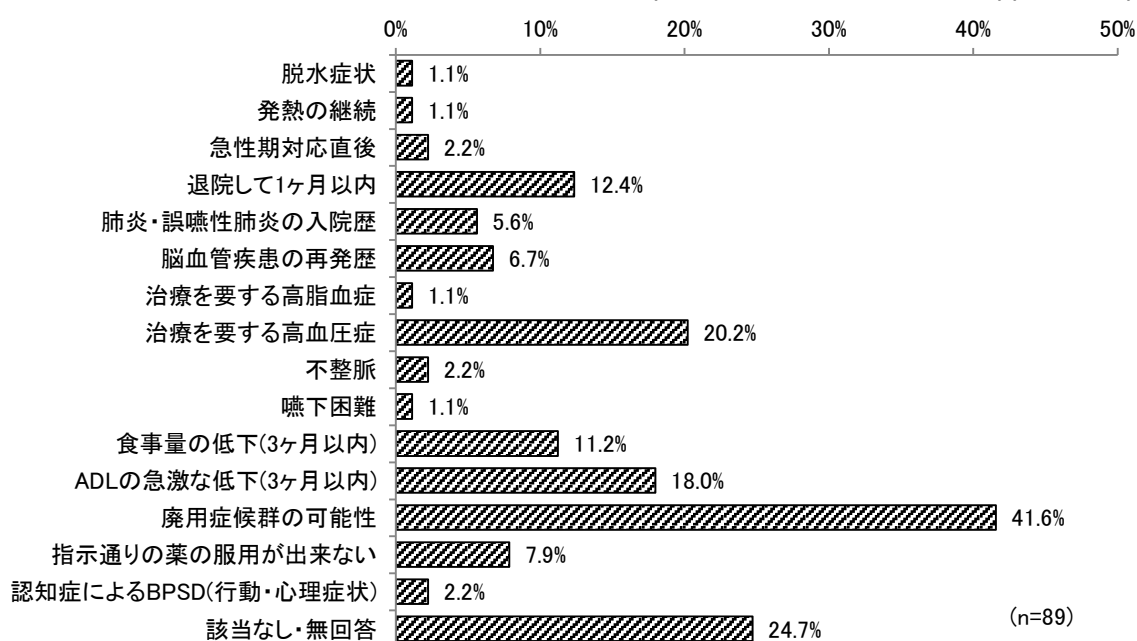
図表99 配慮が必要な服薬等(介護予防通所リハビリテーション)(複数回答)



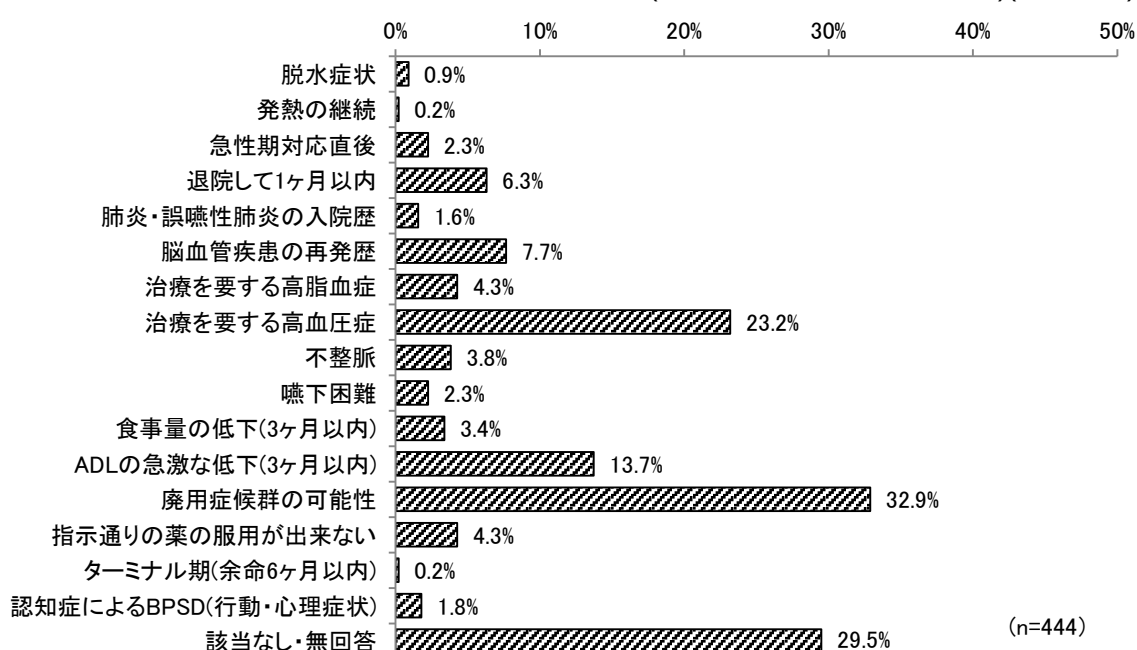
6. ケアプラン作成時点の状態

ケアプラン作成時点に認められた心身の状態は、「廃用症候群の可能性」が最も多く、介護予防訪問リハビリテーションで 41.6%、介護予防通所リハビリテーションで 32.9%である。「治療を要する高血圧症」に関しては、介護予防訪問リハビリテーションで 20.2%、介護予防通所リハビリテーションで 23.2%である。

図表100 ケアプラン作成時点に認められた心身の状態(介護予防訪問リハビリテーション)(複数回答)

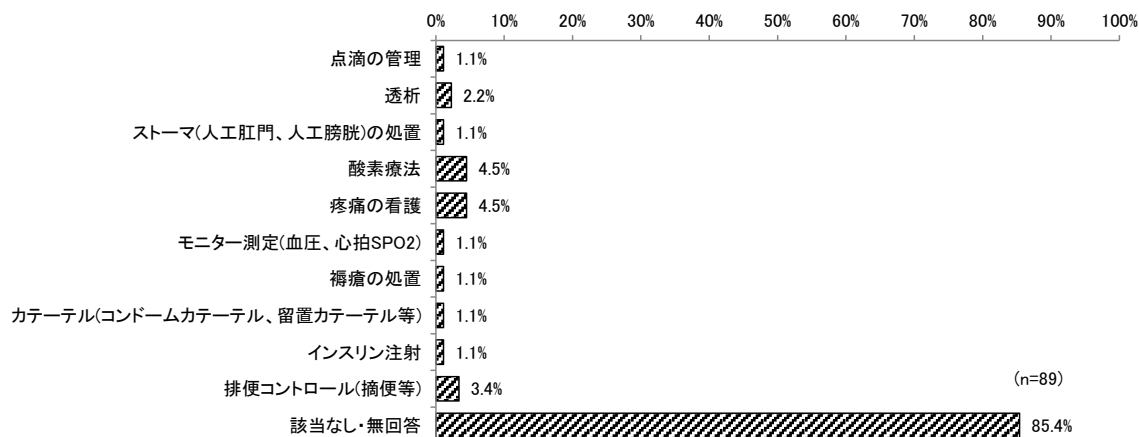


図表101 ケアプラン作成時点に認められた心身の状態(介護予防通所リハビリテーション)(複数回答)

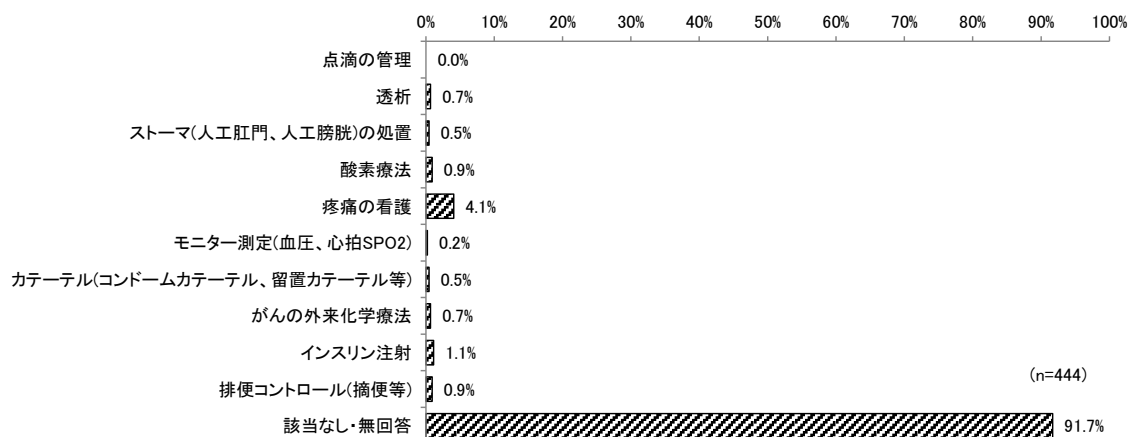


ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケアについては、「該当なし・無回答」が最も多く、介護予防訪問リハビリテーションで 85.4%、介護予防通所リハビリテーションで 91.7%である。

図表102 ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケア(介護予防訪問リハビリテーション)(複数回答)

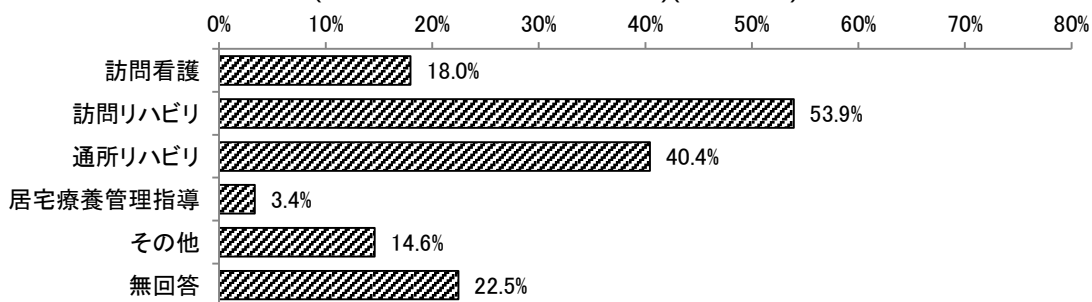


図表103 ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケア(介護予防通所リハビリテーション)(複数回答)

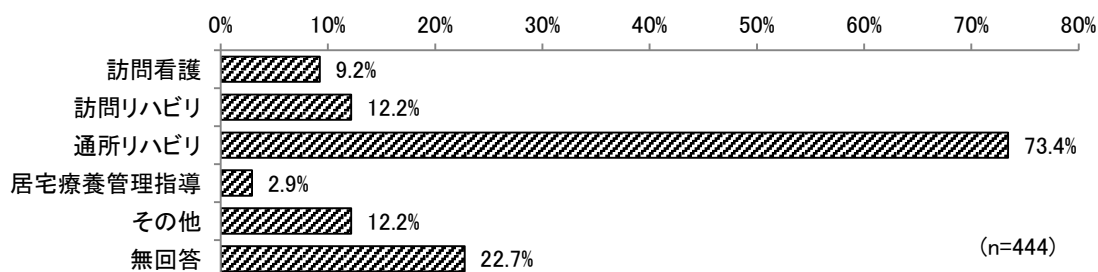


介護認定審査会として付する主治医意見書等で指定されているサービスは、介護予防訪問リハビリテーションでは「訪問リハビリ」が 53.9%と最も多く、次いで「通所リハビリ」が 40.4%である。介護予防通所リハビリテーションでは、「通所リハビリ」が 73.4%と最も多く、次いで「訪問リハビリ」、「その他」が 12.2%である。

図表104 介護認定審査会として付する主治医意見書等で指定されているサービス
(介護予防訪問リハビリテーション)(複数回答)



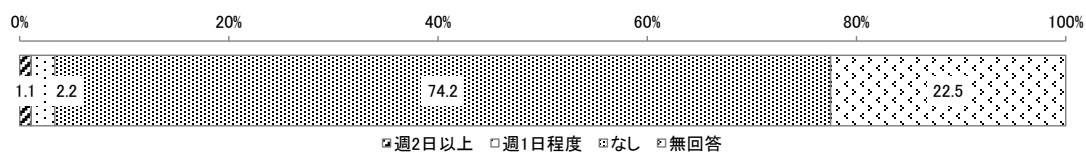
図表105 介護認定審査会として付する主治医意見書等で指定されているサービス
(介護予防通所リハビリテーション)(複数回答)



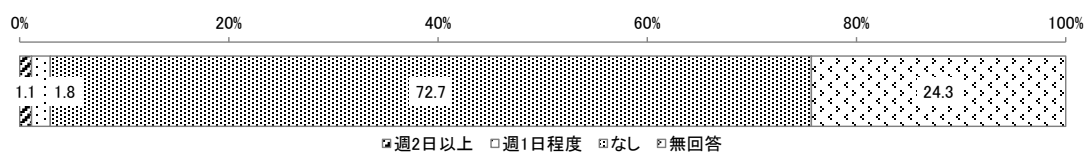
7. 医療保険サービス利用実績

平成 28 年 2 月の外来リハ実績は「なし」が最も多く、介護予防訪問リハビリテーションで 74.2%、介護予防通所リハビリテーションで 72.7%である。

図表106 外来リハ実績(介護予防訪問リハビリテーション)(単一回答 n=89)



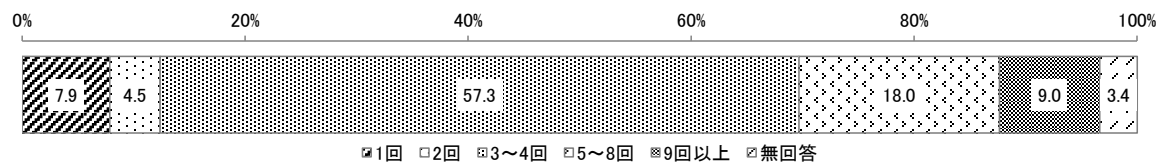
図表107 外来リハ実績(介護予防通所リハビリテーション)(単一回答 n=444)



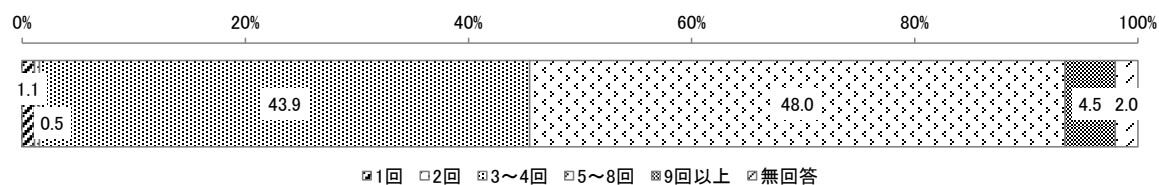
8. サービス利用回数

平成 28 年 2 月の実績を見ると、介護予防訪問リハビリテーションに関しては、「3～4 回」が 57.3%と最も多く、次いで「5～8 回」が 18.0%である。介護予防通所リハビリテーションに関しては、「5～8 回」が 48.0%と最も多く、次いで「3～4 回」が 43.9%である。

図表108 サービス利用回数(介護予防訪問リハビリテーション)(単一回答 n=89)



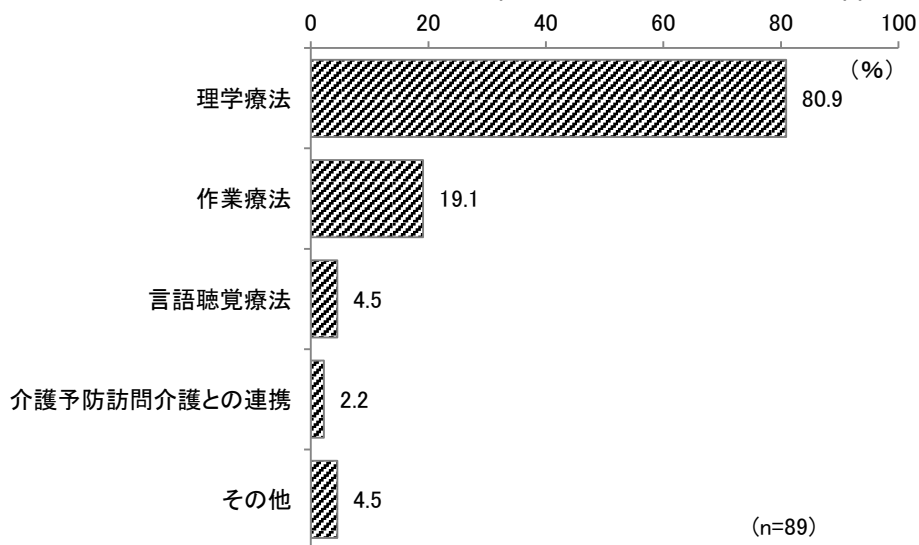
図表109 サービス利用回数(介護予防通所リハビリテーション)(単一回答 n=444)



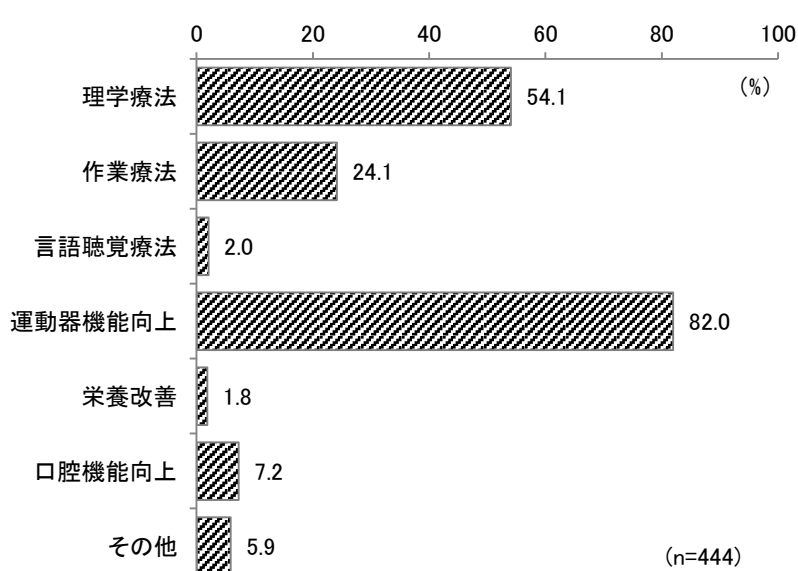
9. サービス利用内容

平成 28 年 2 月の実績を見ると、介護予防訪問リハビリテーションに関しては、「理学療法」が 80.9%と最も多く、次いで「作業療法」が 19.1%である。介護予防通所リハビリテーションに関しては、「運動器機能向上」が 82.0%と最も多く、次いで「理学療法」が 54.1%である。

図表110 サービス利用内容(介護予防訪問リハビリテーション)(複数回答)



図表111 サービス利用内容(介護予防通所リハビリテーション)(複数回答)



第3節 介護予防短期入所生活介護

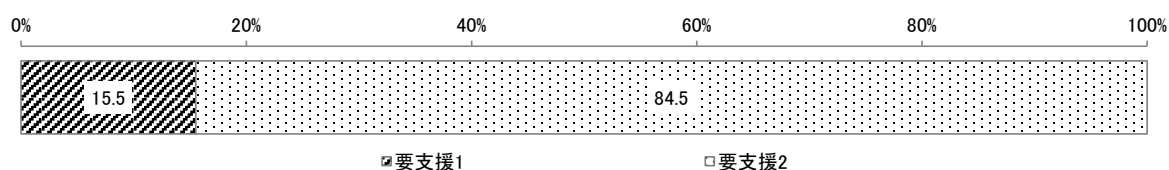
1. 要介護度

現在のケアプラン開始時期は、「3ヶ月以内」が46.6%と最も多く、次いで「4ヶ月～半年」が29.3%である。現在の要介護度は、「要支援2」が84.5%を占めている。前回の要介護度は、「要支援2」が67.2%と最も多く、次いで「要支援1」が15.5%、「認定なし」が10.3%、「要介護1」が6.9%である。

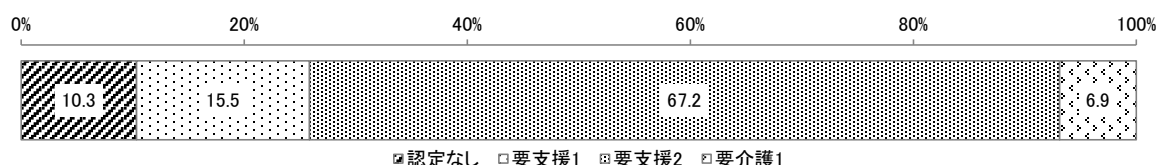
図表112 現在のケアプラン開始時期(介護予防短期入所生活介護)(単一回答 n=58)



図表113 現在の要介護度(介護予防短期入所生活介護)(単一回答 n=58)



図表114 前回の要介護度(介護予防短期入所生活介護)(単一回答 n=58)



2. 生活環境

現在の主な居所は、「一般住宅」(戸建住宅、一般のマンション・アパート等、公的賃貸住宅)が96.6%を占めている。同居者の有無に関しては、「同居者あり」が77.6%である。同居者の内訳は、「介護可能な同居者がいる」が62.1%、「同居者はいるが介護不能」が17.2%である。同居者の生活・健康上の課題の有無に関しては、「問題なし」が48.3%と最も多く、次いで「認定はないが生活・健康上の課題がある」が19.0%である。

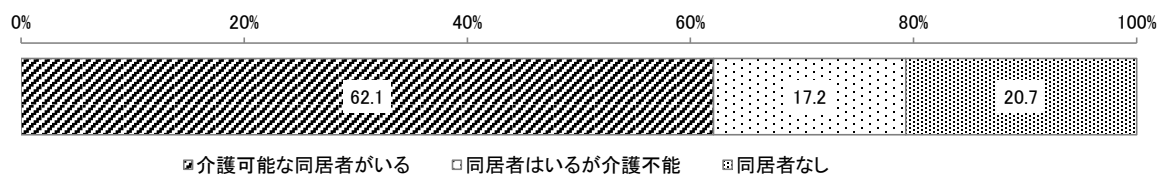
図表115 現在の主な居所(介護予防短期入所生活介護)(単一回答 n=58)



図表116 同居・独居(介護予防短期入所生活介護)(単一回答 n=58)



図表117 家族介護者の有無(介護予防短期入所生活介護)(単一回答 n=58)



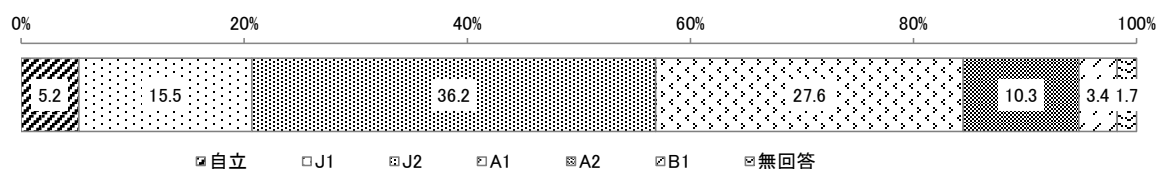
図表118 同居者(介護者)の生活・健康上の課題の有無(介護予防短期入所生活介護)
(単一回答 n=58)



3. 日常生活自立度

日常生活自立度は、「J2」が 36.2%と最も多く、次いで「A1」が 27.6%、「J1」が 15.5%である。

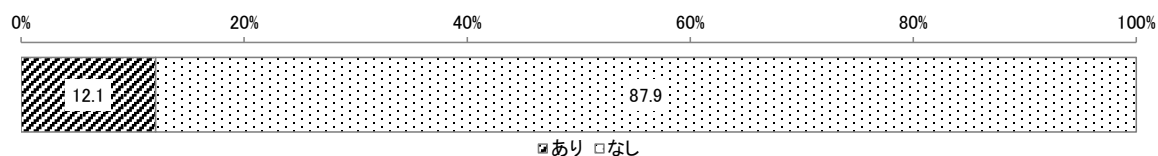
図表119 障害高齢者の日常生活自立度(介護予防短期入所生活介護)(単一回答 n=58)



4. 障害者手帳の所持・障害者総合支援法サービスの併用

障害者手帳を持つ割合は12.1%である。障害者総合支援法サービスの併用の割合は1.7%である。

図表120 障害者手帳の所持(介護予防短期入所生活介護)(単一回答 n=58)



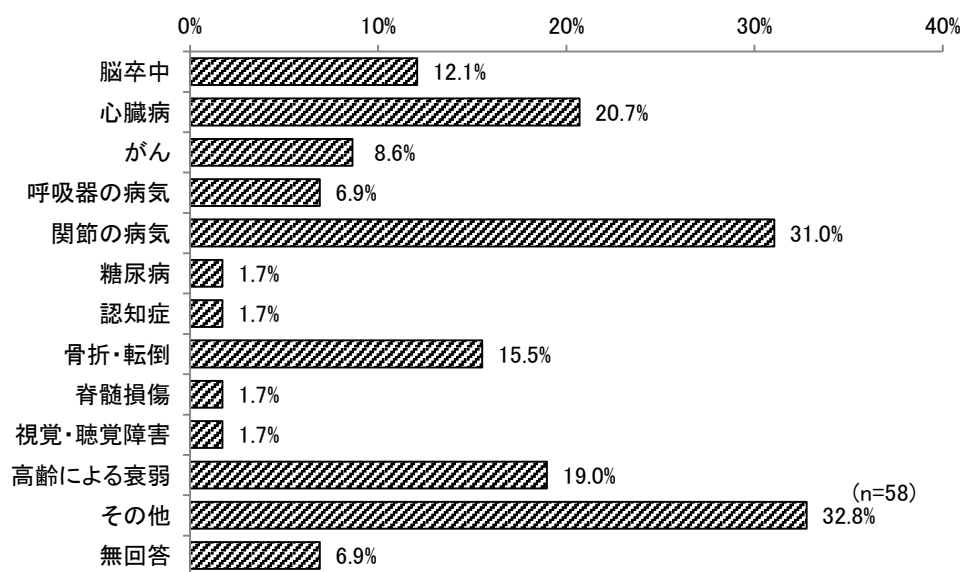
図表121 障害者総合支援法サービスの併用(介護予防短期入所生活介護)(単一回答 n=58)



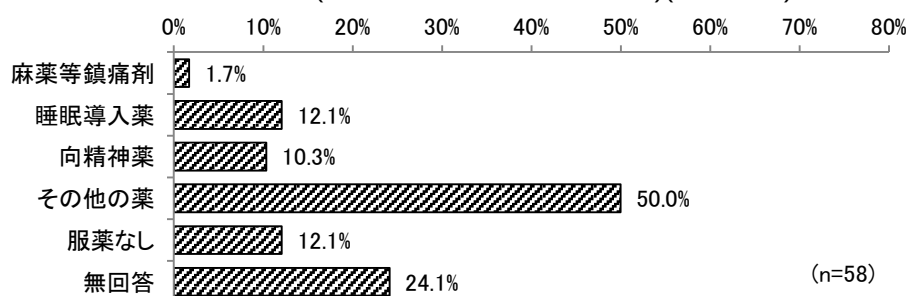
5. 疾患・服薬

主たる原因疾患等は「その他」が32.8%と最も多く、次いで「関節の病気」が31.0%、「心臓病」が20.7%である。配慮が必要な服薬等に関しては、「その他の薬」が50.0%である。

図表122 主たる原因疾患等(介護予防短期入所生活介護)(複数回答)



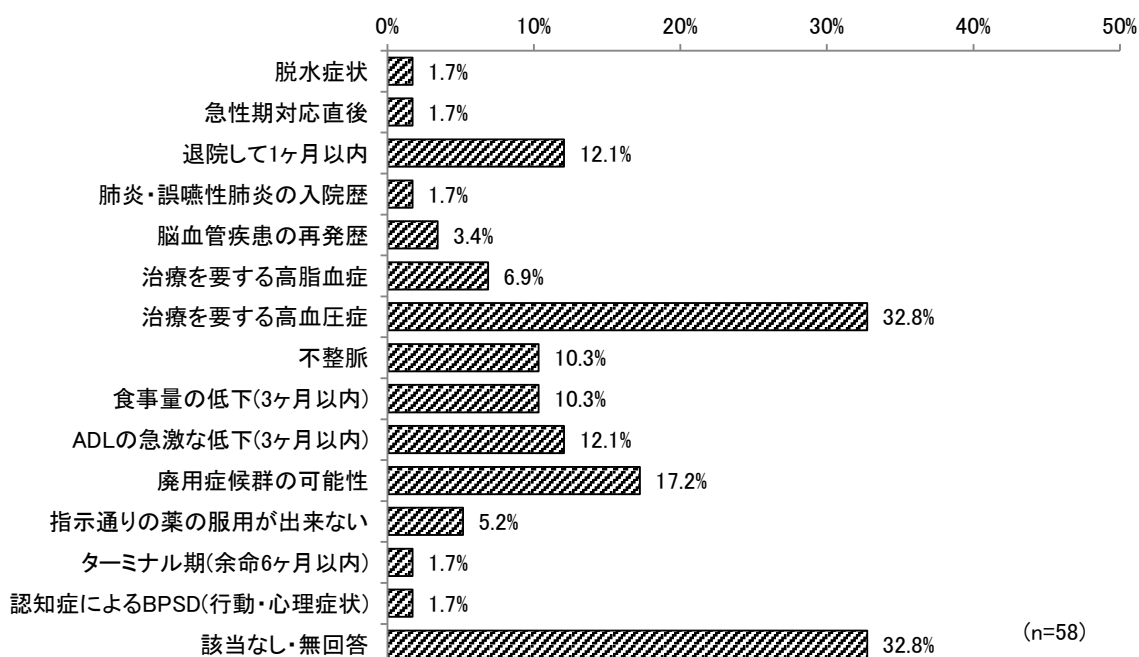
図表123 配慮が必要な服薬等(介護予防短期入所生活介護)(複数回答)



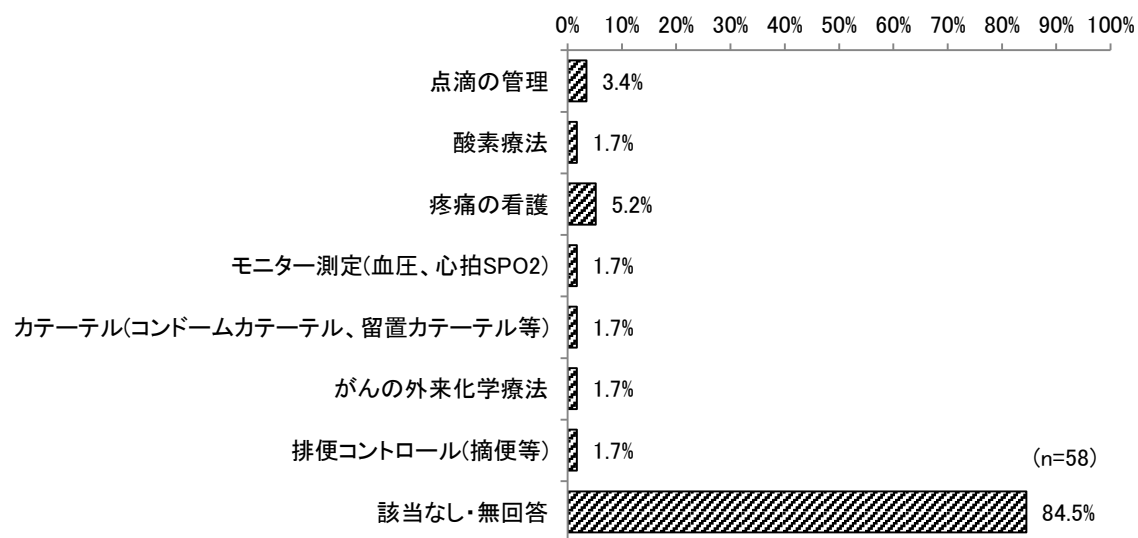
6. ケアプラン作成時点の状態

ケアプラン作成時点に認められた心身の状態は、「治療を要する高血圧症」が 32.8%と最も多く、次いで「廃用症候群の可能性」が 17.2%、「退院して1ヶ月以内」が 12.1%である。ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケアに関しては、「疼痛の看護」が 5.2%、「点滴の管理」が 3.4%である。

図表124 ケアプラン作成時点に認められた心身の状態(介護予防短期入所生活介護)(複数回答)



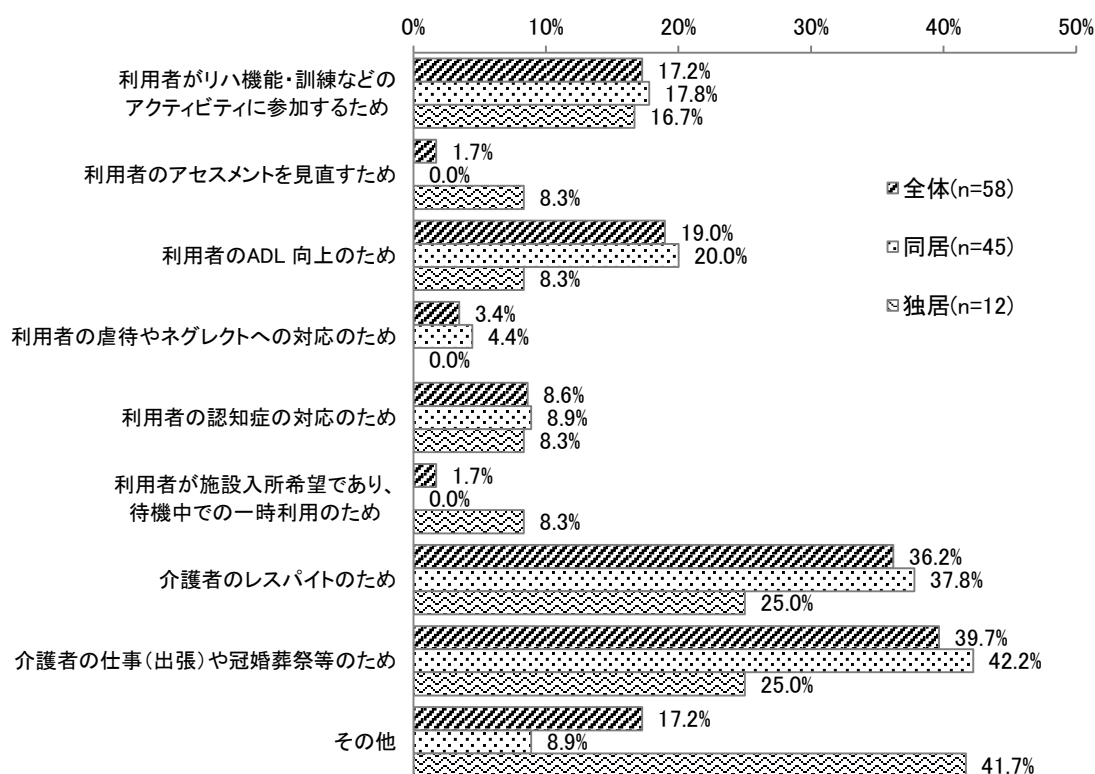
図表125 ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケア(介護予防短期入所生活介護)(複数回答)



7. 同居者の有無別サービス利用目的

平成 28 年 2 月のサービス利用目的を同居者の有無別に見ると、同居は「介護者の仕事(出張)や冠婚葬祭等のため」が 42.2%と最も多く、次いで「介護者のレスパイトのため」が 37.8%、「利用者の ADL 向上のため」が 20.0%である。独居は「その他」が 41.7%と最も多く、次いで「介護者のレスパイトのため」、「介護者の仕事(出張)や冠婚葬祭等のため」が 25.0%である。

図表126 同居者の有無別サービス利用目的(介護予防短期入所生活介護)(複数回答)



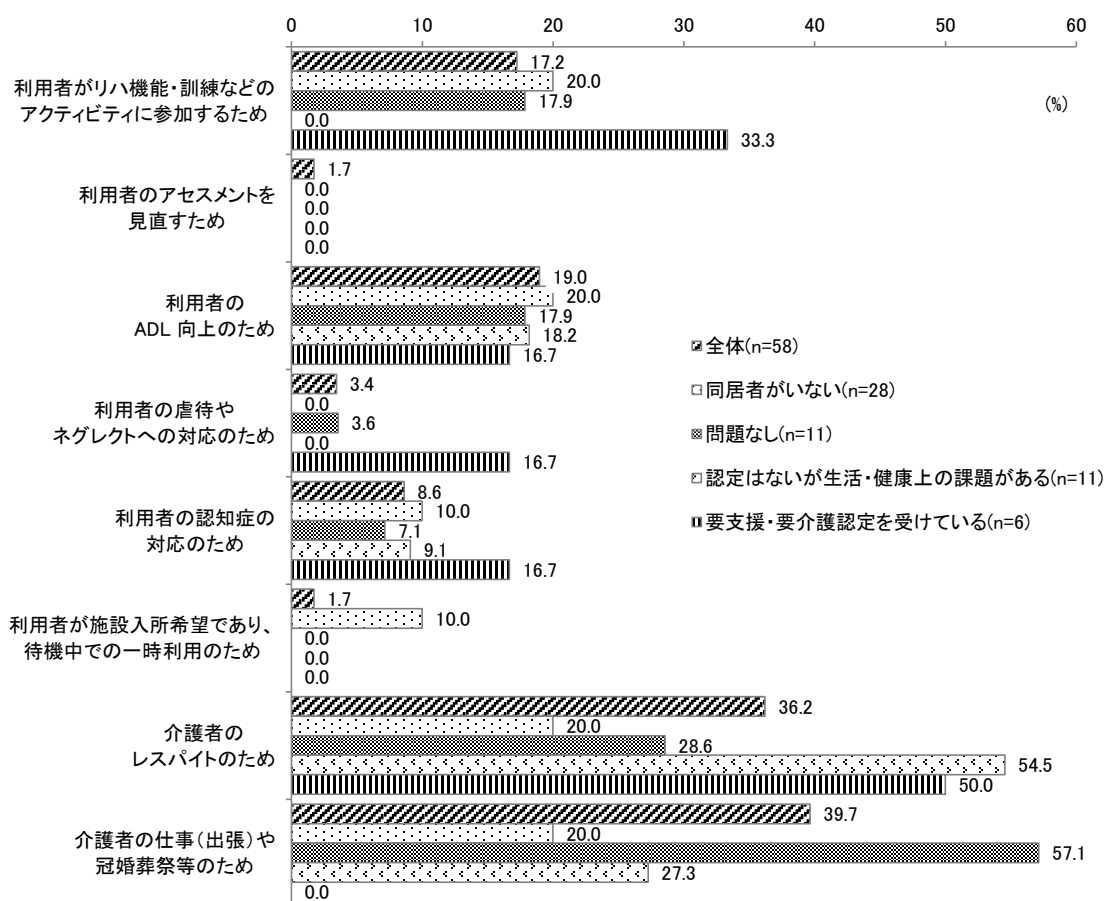
8. 同居者(介護者)の生活・健康上の課題の有無別サービス利用目的

平成 28 年 2 月のサービス利用目的を同居者(介護者)の生活・健康上の課題の有無別に見ると、「利用者がリハ機能・訓練などのアクティビティに参加するため」に関しては、同居者(介護者)が「要支援・要介護認定を受けている」が 33.3%である。

「介護者のレスパイトのため」に関しては、同居者(介護者)が「認定はないが生活・健康上の課題がある」が 54.5%、「要支援・要介護認定を受けている」が 50.0%である。

「介護者の仕事(出張)や冠婚葬祭等のため」に関しては、同居者(介護者)が「問題なし」が 57.1%である。

図表127 同居者(介護者)の生活・健康上の課題の有無別利用目的(介護予防短期入所生活介護)
(複数回答)

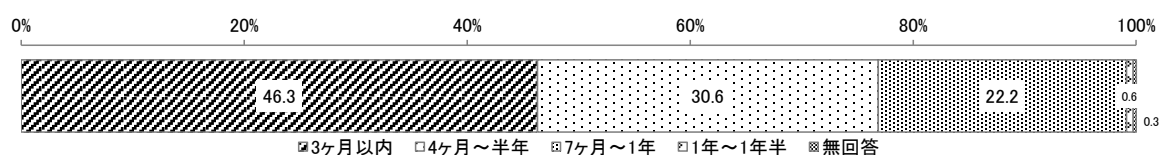


第4節 介護予防福祉用具貸与

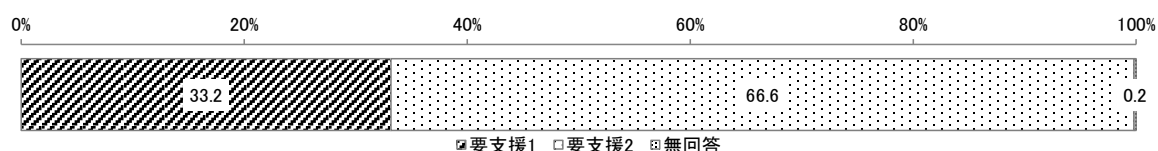
1. 要介護度

現在のケアプラン開始時期は、「3 ヶ月以内」が 46.3%と最も多く、次いで「4 ヶ月～半年」が 30.6%である。現在の要介護度は、「要支援 2」が 66.6%を占めている。前回の要介護度は、「要支援 2」が 49.0%と最も多く、次いで「要支援 1」が 32.8%、「認定なし」が 12.2%、「要介護 1」が 3.7%である。

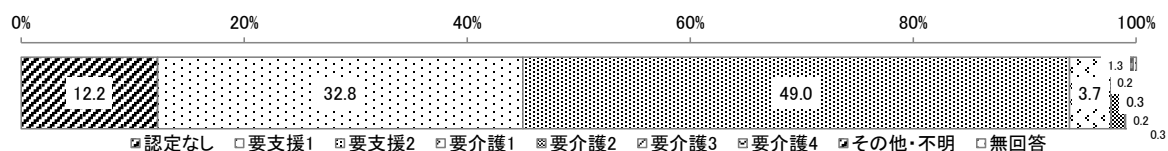
図表128 現在のケアプラン開始時期(介護予防福祉用具貸与)(単一回答 n=998)



図表129 現在の要介護度(介護予防福祉用具貸与)(単一回答 n=998)



図表130 前回の要介護度(介護予防福祉用具貸与)(単一回答 n=998)



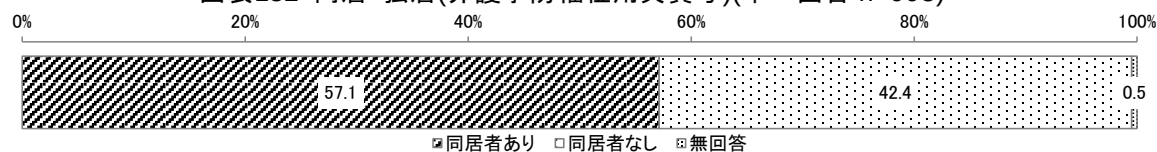
2. 生活環境

現在の主な居所は、一般住宅(戸建住宅、一般のマンション・アパート等、公的賃貸住宅)の人が93.1%を占めている。同居者は「同居者あり」が57.1%、「同居者なし」が42.4%である。所得階層は、「第2段階」、「第3段階」、「第4段階」がそれぞれ18%程度である。

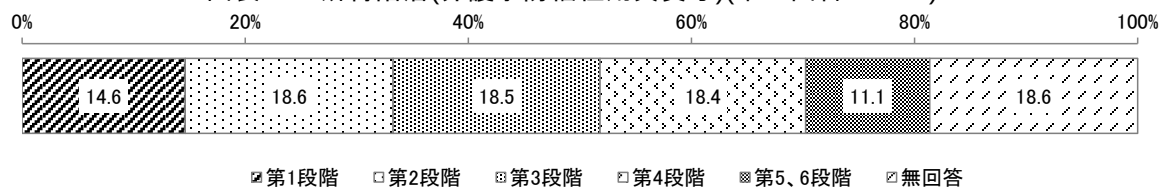
図表131 現在の主な居所(介護予防福祉用具貸与)(単一回答 n=998)



図表132 同居・独居(介護予防福祉用具貸与)(単一回答 n=998)



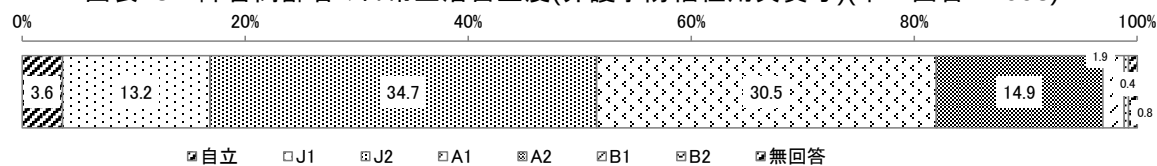
図表133 所得階層(介護予防福祉用具貸与)(単一回答 n=998)



3. 日常生活自立度

日常生活自立度は、「J2」が 34.7%と最も多く、次いで「A1」が 30.5%である。

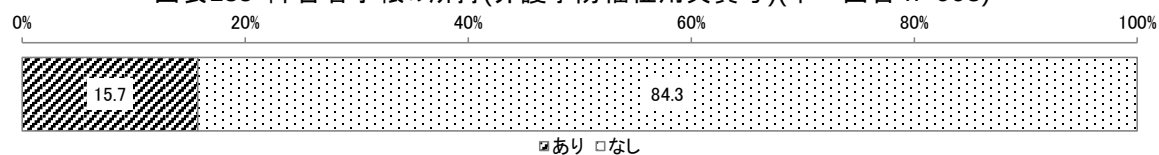
図表134 障害高齢者の日常生活自立度(介護予防福祉用具貸与)(単一回答 n=998)



4. 障害者手帳の保持・障害者総合支援法サービスの併用

障害者手帳を持つ割合は 15.7%である。障害者総合支援法サービスを併用の割合は 1.5%である。

図表135 障害者手帳の所持(介護予防福祉用具貸与)(単一回答 n=998)



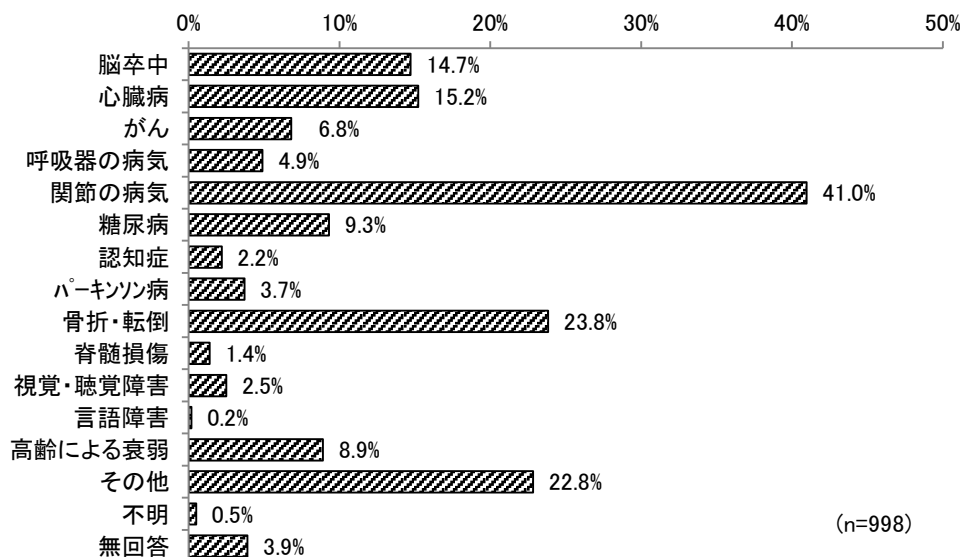
図表136 障害者総合支援法サービスの併用(介護予防福祉用具貸与)(単一回答 n=998)



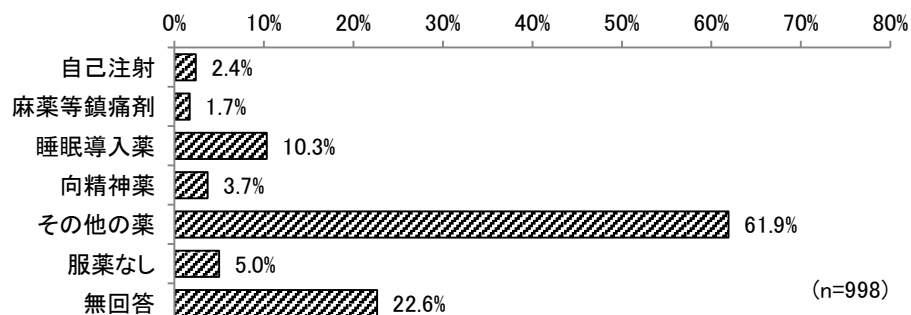
5. 疾患・服薬

主たる原因疾患は、「関節の病気」が 41.0%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が 23.8%である。
配慮が必要な服薬等に関しては、「その他の薬」が 61.9%である。

図表137 主たる原因疾患等(介護予防福祉用具貸与)(複数回答)



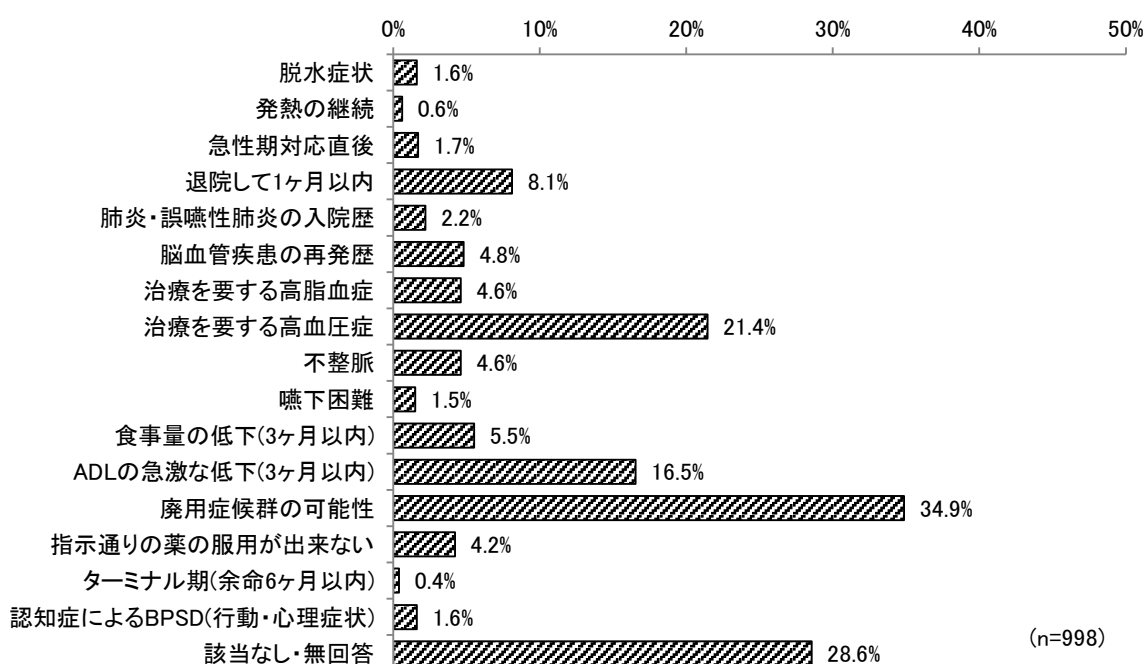
図表138 配慮が必要な服薬等(介護予防福祉用具貸与)(複数回答)



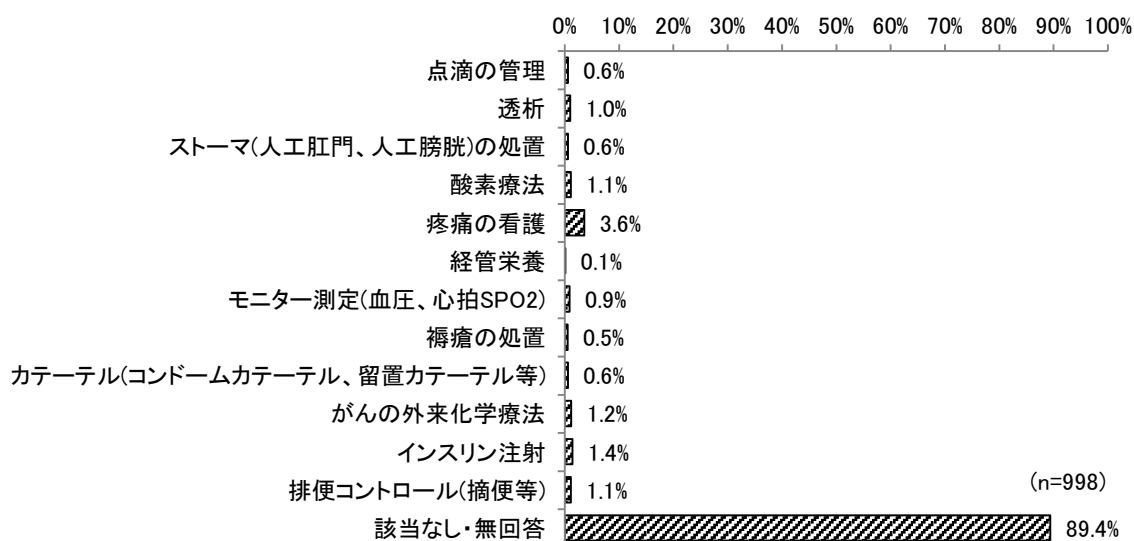
6. ケアプラン作成時点の状態

ケアプラン作成時点に認められた心身の状態は、「廃用症候群の可能性」が 34.9%と最も多く、次いで「治療を要する高血圧症」が21.4%、「ADLの急激な低下(3ヶ月以内)」が16.5%である。ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケアに関しては、「疼痛の看護」が3.6%である。

図表139 ケアプラン作成時点に認められた心身の状態(介護予防福祉用具貸与)(複数回答)



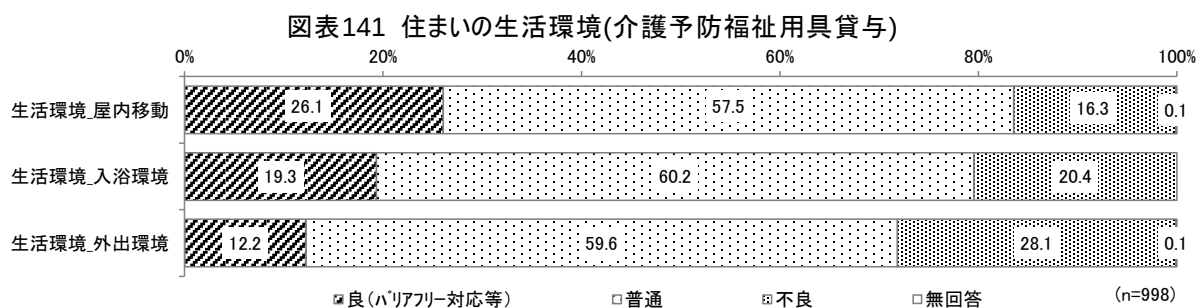
図表140 ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケア(介護予防福祉用具貸与)(複数回答)



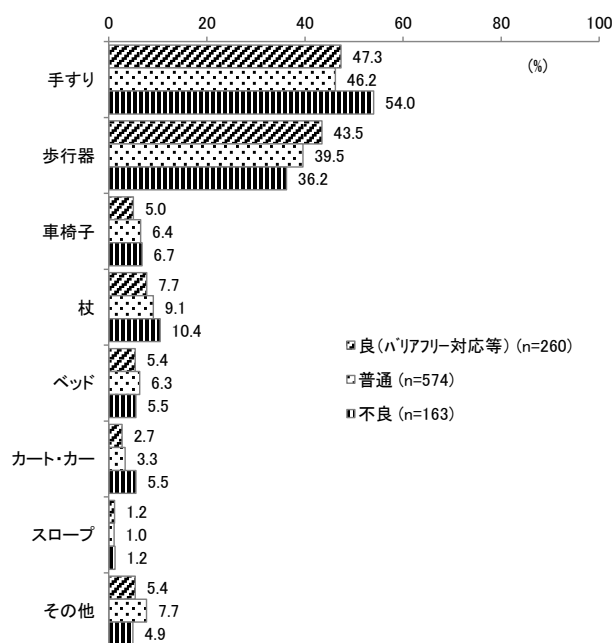
7. 住まいの生活環境

住まいの生活環境としては、屋内移動が「不良」の人は16.3%、入浴環境が「不良」の人は20.4%、外出環境が「不良」の人は28.1%であった。

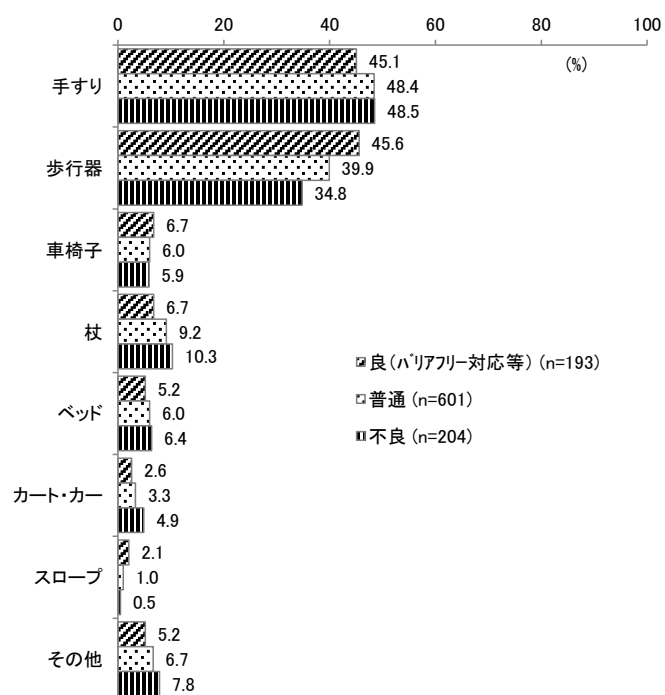
住まいの生活環境(屋内移動)が「不良」な人は、「良」「普通」の人に比べて、介護予防福祉用具貸与で手すりを利用している割合が高い。住まいの生活環境(外出環境)が「不良」な人は、「良」「普通」の人に比べて、介護予防福祉用具貸与で杖を利用している割合が高い。また全体的な傾向として、歩行器を利用している人の割合は、生活環境が「良」の人ほど多く、「不良」の人では少ない傾向が見られた。



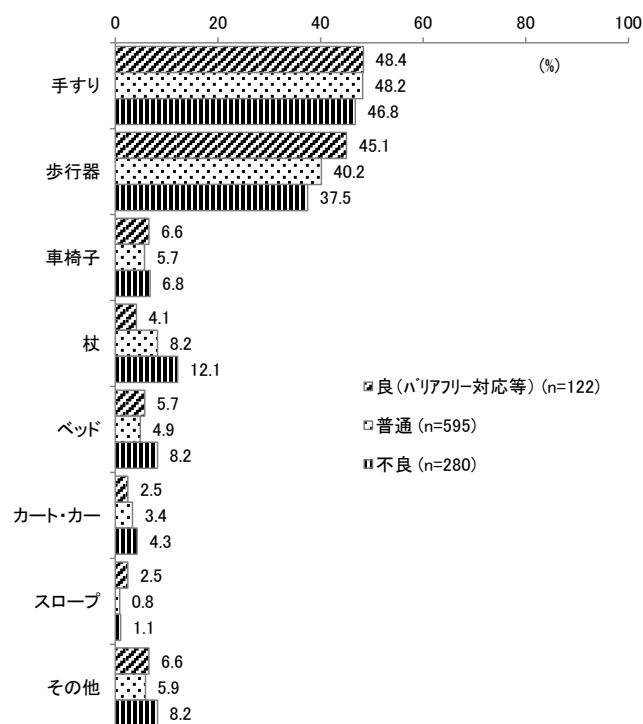
図表142 住まいの生活環境・屋内移動(介護予防福祉用具貸与)(複数回答)



図表143 住まいの生活環境・入浴環境(介護予防福祉用具貸与)(単一回答 n=998)



図表144 住まいの生活環境・外出環境(介護予防福祉用具貸与)(単一回答 n=998)



第4章 総括

1. 介護予防サービスの利用実態のまとめ

(1) 全体について

① 基本属性・生活環境

- ・ 80代が半数を占める。
- ・ 居所は「戸建て住宅、一般のマンション・アパート等」が9割近くを占める。
- ・ 「同居者あり」が53.1%、「同居者なし」が46.3%である。
- ・ 同居の介護者は「同居の配偶者」、「同居の子の配偶者」が約3割ずつである。
- ・ 別居の介護者は、「別居の親族(同一市内)」、「別居の親族(同一県内)」が約3割ずつである。
- ・ 同居者(介護者)の生活・健康上の課題の有無に関しては、「問題なし」が半数を占める。「認定はないが生活・健康上の課題がある」が24.2%である。
- ・ 利用者の住まいの生活環境(バリアフリー等)は、7割以上が普通～良いである。
- ・ 利用者の所得階層は、第2段階～第4段階がそれぞれ2割程度を占める。

② 心身の状態

- ・ 現在の要介護度は、「要支援2」が56.4%、「要支援1」が43.0%である。
- ・ 前回の要介護度は、「要支援2」が41.6%と最も多く、次いで「要支援1」が37.8%、「認定なし」が15.4%である。
- ・ 日常生活自立度は、「J2」が37.8%、「A1」が24.6%、「J1」が18.4%である。
- ・ 身体障害者手帳を持つ割合は、13.9%である。障害者総合支援法サービスとの併用の割合は2.1%である。
- ・ 主たる原因疾患等は、「関節の病気」が36.6%と最も多く、次いで「その他」が25.9%、「骨折・転倒」が19.6%である。
- ・ 利用者のケアプラン作成時点に認められた心身の状態は、「廃用症候群の可能性」が31.4%と最も多く、次いで「治療を要する高血圧症」が23.9%、「ADLの急激な低下(3ヶ月以内)」が12.4%である。
- ・ 利用者のケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケアは、「疼痛の看護」が31.3%と最も多く、次いで「インスリン注射」が20.0%、「酸素療法」が12.0%である。

(2) 各サービスの利用者に着目した分析

① 介護予防訪問看護

(利用者の概況)

- ・「要支援 2」が 68.7%を占めており、本調査全体より 12.3 ポイント高い。
- ・ケアプラン作成時点に認められた心身の状態は、「廃用症候群の可能性」が 37.3%と最も多く、次いで「ADL の急激な低下(3 ヶ月以内)」が 20.1%、「治療を要する高血圧症」が 17.9%である。
- ・主たる原因疾患等は、「その他」が 33.6%と最も多く、次いで「関節の病気」が 21.6%、「骨折・転倒」が 19.4%である。
- ・ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケアに関しては、総じて該当する割合は小さく、数少ない中でも回答の多かったものでは「酸素療法」が 8.2%と最も多く、次いで「ストーマ(人工肛門、人工膀胱)の処置」が 6.0%である。

(サービス利用状況)

- ・平成 28 年 2 月の医療保険サービスの利用実績は、訪問診療は「なし」が 70.9%を占めている。(医療)訪問看護は「なし」が 64.2%と最も多く、次いで「週 3 回まで」が 11.2%である。
- ・平成 28 年 2 月のサービス利用回数は、「3～4 回」が最も多く、「廃用症候群の可能性」の場合で 62.0%、「ADL の急激な低下(3 ヶ月以内)」の場合で 55.6%、「治療を要する高血圧症」の場合で 79.2%である。
- ・平成 28 年 2 月のサービス利用内容に関して、ケアプラン作成時点で認められた心身の状態別に見ると、全体の中での割合は小さいが、「退院して1か月以内」の場合に「入浴介助」を利用している割合が相対的に大きく、また「指示通りの薬の服薬ができない」場合に「服薬介助」を利用している割合が相対的に大きい傾向が見られる。
- ・また、同様に主たる原因疾患等別に見ると、全体の中での割合は小さいが、「脳卒中」の 15.8%が「更衣」を利用しており、他の原因疾患等より10 ポイント以上多い。
- ・こうした結果から、予防訪問看護の利用者の多くは、「廃用症候群の可能性」や「ADL の急激な低下(3 か月以内)」の状態にあり、これに対し「その他」のサービス(健康管理や状態観察が想定される)を利用していると言える。
- ・一方で、予防訪問看護の利用者に占める割合は2割以下だが、「退院して1か月以内」、「指示通りの服薬ができない」、原因疾患が「脳卒中」である場合などに、それぞれ「入浴介助」、「服薬介助」、「更衣」といったサービスが利用されている傾向が見られる。

(障害者手帳を持つ利用者のサービス利用状況)

- ・ 障害者手帳を持つ割合は 20.1%であり、本調査全体より約 6 ポイント高い。障害者総合支援法サービスの併用の割合は 1.5%である。また、障害者手帳を持つ利用者の「その他」の利用実績は 78.8%で、持たない利用者より 4.5 ポイント高い。
- ・ 障害者手帳を持っている利用者における予防訪問看護の利用がやや多い可能性もあるが、統計的に有意という程ではないため、予防訪問看護が障害者手帳を持っている利用者に多く利用されているとは必ずしも言い切れない。

② 介護予防訪問リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

(利用者の概況)

- ・ 「要支援 2」の割合が高く、介護予防訪問リハビリテーションで 73.0%、介護予防通所リハビリテーションで 62.2%である。
- ・ 「同居者あり」が半数以上を占める。介護予防訪問リハビリテーションで 59.6%、介護予防通所リハビリテーションで 66.7%である。
- ・ ケアプラン作成時点に認められた心身の状態は、「廃用症候群の可能性」が最も多く、介護予防訪問リハビリテーションで 41.6%、介護予防通所リハビリテーションで 32.9%である。「治療を要する高血圧症」に関しては、介護予防訪問リハビリテーションで 20.2%、介護予防通所リハビリテーションで 23.2%である。
- ・ 割合としては小さいが、「退院して1ヶ月以内」と「ADLの急激な低下(3か月以内)」の2つの状態に着目すると、介護予防訪問リハビリテーションの利用者の方が、介護予防通所リハビリテーションの利用者よりもこの状態に該当している割合が大きい傾向が見られる。
- ・ その他の状態については、介護予防訪問リハビリテーションの利用者と介護予防通所リハビリテーションの利用者との間に大きな違いはない。

(サービス利用状況)

- ・ 前述の通り、利用者の状態については、介護予防訪問リハビリテーションと介護予防通所リハビリテーションの間で大きな違いは無いが、サービス利用内容について見ると、介護予防訪問リハビリテーションでは「理学療法」が最も多く利用者全体の 80.9%である一方、介護予防通所リハビリテーションでは、「運動器機能向上」が最も多く 82.0%、次いで「理学療法」が 54.1%となっている。
- ・ なお、主治医意見書等で指定されているサービスについて見ると、介護予防通所介護リハビリテーションの利用者については、「通所リハビリ」が指定されていた割合が 73.4%と多く、一方介護予防訪問リハビリテーションの利用者については、「訪問リハビリ」が指定されていた割合が 53.9%となっており、主事意見書等で指定された傾向に沿ってサービ

スが利用されていると言える。

(障害者手帳を持つ利用者のサービス利用状況)

- ・ 障害者手帳を持つ割合は介護予防訪問リハビリテーションが 21.3%であり、本調査全体より約 7 ポイント高い。このことから、介護予防訪問介護リハビリテーションの利用者については、障害者手帳を持つ利用者が比較的多いことが指摘できる。

③ 介護予防短期入所生活介護

(利用者の概況)

- ・ 「要支援 2」の割合が高く、84.5%を占める。
- ・ 「同居者あり」が約 8 割を占める。同居者の内訳は、「介護可能な同居者がいる」が 62.1%、「同居者はいるが介護不能」が 17.2%である。
- ・ 同居者の生活・健康上の課題の有無に関しては、「問題なし」が 48.3%と最も多く、次いで「認定はないが生活・健康上の課題がある」が 19.0%である。
- ・ 主たる原因疾患等は「その他」が 32.8%と最も多く、次いで「関節の病気」が 31.0%、「心臓病」が 20.7%である。配慮が必要な服薬等に関しては、「その他の薬」が 50.0%である。
- ・ 障害者手帳を持つ割合は 12.1%である。

(サービス利用状況)

- ・ 平成 28 年 2 月のサービス利用目的を同居者の有無別に見ると、同居は「介護者の仕事(出張)や冠婚葬祭等のため」が 42.2%と最も多く、次いで「介護者のレスパイトのため」が 37.8%、「利用者の ADL 向上のため」が 20.0%である。
- ・ 一方、独居は「その他」が 41.7%と最も多く、次いで「介護者のレスパイトのため」、「介護者の仕事(出張)や冠婚葬祭等のため」が 25.0%である。
- ・ このことから、状態による違いというよりも、同居者がいるかどうかによってサービス利用目的が異なる形で利用されていると言える。

④ 介護予防福祉用具貸与

(利用者の概況)

- ・ 現在のケアプラン開始時期は、「3 ヶ月以内」が 46.3%と最も多く、次いで「4 ヶ月～半年」が 30.6%である
- ・ 所得階層は、「第 2 段階」、「第 3 段階」、「第 4 段階」がそれぞれ 18%程度である。
- ・ 日常生活自立度は、「J2」が 34.7%と最も多く、次いで「A1」が 30.5%である。
- ・ 障害者手帳を持つ割合は 15.7%である。障害者総合支援法サービスを併用の割合は 1.5%である。

- ・主たる原因疾患は、「関節の病気」が41.0%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が23.8%である。
- ・ケアプラン作成時点に認められた心身の状態は、「廃用症候群の可能性」が34.9%と最も多く、次いで「治療を要する高血圧症」が21.4%、「ADLの急激な低下(3ヶ月以内)」が16.5%である。ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケアに関しては、「疼痛の看護」が3.6%である。

(サービス利用状況)

- ・歩行器を利用している人の割合は、生活環境が「良」の人ほど多く、「不良」の人では少ない傾向が見られる。
- ・住まいの生活環境としては、屋内移動が「不良」の人は16.3%、入浴環境が「不良」の人は20.4%、外出環境が「不良」の人は28.1%である。

2. 介護予防サービスの実態把握に向けた調査方法に関する今後の課題

- ・本概況調査の実施結果から指摘できる、介護予防サービスの実態把握に向けた調査方法に関する課題は以下の通りである
- ・第一に、利用者の状態の把握に関する設問の見直しである。本実態調査では、利用者のアセスメント段階での状態を把握する設問を設けたが、「ケアプラン作成時点に認められた心身の状態」以外については、特定の設問に回答が集中したり、ほぼ全数が「該当なし」となったりする結果が見られた。
- ・したがって、今後、利用者の状態に応じたサービスの利用になっているかをさらに把握しようとするならば、利用者個人の違いがより明らかになるような設問を検討し追加することも必要であると考えられる。
- ・第二に、サービス利用内容の詳細化である。本実態調査では、利用されているサービス利用内容についても、特定のサービス内容に回答が集中する傾向や、「その他」に回答が多く集まる傾向が見られた。特に、介護予防訪問看護のサービス利用内容の「その他」や、介護予防訪問介護リハビリテーション及び介護予防通所リハビリテーションのサービス利用内容については、より詳細化する余地がある。
- ・したがって、今後、利用者の状態に応じたサービスの利用になっているかをさらに把握しようとするならば、サービス利用内容の選択肢をより詳細に設定する必要があると考えられる。

- ・ 第三に、インテーク経緯の把握である。本実態調査では、ケアプラン作成時点において、介護予防サービス利用者の中で占める割合は小さいが、「退院してから 1 ヶ月以内」や「ADLの急激な低下(3か月以内)」といった状態が見られた利用者については、他の利用者と比較して、サービス利用内容にある程度の傾向が見られた。
- ・ 本実態調査では、ケアプラン作成後の期間は把握したが、こうした状態の変化が大きい中で介護予防サービスの利用に至っている利用者については、例えば入院や通院による治療の経緯についても把握することで、疾患や状態の大きな変化から介護予防サービスを利用している流れを分析することが出来ると考えられる。

参考資料: サービス利用による改善可能性に関する集計表

1. 全体

(1) 身体機能・起居動作

麻痺状態の状態 と サービス利用による サービス利用による 麻痺の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
麻痺なし	(n=2142)	4.1%	13.2%	48.5%	5.0%	29.2%	100%
麻痺あり	(n=814)	27.9%	7.0%	58.2%	4.3%	2.6%	100%
不明	(n=63)	6.3%	19.0%	27.0%	7.9%	39.7%	100%
合計	(n=3019)	10.5%	11.7%	50.7%	4.9%	22.2%	100%

立ち上がりの状態 と サービス利用による サービス利用による 立ち上がりの改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=419)	9.1%	8.1%	52.7%	2.1%	27.9%	100%
できない	(n=2583)	30.9%	3.5%	58.0%	1.8%	5.8%	100%
無回答	(n=17)	17.6%	0.0%	23.5%	0.0%	58.8%	100%
合計	(n=3019)	27.8%	4.1%	57.1%	1.9%	9.2%	100%

片足立位の状態 と サービス利用による サービス利用による 片足立位の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=333)	8.1%	8.1%	57.4%	1.2%	25.2%	100%
できない	(n=2664)	26.0%	5.5%	58.6%	3.6%	6.3%	100%
無回答	(n=22)	9.1%	4.5%	22.7%	4.5%	59.1%	100%
合計	(n=3019)	23.9%	5.8%	58.2%	3.3%	8.8%	100%

洗身の状態 と サービス利用による サービス利用による 洗身の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=1897)	5.4%	9.8%	57.1%	4.0%	23.8%	100%
できない	(n=1061)	27.0%	4.0%	62.5%	2.3%	4.3%	100%
無回答	(n=27)	7.4%	0.0%	22.2%	0.0%	70.4%	100%
合計	(n=2985)	13.1%	7.6%	58.7%	3.3%	17.3%	100%

※洗身については、「行っていない」という回答については除外して集計を実施した。

つめ切りの状態 と サービス利用による サービス利用による つめ切りの改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=1814)	3.3%	11.8%	57.4%	4.0%	23.6%	100%
できない	(n=1181)	15.0%	13.1%	58.5%	7.2%	6.2%	100%
無回答	(n=24)	0.0%	4.2%	29.2%	0.0%	66.7%	100%
合計	(n=3019)	7.8%	12.3%	57.6%	5.2%	17.1%	100%

視力の状態 と サービス利用による 視力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=2847)	1.5%	16.6%	53.5%	9.3%	19.1%	100%
問題あり	(n=143)	1.4%	36.4%	38.5%	15.4%	8.4%	100%
無回答	(n=29)	10.3%	3.4%	20.7%	13.8%	51.7%	100%
合計	(n=3019)	1.6%	17.4%	52.4%	9.7%	18.9%	100%

聴力の状態 と サービス利用による 聴力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=2658)	1.4%	17.3%	52.7%	9.4%	19.1%	100%
問題あり	(n=334)	2.1%	34.4%	43.7%	14.4%	5.4%	100%
無回答	(n=27)	7.4%	7.4%	18.5%	3.7%	63.0%	100%
合計	(n=3019)	1.6%	19.1%	51.4%	9.9%	18.0%	100%

(2)生活機能

移乗の状態 と サービス利用による 移乗の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=2432)	7.9%	7.5%	63.1%	2.1%	19.5%	100%
見守り	(n=429)	28.2%	3.3%	61.5%	1.6%	5.4%	100%
できない	(n=137)	32.1%	2.9%	54.0%	3.6%	7.3%	100%
無回答	(n=21)	9.5%	0.0%	33.3%	0.0%	57.1%	100%
合計	(n=3019)	11.9%	6.6%	62.2%	2.1%	17.2%	100%

移動の状態 と サービス利用による 移動の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=2277)	10.9%	6.5%	61.0%	1.8%	19.8%	100%
見守り	(n=572)	32.7%	3.1%	57.2%	1.2%	5.8%	100%
できない	(n=148)	37.8%	3.4%	49.3%	2.0%	7.4%	100%
無回答	(n=22)	4.5%	0.0%	40.9%	0.0%	54.5%	100%
合計	(n=3019)	16.3%	5.7%	59.6%	1.7%	16.8%	100%

嚙下の状態 と サービス利用による 嚙下の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=2831)	3.7%	10.3%	61.7%	4.3%	20.0%	100%
見守り等	(n=170)	20.0%	2.4%	62.9%	7.1%	7.6%	100%
無回答	(n=18)	5.6%	5.6%	22.2%	0.0%	66.7%	100%
合計	(n=3019)	4.6%	9.8%	61.6%	4.4%	19.6%	100%

口腔清潔の状態 と サービス利用による 口腔清潔の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=2932)	3.9%	10.5%	62.0%	4.0%	19.6%	100%
できない	(n=66)	30.3%	4.5%	59.1%	3.0%	3.0%	100%
無回答	(n=21)	9.5%	4.8%	28.6%	0.0%	57.1%	100%
合計	(n=3019)	4.5%	10.4%	61.7%	4.0%	19.5%	100%

衣服着脱の状態 と サービス利用による 衣服着脱の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=2728)	5.4%	9.0%	63.2%	2.6%	19.8%	100%
見守り	(n=144)	19.4%	4.9%	66.7%	2.8%	6.3%	100%
できない	(n=128)	38.3%	4.7%	50.8%	3.1%	3.1%	100%
無回答	(n=19)	5.3%	0.0%	36.8%	0.0%	57.9%	100%
合計	(n=3019)	7.4%	8.6%	62.7%	2.6%	18.7%	100%

外出頻度状態の状態 と サービス利用による 外出頻度の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
外出週1回以上	(n=2486)	18.4%	5.7%	56.5%	2.1%	17.3%	100%
外出週1回未満	(n=518)	44.8%	4.4%	41.3%	3.3%	6.2%	100%
無回答	(n=15)	6.7%	0.0%	20.0%	0.0%	73.3%	100%
合計	(n=3019)	22.9%	5.5%	53.7%	2.3%	15.7%	100%

(3)社会生活への適応

薬の内服の状態 と サービス利用による 薬の内服の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=2470)	4.0%	11.5%	60.1%	3.7%	20.7%	100%
できない	(n=527)	21.1%	8.3%	62.2%	4.6%	3.8%	100%
無回答	(n=22)	18.2%	9.1%	18.2%	0.0%	54.5%	100%
合計	(n=3019)	7.1%	10.9%	60.2%	3.8%	18.0%	100%

金銭管理の状態 と サービス利用による 金銭管理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=2213)	2.3%	12.4%	59.4%	4.4%	21.4%	100%
見守り	(n=782)	7.0%	17.0%	60.9%	9.8%	5.2%	100%
無回答	(n=24)	16.7%	8.3%	29.2%	0.0%	45.8%	100%
合計	(n=3019)	3.7%	13.6%	59.5%	5.8%	17.4%	100%

意思決定状態の状態 と サービス利用による 日常の意思決定の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる・ほぼできる	(n=2978)	4.6%	11.2%	63.2%	4.1%	16.9%	100%
困難・できない	(n=19)	36.8%	10.5%	42.1%	10.5%	0.0%	100%
無回答	(n=22)	4.5%	4.5%	36.4%	4.5%	50.0%	100%
合計	(n=3019)	4.8%	11.2%	62.9%	4.1%	17.0%	100%

集団への不適応の状態 と サービス利用による 集団への不適応の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=2709)	3.5%	11.0%	61.4%	3.7%	20.5%	100%
問題あり	(n=284)	29.9%	13.4%	36.3%	15.8%	4.6%	100%
無回答	(n=26)	7.7%	11.5%	26.9%	3.8%	50.0%	100%
合計	(n=3019)	6.0%	11.2%	58.7%	4.8%	19.3%	100%

買い物の状態 と サービス利用による 買い物の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=906)	4.5%	9.9%	56.8%	3.4%	25.3%	100%
見守り	(n=110)	23.6%	6.4%	60.0%	4.5%	5.5%	100%
できない	(n=1976)	26.1%	13.3%	46.9%	7.2%	6.5%	100%
無回答	(n=27)	11.1%	3.7%	33.3%	3.7%	48.1%	100%
合計	(n=3019)	19.4%	12.0%	50.2%	6.0%	12.5%	100%

調理の状態 と サービス利用による 簡単な調理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=1513)	6.3%	10.4%	57.0%	3.0%	23.2%	100%
見守り	(n=132)	25.8%	5.3%	59.8%	3.8%	5.3%	100%
できない	(n=1341)	23.0%	18.9%	40.6%	12.2%	5.4%	100%
無回答	(n=33)	15.2%	6.1%	21.2%	3.0%	54.5%	100%
合計	(n=3019)	14.7%	13.9%	49.5%	7.1%	14.8%	100%

2. 介護予防訪問看護利用者

(1) 身体機能・起居動作

麻痺状態の状態 とサービス利用による 麻痺の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
麻痺なし	(n=92)	3.3%	18.5%	50.0%	4.3%	23.9%	100%
麻痺あり	(n=34)	41.2%	8.8%	41.2%	5.9%	2.9%	100%
不明	(n=8)	0.0%	25.0%	25.0%	12.5%	37.5%	100%
合計	(n=134)	12.7%	16.4%	46.3%	5.2%	19.4%	100%

立ち上がりの状態 とサービス利用による 立ち上がりの改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=22)	4.5%	13.6%	54.5%	0.0%	27.3%	100%
できない	(n=112)	30.4%	8.0%	52.7%	1.8%	7.1%	100%
合計	(n=134)	26.1%	9.0%	53.0%	1.5%	10.4%	100%

片足立位の状態 とサービス利用による 片足立位の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=16)	6.3%	12.5%	50.0%	0.0%	31.3%	100%
できない	(n=117)	24.8%	8.5%	59.8%	.9%	6.0%	100%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=134)	22.4%	9.0%	59.0%	.7%	9.0%	100%

洗身の状態 とサービス利用による 洗身の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=76)	7.9%	10.5%	63.2%	1.3%	17.1%	100%
できない	(n=52)	26.9%	3.8%	59.6%	1.9%	7.7%	100%
無回答	(n=2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
合計	(n=130)	15.4%	7.7%	60.8%	1.5%	14.6%	100%

※洗身については、「行っていない」という回答については除外して集計を実施した。

つめ切りの状態 とサービス利用による つめ切りの改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=73)	2.7%	13.7%	57.5%	2.7%	23.3%	100%
できない	(n=61)	21.3%	13.1%	55.7%	3.3%	6.6%	100%
合計	(n=134)	11.2%	13.4%	56.7%	3.0%	15.7%	100%

視力の状態 と サービス利用による 視力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=127)	2.4%	15.7%	55.1%	9.4%	17.3%	100%
問題あり	(n=5)	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100%
無回答	(n=2)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=134)	2.2%	16.4%	55.2%	9.7%	16.4%	100%

聴力の状態 と サービス利用による 聴力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=119)	1.7%	15.1%	56.3%	10.1%	16.8%	100%
問題あり	(n=13)	0.0%	53.8%	38.5%	0.0%	7.7%	100%
無回答	(n=2)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100%
合計	(n=134)	1.5%	18.7%	54.5%	9.0%	16.4%	100%

(2)生活機能

移乗の状態 と サービス利用による 移乗の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=108)	5.6%	6.5%	71.3%	1.9%	14.8%	100%
見守り	(n=19)	15.8%	10.5%	47.4%	5.3%	21.1%	100%
できない	(n=7)	42.9%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	100%
合計	(n=134)	9.0%	6.7%	65.7%	3.0%	15.7%	100%

移動の状態 と サービス利用による 移動の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=99)	10.1%	7.1%	69.7%	1.0%	12.1%	100%
見守り	(n=28)	35.7%	7.1%	42.9%	0.0%	14.3%	100%
できない	(n=6)	16.7%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	100%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
合計	(n=134)	15.7%	6.7%	62.7%	1.5%	13.4%	100%

嚥下の状態 と サービス利用による 嚥下の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=127)	0.0	9.4%	65.4%	4.7%	18.1%	100%
見守り等	(n=7)	0.4	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=134)	0.0	9.0%	64.9%	4.5%	17.2%	100%

口腔清潔の状態 と サービス利用による 口腔清潔の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=129)	3.9%	10.9%	65.1%	4.7%	15.5%	100%
できない	(n=5)	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	100%
合計	(n=134)	5.2%	10.4%	64.2%	4.5%	15.7%	100%

衣服着脱の状態 と サービス利用による 衣服着脱の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=123)	4.1%	8.9%	67.5%	3.3%	16.3%	100%
見守り	(n=4)	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	100%
できない	(n=7)	42.9%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=134)	6.0%	9.0%	67.2%	3.0%	14.9%	100%

外出頻度状態の状態 と サービス利用による 外出頻度の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
外出週1回以上	(n=92)	14.1%	8.7%	59.8%	2.2%	15.2%	100%
外出週1回未満	(n=42)	42.9%	4.8%	42.9%	2.4%	7.1%	100%
合計	(n=134)	23.1%	7.5%	54.5%	2.2%	12.7%	100%

(3)社会生活への適応

薬の内服の状態 と サービス利用による 薬の内服の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=98)	9.2%	7.1%	63.3%	3.1%	17.3%	100%
できない	(n=36)	52.8%	0.0%	41.7%	2.8%	2.8%	100%
合計	(n=134)	20.9%	5.2%	57.5%	3.0%	13.4%	100%

金銭管理の状態 と サービス利用による 金銭管理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=100)	3.0%	14.0%	61.0%	5.0%	17.0%	100%
見守り	(n=33)	6.1%	12.1%	75.8%	6.1%	0.0%	100%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=134)	3.7%	13.4%	64.9%	5.2%	12.7%	100%

意思決定状態の状態 と サービス利用による 日常の意思決定の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる・ほぼできる	(n=133)	7.5%	9.8%	66.2%	3.8%	12.8%	100%
困難・できない	(n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=134)	8.2%	9.7%	65.7%	3.7%	12.7%	100%

集団への不適応の状態 と サービス利用による 集団への不適応の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=113)	4.4%	9.7%	65.5%	3.5%	16.8%	100%
問題あり	(n=21)	14.3%	19.0%	33.3%	28.6%	4.8%	100%
合計	(n=134)	6.0%	11.2%	60.4%	7.5%	14.9%	100%

買い物の状態 と サービス利用による 買い物の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=45)	6.7%	13.3%	57.8%	2.2%	20.0%	100%
見守り	(n=3)	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	100%
できない	(n=86)	32.6%	7.0%	50.0%	7.0%	3.5%	100%
合計	(n=134)	23.9%	9.0%	52.2%	6.0%	9.0%	100%

調理の状態 と サービス利用による 簡単な調理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=57)	17.5%	8.8%	56.1%	1.8%	15.8%	100%
見守り	(n=5)	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100%
できない	(n=71)	29.6%	12.7%	38.0%	14.1%	5.6%	100%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=134)	24.6%	10.4%	46.3%	9.0%	9.7%	100%

3. 介護予防訪問リハビリテーション利用者

(1) 身体機能・起居動作

麻痺状態の状態 とサービス利用による 麻痺の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
麻痺なし	(n=51)	2.0%	13.7%	49.0%	2.0%	33.3%	100%
麻痺あり	(n=36)	36.1%	2.8%	61.1%	0.0%	0.0%	100%
不明	(n=2)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=89)	15.7%	9.0%	55.1%	1.1%	19.1%	100%

立ち上がりの状態 とサービス利用による 立ち上がりの改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=2)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
できない	(n=87)	36.8%	1.1%	55.2%	0.0%	6.9%	100%
合計	(n=89)	36.0%	1.1%	56.2%	0.0%	6.7%	100%

片足立位の状態 とサービス利用による 片足立位の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=2)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
できない	(n=87)	32.2%	3.4%	54.0%	3.4%	6.9%	100%
合計	(n=89)	31.5%	3.4%	55.1%	3.4%	6.7%	100%

洗身の状態 とサービス利用による 洗身の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=51)	11.8%	7.8%	58.8%	3.9%	17.6%	100%
できない	(n=33)	24.2%	6.1%	63.6%	0.0%	6.1%	100%
無回答	(n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
合計	(n=87)	16.1%	6.9%	58.6%	2.3%	16.1%	100%

※洗身については、「行っていない」という回答については除外して集計を実施した。

つめ切りの状態 とサービス利用による つめ切りの改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=45)	4.4%	6.7%	62.2%	6.7%	20.0%	100%
できない	(n=44)	11.4%	13.6%	61.4%	4.5%	9.1%	100%
合計	(n=89)	7.9%	10.1%	61.8%	5.6%	14.6%	100%

視力の状態 と サービス利用による 視力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=85)	1.2%	20.0%	52.9%	10.6%	15.3%	100%
問題あり	(n=4)	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=89)	2.2%	21.3%	51.7%	10.1%	14.6%	100%

聴力の状態 と サービス利用による 聴力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=78)	1.3%	19.2%	53.8%	10.3%	15.4%	100%
問題あり	(n=11)	0.0%	18.2%	54.5%	9.1%	18.2%	100%
合計	(n=89)	1.1%	19.1%	53.9%	10.1%	15.7%	100%

(2)生活機能

移乗の状態 と サービス利用による 移乗の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=63)	11.1%	3.2%	76.2%	1.6%	7.9%	100%
見守り	(n=17)	47.1%	0.0%	23.5%	0.0%	29.4%	100%
できない	(n=9)	55.6%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=89)	22.5%	2.2%	62.9%	1.1%	11.2%	100%

移動の状態 と サービス利用による 移動の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=56)	16.1%	3.6%	62.5%	1.8%	16.1%	100%
見守り	(n=23)	47.8%	0.0%	39.1%	0.0%	13.0%	100%
できない	(n=10)	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=89)	29.2%	2.2%	53.9%	1.1%	13.5%	100%

嚥下の状態 と サービス利用による 嚥下の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=84)	9.5%	8.3%	63.1%	4.8%	14.3%	100%
見守り等	(n=5)	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	100%
合計	(n=89)	9.0%	7.9%	62.9%	5.6%	14.6%	100%

口腔清潔の状態 と サービス利用による 口腔清潔の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=87)	9.2%	9.2%	59.8%	6.9%	14.9%	100%
できない	(n=2)	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=89)	9.0%	10.1%	59.6%	6.7%	14.6%	100%

衣服着脱の状態 と サービス利用による 衣服着脱の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=75)	10.7%	5.3%	64.0%	4.0%	16.0%	100%
見守り	(n=8)	25.0%	12.5%	50.0%	0.0%	12.5%	100%
できない	(n=6)	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=89)	16.9%	5.6%	59.6%	3.4%	14.6%	100%

外出頻度状態の状態 と サービス利用による 外出頻度の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
外出週1回以上	(n=55)	18.2%	5.5%	61.8%	5.5%	9.1%	100%
外出週1回未満	(n=34)	64.7%	0.0%	32.4%	0.0%	2.9%	100%
合計	(n=89)	36.0%	3.4%	50.6%	3.4%	6.7%	100%

(3)社会生活への適応

薬の内服の状態 と サービス利用による 薬の内服の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=73)	9.6%	9.6%	64.4%	2.7%	13.7%	100%
できない	(n=16)	25.0%	18.8%	43.8%	6.3%	6.3%	100%
合計	(n=89)	12.4%	11.2%	60.7%	3.4%	12.4%	100%

金銭管理の状態 と サービス利用による 金銭管理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=64)	1.6%	10.9%	67.2%	4.7%	15.6%	100%
見守り	(n=25)	12.0%	32.0%	40.0%	12.0%	4.0%	100%
合計	(n=89)	4.5%	16.9%	59.6%	6.7%	12.4%	100%

意思決定状態の状態 と サービス利用による 日常の意思決定の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる・ほぼできる	(n=89)	6.7%	11.2%	66.3%	3.4%	12.4%	100%
困難・できない	(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=89)	6.7%	11.2%	66.3%	3.4%	12.4%	100%

集団への不適応の状態 と サービス利用による 集団への不適応の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=79)	5.1%	16.5%	59.5%	3.8%	15.2%	100%
問題あり	(n=10)	30.0%	20.0%	30.0%	20.0%	0.0%	100%
合計	(n=89)	7.9%	16.9%	56.2%	5.6%	13.5%	100%

買い物の状態 と サービス利用による 買い物の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=22)	0.0%	9.1%	72.7%	13.6%	4.5%	100%
見守り	(n=3)	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	100%
できない	(n=63)	30.2%	19.0%	33.3%	9.5%	7.9%	100%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=89)	22.5%	16.9%	43.8%	10.1%	6.7%	100%

調理の状態 と サービス利用による 簡単な調理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=41)	12.2%	12.2%	61.0%	2.4%	12.2%	100%
見守り	(n=6)	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	100%
できない	(n=41)	24.4%	19.5%	31.7%	19.5%	4.9%	100%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=89)	19.1%	15.7%	47.2%	10.1%	7.9%	100%

4. 介護予防通所リハビリテーション利用者

(1) 身体機能・起居動作

麻痺状態の状態 とサービス利用による 麻痺の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
麻痺なし	(n=276)	5.1%	8.0%	44.6%	5.8%	36.6%	100%
麻痺あり	(n=160)	38.8%	3.1%	55.0%	1.9%	1.3%	100%
不明	(n=8)	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%	50.0%	100%
合計	(n=444)	17.3%	6.1%	48.2%	4.3%	24.1%	100%

立ち上がりの状態 とサービス利用による 立ち上がりの改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=42)	19.0%	2.4%	50.0%	2.4%	26.2%	100%
できない	(n=400)	37.8%	0.5%	53.8%	1.5%	6.5%	100%
無回答	(n=2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=444)	36.3%	0.7%	53.2%	1.6%	8.3%	100%

片足立位の状態 とサービス利用による 片足立位の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=35)	20.0%	0.0%	57.1%	0.0%	22.9%	100%
できない	(n=408)	32.8%	1.7%	54.4%	4.4%	6.6%	100%
無回答	(n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=444)	32.0%	1.6%	54.5%	4.1%	7.9%	100%

洗身の状態 とサービス利用による 洗身の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=263)	7.6%	3.8%	62.0%	2.7%	24.0%	100%
できない	(n=174)	31.6%	1.7%	58.6%	4.0%	4.0%	100%
無回答	(n=5)	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	60.0%	100%
合計	(n=442)	17.0%	2.9%	60.4%	3.2%	16.5%	100%

※洗身については、「行っていない」という回答については除外して集計を実施した。

つめ切りの状態 とサービス利用による つめ切りの改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=233)	2.1%	5.6%	65.7%	3.4%	23.2%	100%
できない	(n=207)	16.9%	10.6%	55.1%	9.7%	7.7%	100%
無回答	(n=4)	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	100%
合計	(n=444)	9.0%	8.1%	60.4%	6.3%	16.2%	100%

視力の状態 と サービス利用による 視力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=424)	2.8%	13.0%	56.6%	9.0%	18.6%	100%
問題あり	(n=16)	0.0%	18.8%	56.3%	12.5%	12.5%	100%
無回答	(n=4)	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100%
合計	(n=444)	2.9%	13.3%	56.1%	9.0%	18.7%	100%

聴力の状態 と サービス利用による 聴力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=396)	2.3%	13.6%	57.3%	7.8%	18.9%	100%
問題あり	(n=43)	4.7%	44.2%	30.2%	11.6%	9.3%	100%
無回答	(n=5)	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	100%
合計	(n=444)	2.7%	16.7%	54.1%	8.1%	18.5%	100%

(2)生活機能

移乗の状態 と サービス利用による 移乗の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=340)	9.7%	1.8%	68.2%	1.2%	19.1%	100%
見守り	(n=80)	38.8%	1.3%	52.5%	2.5%	5.0%	100%
できない	(n=24)	33.3%	4.2%	45.8%	4.2%	12.5%	100%
合計	(n=444)	16.2%	1.8%	64.2%	1.6%	16.2%	100%

移動の状態 と サービス利用による 移動の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=322)	11.8%	1.9%	66.8%	0.9%	18.6%	100%
見守り	(n=101)	42.6%	2.0%	48.5%	1.0%	5.9%	100%
できない	(n=21)	47.6%	0.0%	38.1%	0.0%	14.3%	100%
合計	(n=444)	20.5%	1.8%	61.3%	0.9%	15.5%	100%

嚥下の状態 と サービス利用による 嚥下の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=413)	4.6%	5.8%	64.6%	4.8%	20.1%	100%
見守り等	(n=31)	22.6%	3.2%	58.1%	12.9%	3.2%	100%
合計	(n=444)	5.9%	5.6%	64.2%	5.4%	18.9%	100%

口腔清潔の状態 と サービス利用による 口腔清潔の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=433)	3.5%	5.3%	67.9%	3.9%	19.4%	100%
できない	(n=10)	40.0%	0.0%	50.0%	0.0%	10.0%	100%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=444)	4.3%	5.2%	67.6%	3.8%	19.1%	100%

衣服着脱の状態 と サービス利用による 衣服着脱の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=386)	7.0%	4.1%	67.4%	2.1%	19.4%	100%
見守り	(n=31)	25.8%	6.5%	64.5%	3.2%	0.0%	100%
できない	(n=26)	46.2%	0.0%	53.8%	0.0%	0.0%	100%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=444)	10.6%	4.1%	66.4%	2.0%	16.9%	100%

外出頻度状態の状態 と サービス利用による 外出頻度の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
外出週1回以上	(n=405)	22.7%	1.7%	58.3%	1.7%	15.6%	100%
外出週1回未満	(n=38)	47.4%	0.0%	39.5%	0.0%	13.2%	100%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=444)	24.8%	1.6%	56.8%	1.6%	15.3%	100%

(3)社会生活への適応

薬の内服の状態 と サービス利用による 薬の内服の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=355)	3.1%	8.2%	66.2%	3.4%	19.2%	100%
できない	(n=88)	23.9%	5.7%	60.2%	6.8%	3.4%	100%
無回答	(n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=444)	7.4%	7.7%	64.9%	4.1%	16.0%	100%

金銭管理の状態 と サービス利用による 金銭管理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=314)	2.5%	8.0%	65.6%	4.1%	19.7%	100%
見守り	(n=128)	6.3%	13.3%	63.3%	12.5%	4.7%	100%
無回答	(n=2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=444)	4.1%	9.5%	64.6%	6.5%	15.3%	100%

意思決定状態の状態 と サービス利用による 日常の意思決定の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる・ほぼできる	(n=441)	6.1%	7.5%	66.7%	4.8%	15.0%	100%
困難・できない	(n=2)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
無回答	(n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=444)	6.3%	7.4%	66.7%	4.7%	14.9%	100%

集団への不適応の状態 と サービス利用による 集団への不適応の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=412)	2.7%	8.0%	66.5%	3.9%	18.9%	100%
問題あり	(n=29)	41.4%	3.4%	34.5%	10.3%	10.3%	100%
無回答	(n=3)	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100%
合計	(n=444)	5.4%	7.7%	64.4%	4.3%	18.2%	100%

買い物の状態 と サービス利用による 買い物の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=107)	6.5%	5.6%	58.9%	4.7%	24.3%	100%
見守り	(n=13)	38.5%	0.0%	46.2%	7.7%	7.7%	100%
できない	(n=322)	21.4%	13.7%	48.1%	9.3%	7.5%	100%
無回答	(n=227)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100%
合計	(n=444)	18.2%	11.3%	50.7%	8.1%	11.7%	100%

調理の状態 と サービス利用による 簡単な調理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=197)	7.1%	5.1%	62.9%	2.5%	22.3%	100%
見守り	(n=17)	23.5%	0.0%	70.6%	5.9%	0.0%	100%
できない	(n=227)	17.6%	21.1%	38.3%	15.4%	7.5%	100%
無回答	(n=3)	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	100%
合計	(n=444)	13.3%	13.1%	50.2%	9.5%	14.0%	100%

5. 介護予防短期入所生活介護利用者

(1) 身体機能・起居動作

麻痺状態の状態 とサービス利用による 麻痺の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
麻痺なし	(n=46)	4.3%	10.9%	52.2%	2.2%	30.4%	100.0%
麻痺あり	(n=12)	41.7%	0.0%	50.0%	8.3%	0.0%	100.0%
合計	(n=58)	12.1%	8.6%	51.7%	3.4%	24.1%	100.0%

立ち上がりの状態 とサービス利用による 立ち上がりの改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=8)	12.5%	0.0%	62.5%	0.0%	25.0%	100.0%
できない	(n=49)	34.7%	2.0%	55.1%	2.0%	6.1%	100.0%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
合計	(n=58)	31.0%	1.7%	55.2%	1.7%	10.3%	100.0%

片足立位の状態 とサービス利用による 片足立位の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=3)	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
できない	(n=54)	29.6%	7.4%	51.9%	1.9%	9.3%	100.0%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
合計	(n=58)	29.3%	6.9%	51.7%	1.7%	10.3%	100.0%

洗身の状態 とサービス利用による 洗身の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=20)	0.0%	0.0%	80.0%	5.0%	15.0%	100.0%
できない	(n=36)	30.6%	2.8%	58.3%	2.8%	5.6%	100.0%
無回答	(n=2)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
合計	(n=58)	20.7%	1.7%	63.8%	3.4%	10.3%	100.0%

※洗身については、「行っていない」という回答については除外して集計を実施した。

つめ切りの状態 とサービス利用による つめ切りの改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=22)	4.5%	4.5%	77.3%	4.5%	9.1%	100.0%
できない	(n=36)	13.9%	13.9%	55.6%	8.3%	8.3%	100.0%
合計	(n=58)	10.3%	10.3%	63.8%	6.9%	8.6%	100.0%

視力の状態 と サービス利用による 視力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=55)	0.0%	9.1%	65.5%	12.7%	12.7%	100.0%
問題あり	(n=3)	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=58)	1.7%	8.6%	65.5%	12.1%	12.1%	100.0%

聴力の状態 と サービス利用による 聴力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=47)	0.0%	12.8%	61.7%	10.6%	14.9%	100.0%
問題あり	(n=11)	0.0%	27.3%	45.5%	27.3%	0.0%	100.0%
合計	(n=58)	0.0%	15.5%	58.6%	13.8%	12.1%	100.0%

(2)生活機能

移乗の状態 と サービス利用による 移乗の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=40)	15.0%	2.5%	72.5%	2.5%	7.5%	100.0%
見守り	(n=11)	36.4%	0.0%	54.5%	0.0%	9.1%	100.0%
できない	(n=7)	42.9%	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%	100.0%
合計	(n=58)	22.4%	1.7%	65.5%	1.7%	8.6%	100.0%

移動の状態 と サービス利用による 移動の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=36)	19.4%	2.8%	69.4%	2.8%	5.6%	100.0%
見守り	(n=13)	46.2%	0.0%	46.2%	0.0%	7.7%	100.0%
できない	(n=9)	33.3%	0.0%	55.6%	0.0%	11.1%	100.0%
合計	(n=58)	27.6%	1.7%	62.1%	1.7%	6.9%	100.0%

嚥下の状態 と サービス利用による 嚥下の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=53)	9.4%	1.9%	73.6%	3.8%	11.3%	100.0%
見守り等	(n=5)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=58)	8.6%	1.7%	75.9%	3.4%	10.3%	100.0%

口腔清潔の状態 と サービス利用による 口腔清潔の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=54)	5.6%	3.7%	75.9%	3.7%	11.1%	100.0%
できない	(n=4)	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=58)	6.9%	3.4%	75.9%	3.4%	10.3%	100.0%

衣服着脱の状態 と サービス利用による 衣服着脱の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=49)	12.2%	4.1%	71.4%	2.0%	10.2%	100.0%
見守り	(n=5)	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	100.0%
できない	(n=3)	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	(n=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=58)	15.5%	3.4%	69.0%	1.7%	10.3%	100.0%

外出頻度状態の状態 と サービス利用による 外出頻度の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
外出週1回以上	(n=51)	27.5%	0.0%	62.7%	0.0%	9.8%	100.0%
外出週1回未満	(n=7)	42.9%	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	100.0%
合計	(n=58)	29.3%	0.0%	58.6%	0.0%	12.1%	100.0%

(3)社会生活への適応

薬の内服の状態 と サービス利用による 薬の内服の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=42)	2.4%	2.4%	71.4%	9.5%	14.3%	100.0%
できない	(n=16)	18.8%	12.5%	62.5%	6.3%	0.0%	100.0%
合計	(n=58)	6.9%	5.2%	69.0%	8.6%	10.3%	100.0%

金銭管理の状態 と サービス利用による 金銭管理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=31)	3.2%	3.2%	74.2%	3.2%	16.1%	100.0%
見守り	(n=27)	3.7%	7.4%	66.7%	18.5%	3.7%	100.0%
合計	(n=58)	3.4%	5.2%	70.7%	10.3%	10.3%	100.0%

意思決定状態の状態 と サービス利用による 日常の意思決定の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる・ほぼできる	(n=58)	1.7%	3.4%	79.3%	5.2%	10.3%	100.0%
合計	(n=58)	1.7%	3.4%	79.3%	5.2%	10.3%	100.0%

集団への不適応の状態 と サービス利用による 集団への不適応の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=54)	3.7%	1.9%	79.6%	3.7%	11.1%	100.0%
問題あり	(n=4)	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=58)	8.6%	1.7%	75.9%	3.4%	10.3%	100.0%

買い物の状態 と サービス利用による 買い物の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=10)	0.0%	10.0%	50.0%	0.0%	40.0%	100.0%
見守り	(n=3)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
できない	(n=45)	13.3%	15.6%	55.6%	11.1%	4.4%	100.0%
合計	(n=58)	10.3%	13.8%	56.9%	8.6%	10.3%	100.0%

調理の状態 と サービス利用による 簡単な調理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=13)	0.0%	7.7%	69.2%	0.0%	23.1%	100.0%
見守り	(n=2)	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
できない	(n=43)	7.0%	23.3%	51.2%	16.3%	2.3%	100.0%
合計	(n=58)	6.9%	19.0%	55.2%	12.1%	6.9%	100.0%

6. 介護予防福祉用具貸与利用者

(1) 身体機能・起居動作

麻痺状態の状態 とサービス利用による 麻痺の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
麻痺なし	(n=665)	4.4%	14.0%	48.4%	5.6%	27.7%	100.0%
麻痺あり	(n=316)	25.9%	8.2%	59.8%	4.1%	1.9%	100.0%
不明	(n=17)	5.9%	29.4%	47.1%	11.8%	5.9%	100.0%
合計	(n=998)	11.2%	12.4%	52.0%	5.2%	19.1%	100.0%

立ち上がりの状態 とサービス利用による 立ち上がりの改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=69)	7.2%	11.6%	49.3%	4.3%	27.5%	100.0%
できない	(n=925)	31.2%	3.5%	59.7%	1.4%	4.2%	100.0%
無回答	(n=4)	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	100.0%
合計	(n=998)	29.6%	4.0%	58.8%	1.6%	6.0%	100.0%

片足立位の状態 とサービス利用による 片足立位の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=59)	6.8%	11.9%	59.3%	3.4%	18.6%	100.0%
できない	(n=934)	25.3%	6.3%	59.2%	4.6%	4.6%	100.0%
無回答	(n=5)	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	100.0%
合計	(n=998)	24.0%	6.7%	59.0%	4.6%	5.6%	100.0%

洗身の状態 とサービス利用による 洗身の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=581)	4.8%	10.3%	58.0%	5.2%	21.7%	100.0%
できない	(n=402)	26.1%	5.5%	62.2%	2.5%	3.7%	100.0%
無回答	(n=8)	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	62.5%	100.0%
合計	(n=991)	13.5%	8.3%	59.4%	4.0%	14.7%	100.0%

つめ切り大分類 と 身体機能_つめ切り_改善可能性 のクロス表

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=529)	2.5%	12.7%	59.5%	5.5%	19.8%	100.0%
できない	(n=465)	14.8%	15.5%	56.3%	8.0%	5.4%	100.0%
無回答	(n=4)	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	100.0%
合計	(n=998)	8.2%	13.9%	58.1%	6.6%	13.1%	100.0%

視力の状態 と サービス利用による 視力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=957)	1.1%	17.1%	53.3%	12.0%	16.4%	100.0%
問題あり	(n=34)	2.9%	38.2%	32.4%	17.6%	8.8%	100.0%
無回答	(n=7)	28.6%	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%	100.0%
合計	(n=998)	1.4%	17.7%	52.3%	12.3%	16.2%	100.0%

聴力の状態 と サービス利用による 聴力の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=865)	0.9%	19.1%	52.3%	11.8%	16.0%	100.0%
問題あり	(n=127)	3.1%	31.5%	45.7%	16.5%	3.1%	100.0%
無回答	(n=6)	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	100.0%
合計	(n=998)	1.4%	20.5%	51.2%	12.4%	14.4%	100.0%

(2)生活機能

移乗の状態 と サービス利用による 移乗の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=760)	10.4%	7.1%	64.1%	2.5%	15.9%	100.0%
見守り	(n=178)	28.1%	4.5%	60.1%	1.1%	6.2%	100.0%
できない	(n=57)	36.8%	5.3%	52.6%	1.8%	3.5%	100.0%
無回答	(n=3)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=998)	15.0%	6.5%	62.8%	2.2%	13.4%	100.0%

移動の状態 と サービス利用による 移動の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=680)	14.7%	5.0%	61.5%	2.1%	16.8%	100.0%
見守り	(n=236)	33.1%	4.2%	56.4%	.8%	5.5%	100.0%
できない	(n=75)	36.0%	5.3%	53.3%	1.3%	4.0%	100.0%
無回答	(n=7)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=998)	20.5%	4.8%	59.9%	1.7%	13.0%	100.0%

嚥下の状態 と サービス利用による 嚥下の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=929)	3.2%	11.5%	61.4%	6.5%	17.4%	100.0%
見守り等	(n=65)	15.4%	6.2%	66.2%	6.2%	6.2%	100.0%
無回答	(n=4)	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	100.0%
合計	(n=998)	4.0%	11.2%	61.6%	6.4%	16.7%	100.0%

口腔清潔の状態 と サービス利用による 口腔清潔の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=974)	3.7%	11.2%	62.6%	5.5%	16.9%	100.0%
できない	(n=21)	33.3%	14.3%	52.4%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	(n=3)	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=998)	4.3%	11.3%	62.4%	5.4%	16.5%	100.0%

衣服着脱の状態 と サービス利用による 衣服着脱の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=865)	5.4%	9.5%	64.4%	3.4%	17.3%	100.0%
見守り	(n=59)	23.7%	8.5%	54.2%	3.4%	10.2%	100.0%
できない	(n=72)	33.3%	5.6%	55.6%	4.2%	1.4%	100.0%
無回答	(n=2)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=998)	8.5%	9.1%	63.2%	3.4%	15.7%	100.0%

外出頻度状態の状態 と サービス利用による 外出頻度の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
外出週1回以上	(n=775)	19.2%	5.9%	58.2%	2.7%	13.9%	100.0%
外出週1回未満	(n=221)	45.7%	5.4%	39.4%	5.0%	4.5%	100.0%
無回答	(n=2)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=998)	25.1%	5.8%	54.1%	3.2%	11.8%	100.0%

(3)社会生活への適応

薬の内服の状態 と サービス利用による 薬の内服の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=825)	3.2%	12.5%	61.9%	4.6%	17.8%	100.0%
できない	(n=170)	18.8%	9.4%	65.3%	4.1%	2.4%	100.0%
無回答	(n=3)	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=998)	5.9%	12.1%	62.3%	4.5%	15.1%	100.0%

金銭管理の状態 と サービス利用による 金銭管理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=734)	2.3%	14.0%	59.5%	4.9%	19.2%	100.0%
見守り	(n=259)	6.9%	17.8%	60.2%	11.6%	3.5%	100.0%
無回答	(n=5)	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=998)	3.6%	15.1%	59.6%	6.6%	15.0%	100.0%

意思決定状態の状態 と サービス利用による 日常の意思決定の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる・ほぼできる	(n=987)	3.7%	12.8%	65.0%	4.6%	13.9%	100.0%
困難・できない	(n=8)	25.0%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%	100.0%
無回答	(n=3)	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	(n=998)	3.9%	12.9%	64.8%	4.6%	13.7%	100.0%

集団への不適応の状態 と サービス利用による 集団への不適応の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
問題なし	(n=909)	3.6%	11.4%	61.4%	5.3%	18.3%	100.0%
問題あり	(n=84)	25.0%	13.1%	39.3%	17.9%	4.8%	100.0%
無回答	(n=5)	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	100.0%
合計	(n=998)	5.5%	11.6%	59.4%	6.3%	17.1%	100.0%

買い物の状態 と サービス利用による 買い物の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=252)	7.1%	10.3%	58.7%	4.0%	19.8%	100.0%
見守り	(n=29)	13.8%	10.3%	62.1%	6.9%	6.9%	100.0%
できない	(n=713)	24.0%	15.6%	46.6%	9.0%	4.9%	100.0%
無回答	(n=4)	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
合計	(n=998)	19.5%	14.1%	49.9%	7.6%	8.8%	100.0%

調理の状態 と サービス利用による 簡単な調理の改善可能性

状態	回答数	改善可能性					合計
		ある	ない	維持	不明	無回答	
できる	(n=472)	5.9%	10.8%	59.5%	4.2%	19.5%	100.0%
見守り	(n=41)	12.2%	7.3%	70.7%	4.9%	4.9%	100.0%
できない	(n=476)	22.9%	20.4%	37.8%	15.1%	3.8%	100.0%
無回答	(n=9)	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%
合計	(n=998)	14.4%	15.2%	49.1%	9.4%	11.8%	100.0%

《介護予防ケアプラン調査票》

回答日:平成 28 年 月 日

【記入にあたっての注意】

- 選択肢が記載されている設問については、該当する選択肢の「□」に「レ」印を記入してご回答ください。
- 回答欄に下線がある（「____年」等）設問については、下線の箇所に該当する数値を記入してご回答ください。
なお、回答する数値がゼロの場合も「0」とご記入ください。
- 調査対象となる利用者については、下記の【個別ケース抽出手順】に従って抽出してください。
- 情報の取扱いやお問合せ先等については、同封の「本調査で取り扱う情報の取扱いについて」をご確認下さい。

【個別ケース抽出手順】

手順① 平成 28 年 2 月に介護予防支援の利用実績がある方のうち、新規を除く利用者をご確認ください。

手順② 利用者の介護保険被保険者番号（10 桁）の下 2 桁を確認し、小さい順に **2 名** を抽出してください

回答期限：平成 28 年 3 月 11 日（金）

【利用者の基本属性等】※現在のケアプラン作成時点

(1) 現在のケアプラン作成日	____年____月____日		
(2) 年齢	____歳		
(3) 性別	☐ 1.男 ☐ 2.女		
(4) 介護保険地域区分（ひとつだけ）	☐ 1.1 級地 ☐ 2.2 級地 ☐ 3.3 級地 ☐ 4.4 級地 ☐ 5.5 級地 ☐ 6.6 級地 ☐ 7.7 級地 ☐ 8.その他		
(5) 同居・独居（ひとつだけ）	☐ 1.同居者あり ☐ 2.同居者なし		
(6) 現在の主な居所（ひとつだけ）			
☐ 1.有料老人ホーム(介護付) ☐ 2.有料老人ホーム(住宅型・健康型) ☐ 3.養護老人ホーム、軽費老人ホーム ☐ 4.サービス付き高齢者向け住宅 ☐ 5.上記 1～4 以外の高齢者向け居住施設 ☐ 6.公的賃貸住宅(公営住宅、UR 賃貸、住宅供給公社等) ☐ 7.戸建住宅、一般のマンション・アパート等 ☐ 8.居住形態不明 ☐ 9.その他			
(7) 家族介護者の有無と状況（ひとつだけ）			
① 同居の配偶者	☐ 1.介護可能	☐ 2.いるが介護不能	☐ 3.いない
② 同居の子(同一敷地別棟、二世帯住宅含む)	☐ 1.介護可能	☐ 2.いるが介護不能	☐ 3.いない
③ 同居の子の配偶者(同一敷地別棟、二世帯住宅含む)	☐ 1.介護可能	☐ 2.いるが介護不能	☐ 3.いない
④ その他の同居者(同一敷地別棟、二世帯住宅含む)	☐ 1.介護可能	☐ 2.いるが介護不能	☐ 3.いない
⑤ 別居の親族(同一市内)	☐ 1.介護可能な人あり	☐ 2.いない・不明	
⑥ 別居の親族(同一都道府県内)	☐ 1.介護可能な人あり	☐ 2.いない・不明	
⑦ 別居の知人等	☐ 1.介護可能な人あり	☐ 2.いない・不明	
(8) 同居者(介護者)の生活・健康上の課題の有無			
☐ 1.同居者がいない ☐ 2.問題なし ☐ 3.認定はないが生活・健康上の課題がある ☐ 4.要支援・要介護認定を受けている ☐ 5.その他・不明			
(9) 生活環境（ひとつだけ）			
① 屋内移動	☐ 1.良(バリアフリー対応等)	☐ 2.普通	☐ 3.不良
② 入浴環境	☐ 1.良(バリアフリー対応等)	☐ 2.普通	☐ 3.不良
③ 外出環境	☐ 1.良(バリアフリー対応等)	☐ 2.普通	☐ 3.不良
(10) 所得階層（ひとつだけ）			
☐ 1.第 1 段階 ☐ 2.第 2 段階 ☐ 3.第 3 段階 ☐ 4.第 4 段階 ☐ 5.第 5、6 段階			

【利用者の状態】 ※現在のケアプラン作成時点

(11) 現在の要介護認定日	_____年____月____日		
(12) 現在の要介護度 (ひとつだけ)	☐ 1.要支援 1 ☐ 2.要支援 2		
(13) 前回の要介護度 (ひとつだけ)	☐ 1.認定なし ☐ 2.要支援 1 ☐ 3.要支援 2 ☐ 4.要介護 1 ☐ 5.要介護 2 ☐ 6.要介護 3 ☐ 7.要介護 4 ☐ 8.要介護 5 ☐ 9.その他・不明		
(14) 認知症の程度	☐ 1.自立 ☐ 2.Ⅰ ☐ 3.Ⅱa ☐ 4.Ⅱb ☐ 5.Ⅲa ☐ 6.Ⅲb ☐ 7.Ⅳ ☐ 8.M ☐ 9.不明		
(15) 障害高齢者の日常生活自立度	☐ 1.自立 ☐ 2.J1 ☐ 3.J2 ☐ 4.A1 ☐ 5.A2 ☐ 6.B1 ☐ 7.B2 ☐ 8.C1 ☐ 9.C2 ☐ 10.不明		
(16) 障害者手帳の所持	☐ 1.身体障害者手帳(_____級) ☐ 2.療育手帳(総合判定_____) ☐ 3.精神障害者保健福祉手帳(_____級)		
(17) 障害者総合支援法サービスの併用	☐ 1.あり ☐ 2.なし		
(18) 主たる原因疾患等 (2つまで)			←下から選び記号を記入
イ. 脳卒中 ロ. 心臓病 ハ. がん ニ. 呼吸器の病気 ホ. 関節の病気 ヘ. 糖尿病 ト. 認知症 チ. パーキンソン病 リ. 骨折・転倒 ス. 脊髄損傷 ル. 視覚・聴覚障害 ヲ. 言語障害 ヱ. 高齢による衰弱 カ. その他 コ. 不明			
(19) 配慮が必要な服薬等 (あてはまるものすべて)	☐ 1.自己注射 ☐ 2.麻薬等鎮痛剤 ☐ 3.睡眠導入薬 ☐ 4.向精神薬 ☐ 5.その他の薬 ☐ 6.服薬なし		
(20) ケアプラン作成時点で認められた心身の状態 (あてはまるものすべて)	☐ 1.脱水症状 ☐ 2.発熱の継続 ☐ 3.急性期対応直後 ☐ 4.退院して1ヶ月以内 ☐ 5.肺炎・誤嚥性肺炎の入院歴 ☐ 6.脳血管疾患の再発歴 ☐ 7.治療を要する高脂血症 ☐ 8.治療を要する高血圧症 ☐ 9.不整脈 ☐ 10.嚥下困難 ☐ 11.食事量の低下(3ヶ月以内) ☐ 12.ADLの急激な低下(3ヶ月以内) ☐ 13.廃用症候群の可能性 ☐ 14.指示通りの薬の服用が出来ない ☐ 15.ターミナル期(余命6ヶ月以内) ☐ 16.認知症によるBPSD(行動・心理症状)		
(21) ケアプラン作成時点で必要とされた医療的ケア (あてはまるものすべて)	☐ 1.点滴の管理 ☐ 2.中心静脈栄養 ☐ 3.透析 ☐ 4.ストーマ(人工肛門、人工膀胱)の処置 ☐ 5.酸素療法 ☐ 6.レスピレーター(人工呼吸器) ☐ 7.気管切開の処置 ☐ 8.疼痛の看護 ☐ 9.経管栄養 ☐ 10.モニター測定(血圧、心拍 SPO2) ☐ 11.褥瘡の処置 ☐ 12.カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等) ☐ 13.がんの外来化学療法 ☐ 14.インスリン注射 ☐ 15.喀痰吸引 ☐ 16.排便コントロール(排便等)		
(22) 介護認定審査会として付する主治医意見書等で指定されているサービス (あてはまるものすべて)	☐ 1.訪問看護 ☐ 2.訪問リハビリ ☐ 3.通所リハビリ ☐ 4.居宅療養管理指導 ☐ 5.その他		
(23) 通院時に主に利用している移動手段 (ひとつだけ)	☐ 1.公共交通機関 ☐ 2.自家用車(自ら運転) ☐ 3.自家用車(家族等が運転) ☐ 4.タクシー(介護タクシー含む) ☐ 5.その他		
(24) 身体機能・起居動作	(24a) 状態(ひとつだけ)	(24b) サービス利用による改善可能性 (ひとつだけ)	
① 麻痺	☐ 1.ない ☐ 2.いずれか一肢のみ ☐ 3.両下肢のみ ☐ 4.左上下肢あるいは右上下肢のみ ☐ 5.その他の四肢の麻痺	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
② 立ち上がり	☐ 1.できる ☐ 2.つかまれば可 ☐ 3.できない	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
③ 片足での立位	☐ 1.できる ☐ 2.支えが必要 ☐ 3.できない	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
④ 洗身	☐ 1.介助されていない ☐ 2.一部介助 ☐ 3.全介助 ☐ 4.行っていない	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
⑤ つめ切り	☐ 1.介助されていない ☐ 2.一部介助 ☐ 3.全介助	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
⑥ 視力	☐ 1.普通 ☐ 2.1m先が見える ☐ 3.目の前が見える ☐ 4.ほとんど見えず ☐ 5.判断不能	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
⑦ 聴力	☐ 1.普通 ☐ 2.やっと聞こえる ☐ 3.大声が聞こえる ☐ 4.ほとんど聞こえず ☐ 5.判断不能	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
(25) 生活機能	(25a) 状態(ひとつだけ)	(25b) サービス利用による改善可能性 (ひとつだけ)	
① 移乗	☐ 1.介助されていない ☐ 2.見守り等 ☐ 3.一部介助 ☐ 4.全介助	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
② 移動	☐ 1.介助されていない ☐ 2.見守り等 ☐ 3.一部介助 ☐ 4.全介助	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
③ えん下	☐ 1.できる ☐ 2.見守り等 ☐ 3.できない	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
④ 口腔清潔	☐ 1.介助されていない ☐ 2.一部介助 ☐ 3.全介助	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
⑤ ズボン等の着脱	☐ 1.介助されていない ☐ 2.見守り等 ☐ 3.一部介助 ☐ 4.全介助	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	
⑥ 外出頻度	☐ 1.週1回以上 ☐ 2.月1回以上 ☐ 3.月1回未満	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明	

(26)社会生活への適応	(26a) 状態(ひとつだけ)	(26b) サービス利用による改善可能性(ひとつだけ)
① 薬の内服	☐ 1.介助されていない ☐ 2.一部介助 ☐ 3.全介助	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明
② 金銭の管理	☐ 1.介助されていない ☐ 2.一部介助 ☐ 3.全介助	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明
③ 日常の意思決定	☐ 1.できる ☐ 2.特別な場合を除いてできる ☐ 3.日常的に困難 ☐ 4.できない	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明
④ 集団への不適応	☐ 1.ない ☐ 2.ときどきある ☐ 3.ある	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明
⑤ 買い物	☐ 1.介助されていない ☐ 2.見守り等 ☐ 3.一部介助 ☐ 4.全介助	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明
⑥ 簡単な調理	☐ 1.介助されていない ☐ 2.見守り等 ☐ 3.一部介助 ☐ 4.全介助	☐ 1.ある ☐ 2.ない ☐ 3.維持 ☐ 4.不明

【利用者のサービス利用状況】 ※平成 28 年 2 月時点

(27) 平成 28 年 2 月の介護予防給付サービス利用実績			
① 介護予防訪問入浴介護	☐ 1.あり (月 ____ 回・計 ____ 時間)	☐ 2.なし	
② 介護予防訪問看護	☐ 1.あり (月 ____ 回・計 ____ 時間)	☐ 2.なし	
②a サービス内容(あてはまるものすべて)	☐ 1.食事介助 ☐ 2.排泄介助 ☐ 3.入浴介助 ☐ 4.体位変換 ☐ 5.更衣 ☐ 6.洗面・口腔清潔 ☐ 7.身体整容 ☐ 8.服薬介助 ☐ 9.移動・移乗介助 ☐ 10.その他		
③ 介護訪問リハビリテーション	☐ 1.あり (月 ____ 回・計 ____ 時間)	☐ 2.なし	
③a サービス内容(あてはまるものすべて)	☐ 1.理学療法 ☐ 2.作業療法 ☐ 3.言語聴覚療法 ☐ 4.介護予防訪問介護との連携 ☐ 5.その他		
③b リハビリテーションを提携している職種(あてはまるものすべて)	☐ 1.理学療法士 ☐ 2.作業療法士 ☐ 3.言語聴覚士		
④ 介護予防居宅療養管理指導	☐ 1.あり (月 ____ 回)	☐ 2.なし	
⑤ 介護予防通所リハビリテーション	☐ 1.あり (月 ____ 回)	☐ 2.なし	
⑤a サービス内容(あてはまるものすべて)	☐ 1.理学療法 ☐ 2.作業療法 ☐ 3.言語聴覚療法 ☐ 4.運動器機能向上 ☐ 5.栄養改善 ☐ 6.口腔機能向上 ☐ 7.その他		
⑤b リハビリテーションを提携している職種(あてはまるものすべて)	☐ 1.理学療法士 ☐ 2.作業療法士 ☐ 3.言語聴覚士 ☐ 4.看護職員 ☐ 5.管理栄養士 ☐ 6.歯科衛生士 ☐ 7.その他		
⑥ 介護予防短期入所生活介護	☐ 1.あり (月 ____ 回)	☐ 2.なし	
⑥a 利用目的(あてはまるものすべて)	☐ 1.利用者がリハ機能・訓練などのアクティビティに参加するため ☐ 2.利用者のアセスメントを見直すため ☐ 3.利用者の ADL 向上のため ☐ 4.利用者の虐待やネグレクトへの対応のため ☐ 5.利用者の認知症の対応のため ☐ 6.利用者が施設入所希望であり、待機中での一時利用のため ☐ 7.介護者のレスパイトのため ☐ 8.介護者の仕事(出張)や冠婚葬祭等のため ☐ 9.その他		
⑦ 介護予防短期入所療養介護	☐ 1.あり (月 ____ 回)	☐ 2.なし	
⑦a 利用目的(あてはまるものすべて)	☐ 1.介護者・家族の介護疲れのための一時的利用 ☐ 2.介護者・家族の冠婚葬祭、急病等の一時的利用 ☐ 3.利用者への医療対応(急性期症状への対応) ☐ 4.利用者への医療対応(慢性期症状への対応) ☐ 5.リハビリテーション ☐ 6.認知症周辺症状への対応 ☐ 7.介護施設への入所待機 ☐ 8.看取り・ターミナルケア ☐ 9.日常生活上の世話 ☐ 10.レクリエーション活動 ☐ 11.その他		
⑧ 介護予防特定施設入居者生活介護	☐ 1.あり	☐ 2.なし	
⑨ 介護予防福祉用具貸与	☐ 1.あり (品目: _____)	☐ 2.なし	
⑩ 特定介護予防福祉用具販売	☐ 1.あり (品目: _____)	☐ 2.なし	
⑪ 介護予防住宅改修	☐ 1.あり (種類: _____)	☐ 2.なし	
⑫ 介護予防訪問介護	☐ 1.あり (月 ____ 回・計 ____ 時間)	☐ 2.なし	
⑬ 介護予防通所介護	☐ 1.あり (月 ____ 回)	☐ 2.なし	

⑭ 介護予防認知症対応型通所介護		☐ 1.あり（月 _____ 回・計 _____ 時間） ☐ 2.なし	
a サービス内容(あてはまるものすべて)		☐ 1.食事 ☐ 2.入浴 ☐ 3.レクリエーション活動(体操等) ☐ 4.役割作り ☐ 5.趣味活動(手工芸、園芸、編み物等) ☐ 6.認知機能訓練(見当識・記憶) ☐ 7.ADL訓練 ☐ 8.摂食・嚥下機能訓練 ☐ 9.IADL練習(家事・調理等) ☐ 10.健康管理 ☐ 11.家族支援 ☐ 12.地域交流 ☐ 13.栄養改善 ☐ 14.口腔清掃 ☐ 15.宿泊サービス(保険外) ☐ 16.その他	
⑮ 介護予防小規模多機能型居宅介護		☐ 1.あり ☐ 2.なし	
⑯ 介護予防認知症対応型共同生活介護		☐ 1.あり ☐ 2.なし	
(28) 介護保険利用点数		_____ 点	
(29)平成 28 年 2 月医療保険サービス利用実績			
① 通院	② 訪問診療	③ (医療)訪問看護	④ 外来リハ
☐ 1.週 2 回以上 ☐ 2.週 1 回程度 ☐ 3.なし	☐ 1.週 2 回以上 ☐ 2.週 1 回程度 ☐ 3.なし	☐ 1.週 4 日以上 ☐ 2.週 3 日まで ☐ 3.なし	☐ 1.週 2 日以上 ☐ 2.週 1 日程度 ☐ 3.なし
⑤ 入院	☐ 1.過去 1 ヶ月以内 ☐ 4.過去 1 年以上前	☐ 2.過去 1 ヶ月～3 ヶ月未満 ☐ 5.なし	☐ 3.過去 1 ヶ月～1 年未満
(30) 平成 28 年 2 月 その他のサービス利用実績			
① 家事援助サービス	☐ 1.週 2 回以上 ☐ 2.週 1 回程度 ☐ 3.なし		
② 移送サービス	☐ 1.週 2 回以上 ☐ 2.週 1 回程度 ☐ 3.なし		
③ 配食関連サービス	☐ 1.週 2 回以上 ☐ 2.週 1 回程度 ☐ 3.なし		
④ サロン等住民主体の通いの場	☐ 1.週 2 回以上 ☐ 2.週 1 回程度 ☐ 3.なし		
⑤ オムツ支給・補助	☐ 1.あり ☐ 2.なし		
⑥ 見守り等認知症高齢者に対する事業	☐ 1.週 2 回以上 ☐ 2.週 1 回程度 ☐ 3.なし		
⑦ 上記以外の地域支援事業	☐ 1.あり(内容: _____) ☐ 2.なし		
(31) サービスを選んだ理由(自由記述)			

設問は以上です。ご回答ありがとうございました。

※本調査研究は、平成 27 年度老人保健健康増進等事業として実施したものです。

平成 27 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業)

介護予防サービスの提供プロセス等に関する調査事業
報告書

平成 28 年 3 月

株式会社日本総合研究所

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-18-1 大崎フォレストビルディング
TEL: 03-6833-5204 FAX: 03-6833-9479